

# 市民意見リーダー 調査結果報告書

( 2023 年度 )



## 郡山市



# < 目 次 >

## I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の項目	1
3. 調査の設計	1
4. 集計・分析にあたって	2
5. グラフの種類	2
6. 回収率	2
7. 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年代別	3
(3) 回答方法別	3
(4) 職業別	3
(5) 居住年数別	3
(6) 居住形態別	3
(7) 地域別	4
(8) 現住所の直前の居住地別	5
(9) 現居住地の選定理由別《転入・転居者》(複数回答)	5
8. 回答者の属性《地域別集計》	6
9. 回答者の属性《年代別集計》	12

## II 調査結果

1. 幸福度の現状について	13
(1) 幸福度	13
(2) 幸福度の判断の際に重視した事項(複数回答)	15
2. 郡山市の住みやすさなどについて	22
(1) 住みやすさへの評価	22
(2) 今後の居留意向	25
3. 郡山市まちづくり基本指針施策の満足度重要度	28
(1) まちづくりへの満足度結果一覧	28
(2) これからの取組み重要度結果一覧	32
(3) 施策の優先度《満足度と重要度の関係》	35
(4) 分野別属性別満足度結果	37
(5) 分野別属性別重要度結果(複数回答)	51

4. こども・子育て施策（ベビーファーストの推進）について	53
（1）子育て状況	53
（2）子育て支援について（複数回答）	55
（3）働きやすい条件・サポート（複数回答）	59
（4）地域における子育て支援（複数回答）	63
（5）子育て支援についての意見等（自由記載）	66
5. 市への意見や要望など	69
【分野Ⅰ】産業・仕事の未来	69
【分野Ⅱ】交流・観光の未来	69
【分野Ⅲ】学び育む子どもたちの未来	70
【分野Ⅳ】誰もが地域で輝く未来	71
【分野Ⅴ】暮らしやすいまちの未来	71
【分野Ⅵ】基盤的取組	72
（付） 調査票様式	
調査票	73

# I 調 査 概 要



## 1. 調査の目的

時代とともに変化する市民意見の動向と現在の多様なニーズを把握し、今後の本市施策、事業の検討、推進、評価等の基礎データとして活用するために実施しました。

## 2. 調査の項目

- (1) 幸福度の現状について… 2問
- (2) 住みやすさについて… 2問
- (3) まちづくりについて（郡山市まちづくり基本指針に掲げる施策を基本とした6分野43項目についての満足度）…43問
- (4) これからの取組について（郡山市まちづくり基本指針に掲げる施策を基本とした6分野43項目についての重要度）… 1問
- (5) こども・子育て施策（ベビーファーストの推進）について… 5問
- (6) 対象者の基本属性について… 8問
- (7) 市への意見や要望など（自由記載）… 1問

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域：郡山市全域
- (2) 調査対象：郡山市内に在住する満18歳以上の者
- (3) 標本数：1,500人（男性750人、女性750人）

<内訳>

	標本数	性別		年代別							
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
全体	1,500	750	750	36	193	224	276	269	260	242	
地区別	旧市内	564	274	290	14	75	82	101	109	99	84
	富田	124	62	62	3	17	22	25	21	19	17
	大槻	150	74	76	4	17	21	28	26	26	28
	安積	159	79	80	4	20	24	30	28	25	28
	三穂田	19	10	9	0	2	2	3	4	4	4
	逢瀬	18	10	8	0	2	2	3	3	4	4
	片平	30	15	15	0	4	4	6	4	6	6
	喜久田	57	29	28	2	8	10	12	9	8	8
	日和田	48	24	24	2	6	8	9	8	8	7
	富久山	173	87	86	4	26	31	33	30	27	22
	湖南	13	7	6	0	0	1	2	2	4	4
	熱海	24	12	12	0	2	2	4	4	6	6
	田村	81	45	36	3	10	10	14	13	15	16
	西田	20	11	9	0	2	3	3	4	4	4
中田	20	11	9	0	2	2	3	4	5	4	

- (4) 抽出方法：住民基本台帳(令和5年5月1日現在)からの年代、地域を考慮した無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの返信
- (6) 調査期間：令和5(2023)年5月26日～6月9日(15日間)
- (7) その他：これまで「市民意識調査」として2009年度から実施。アンケートの回答は市民の皆さまの意見としていただくものであることから、2018年度から「市民意見レーダー」と名称を変更。

#### 4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数(または該当者質問での該当者数)のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
- (2) 数値(%)は単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないこともあります。  
例：回答者総数3人で、「はい」：1人(33.3%)、「いいえ」：1人(33.3%)、「無回答」：1人(33.3%)の場合等、合計しても必ずしも100%とはならない。
- (3) 図表中の数値(%)の合計と分析文中の数値(%)の合計は、数値(%)を単位未満四捨五入している影響により一致しないことがあります。
- (4) 複数回答の場合、回答者総数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えることがあります。
- (5) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢があります。

#### 5. グラフの種類

- (1) 棒グラフ：棒の長短で数量の大小を比較します。
- (2) 折れ線グラフ：時間経過を沿って数量の変化や傾向を示します。
- (3) 円グラフ：全体に対する各項目の構成比を示す際に使います。
- (4) 帯グラフ：全体に対する各項目の構成比を示す際に使います。異なる帯グラフを並べることで、項目の構成比の変化を捉えることができます。
- (5) 散布図：2つの変量の相関関係を示します。横軸と縦軸にそれぞれ別の量を取り、データが当てはまる場所に点を打って示すグラフです。

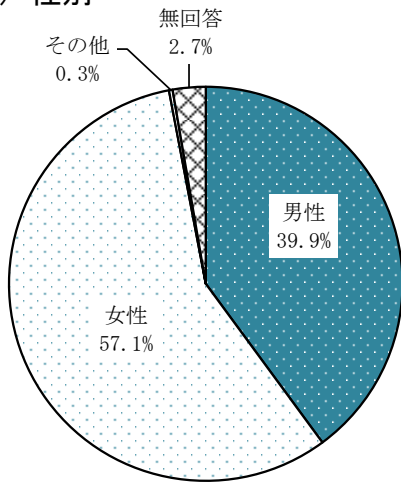
#### 6. 回収率

- (1) 有効回収数：634件
- (2) 有効回収率：42.3%(対前年比 -1.9ポイント)



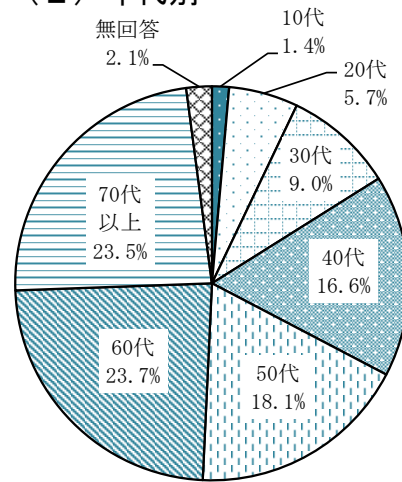
## 7. 回答者の属性

### (1) 性別



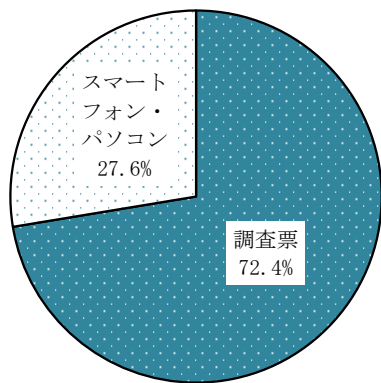
全体 (n=634)

### (2) 年代別



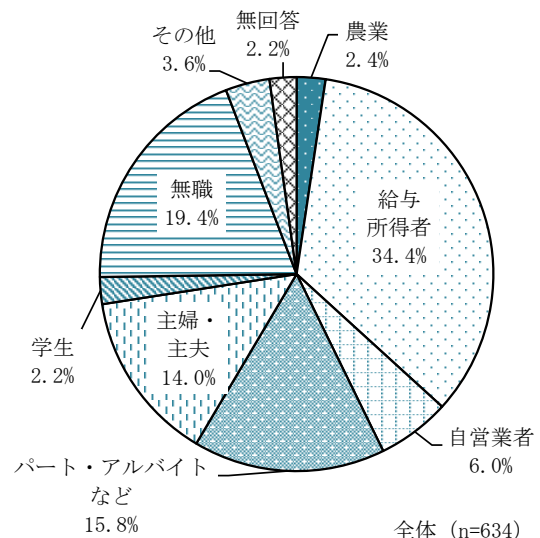
全体 (n=634)

### (3) 回答方法別



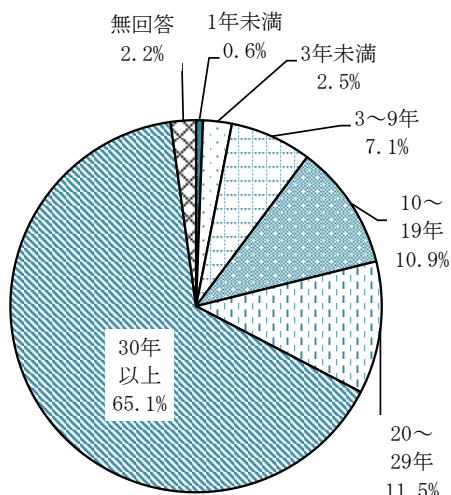
全体 (n=634)

### (4) 職業別



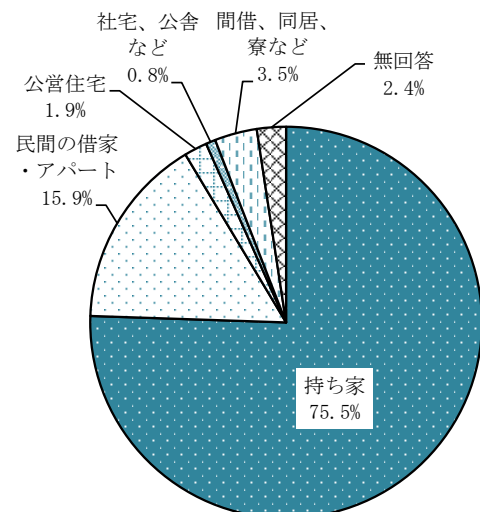
全体 (n=634)

### (5) 居住年数別



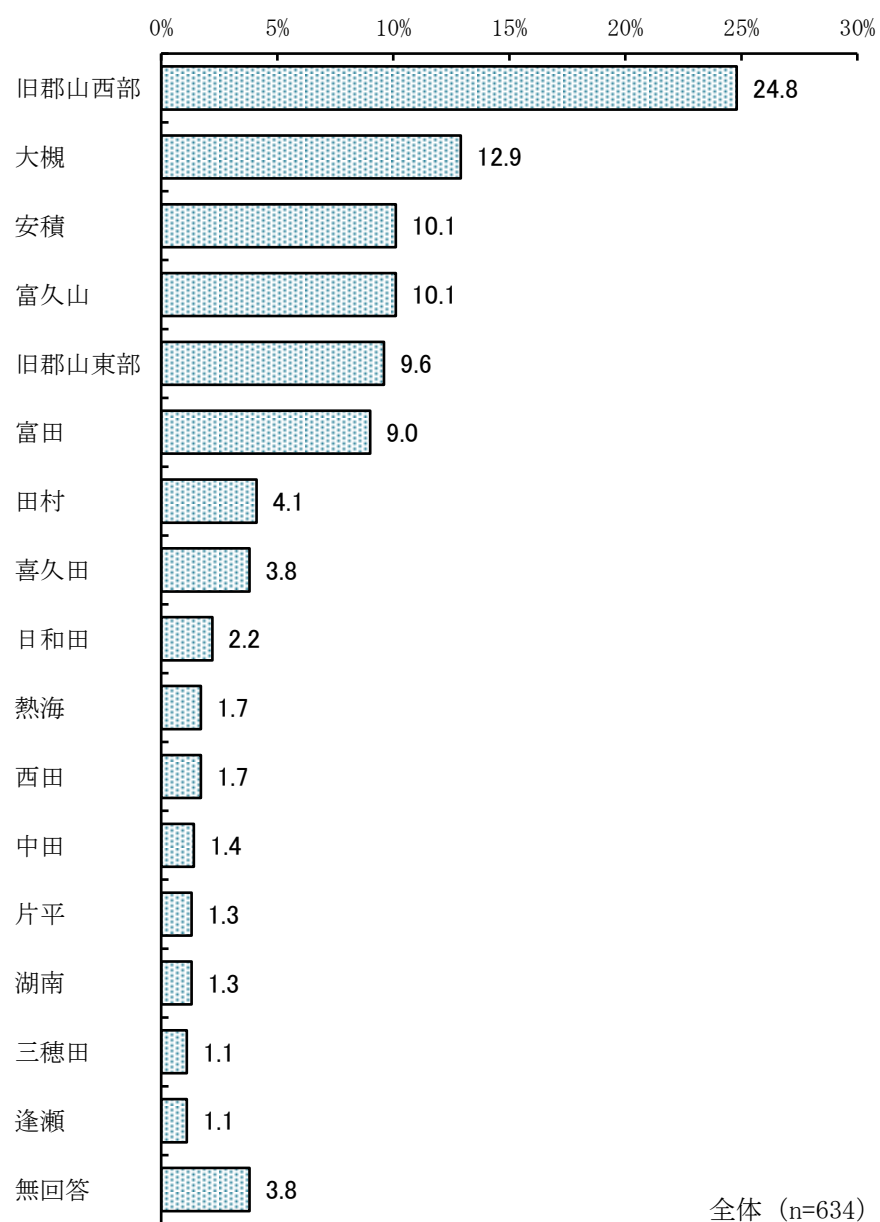
全体 (n=634)

### (6) 居住形態別



全体 (n=634)

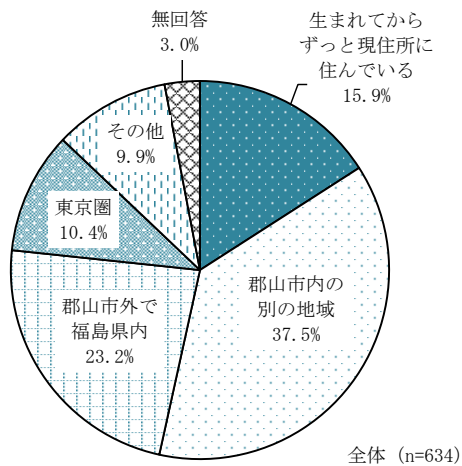
(7) 地域別



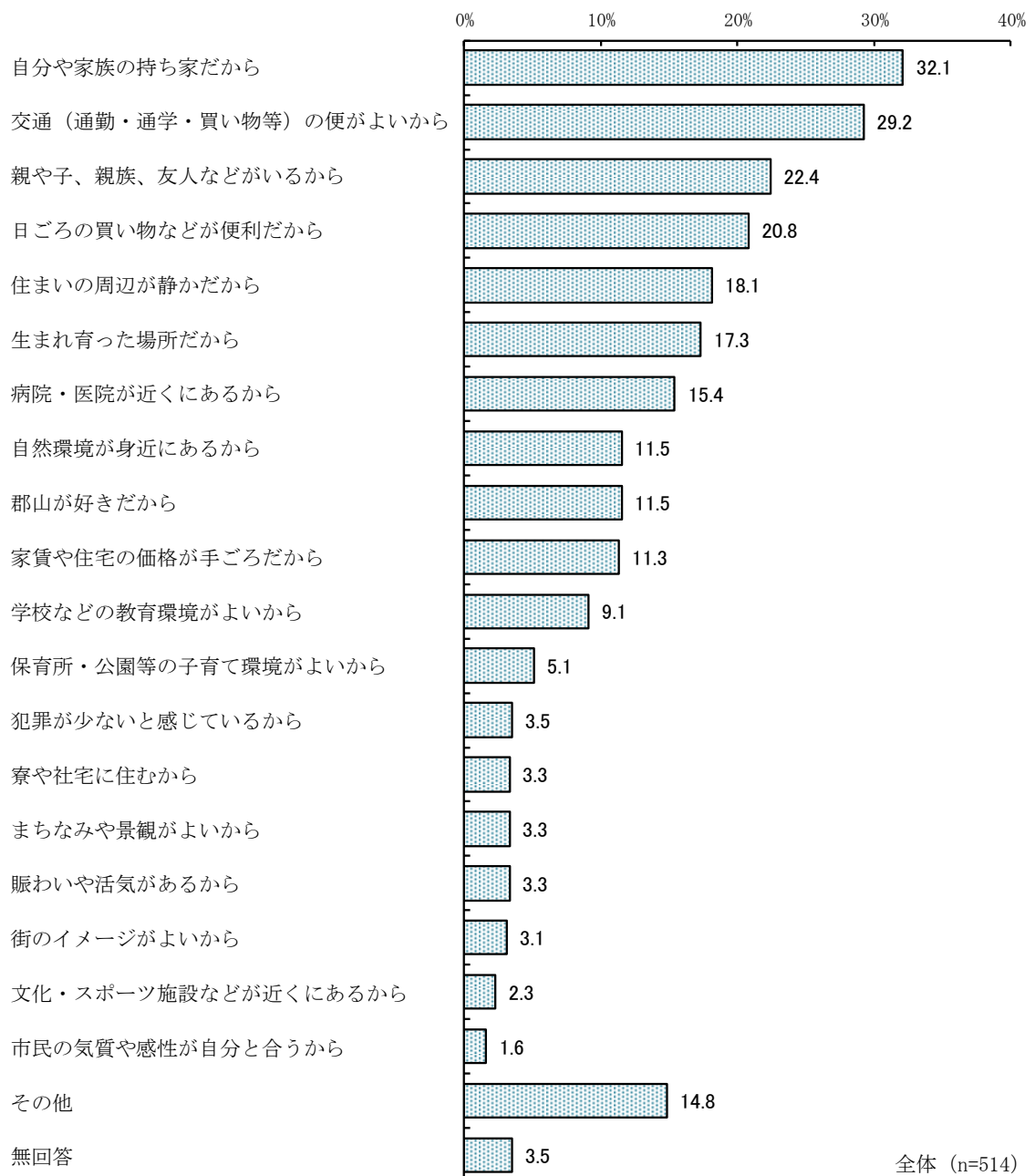
※ 旧郡山東部・・・芳賀・小原田・緑ヶ丘・東部地区など

※ 旧郡山西部・・・駅前・大島・久留米・菜根・開成・小山田地区など上記地区以外

(8) 現住所の直前の居住地別

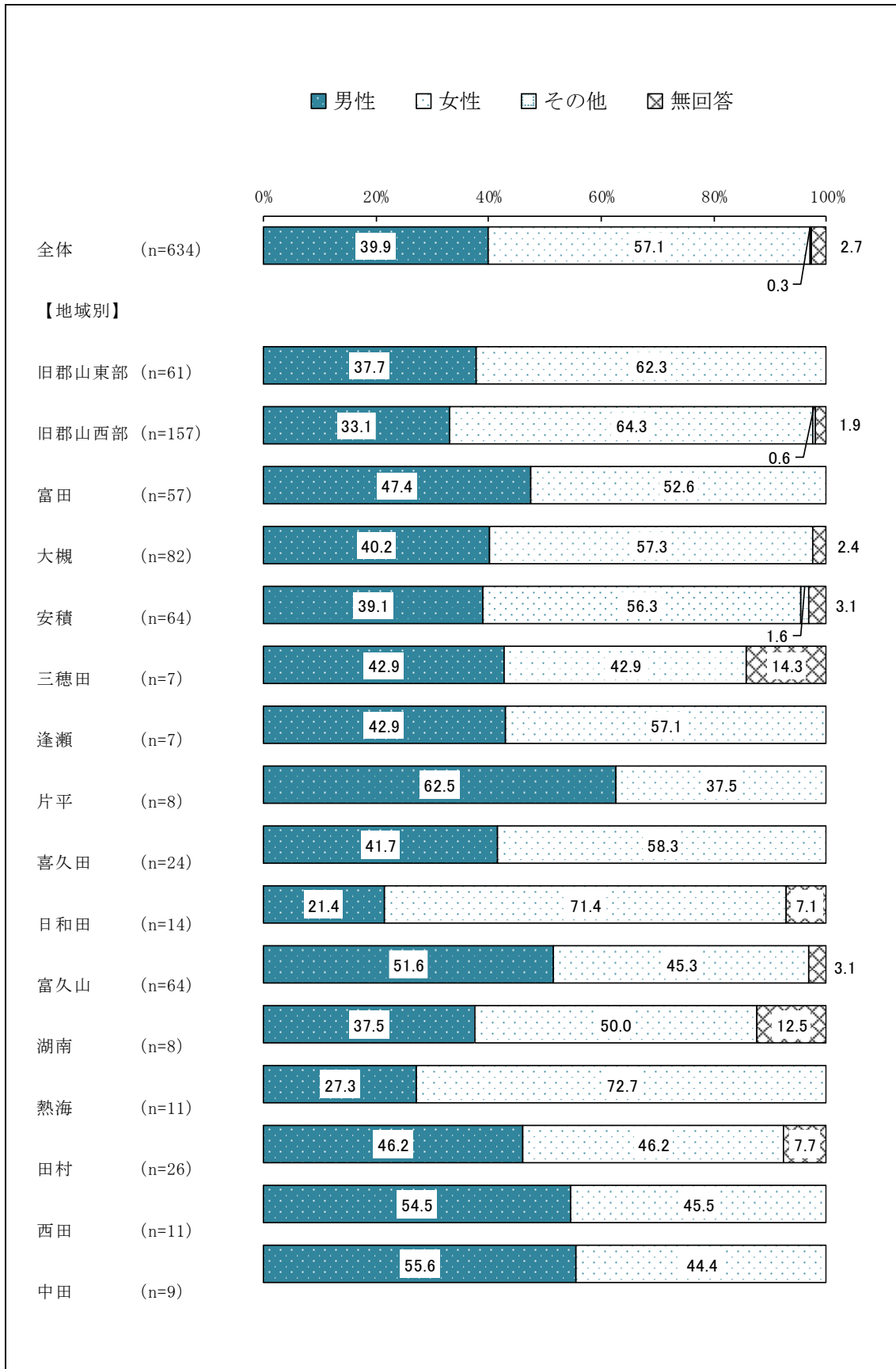


(9) 現居住地の選定理由別《転入・転居者》(複数回答)

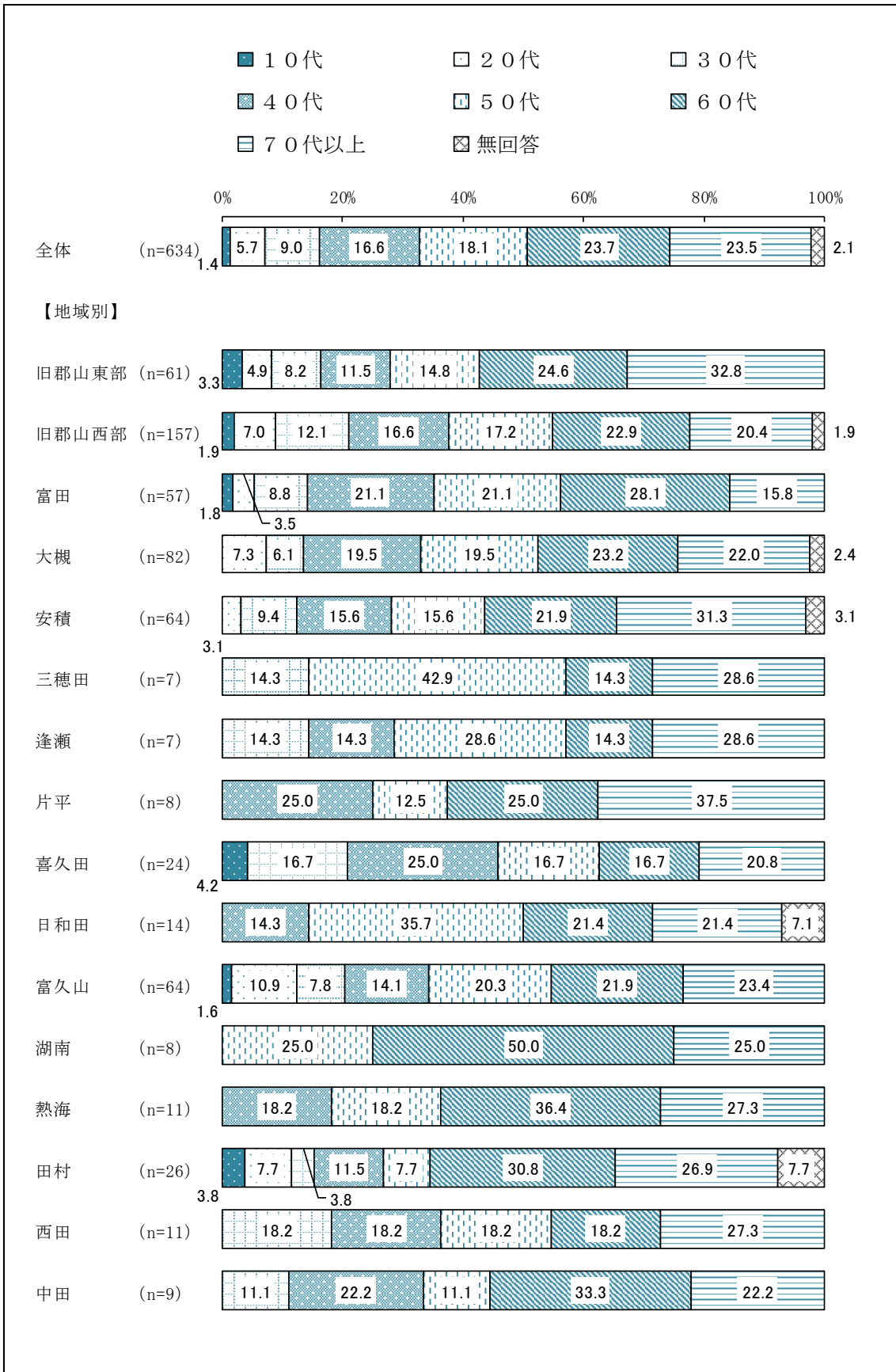


## 8. 回答者の属性《地域別集計》

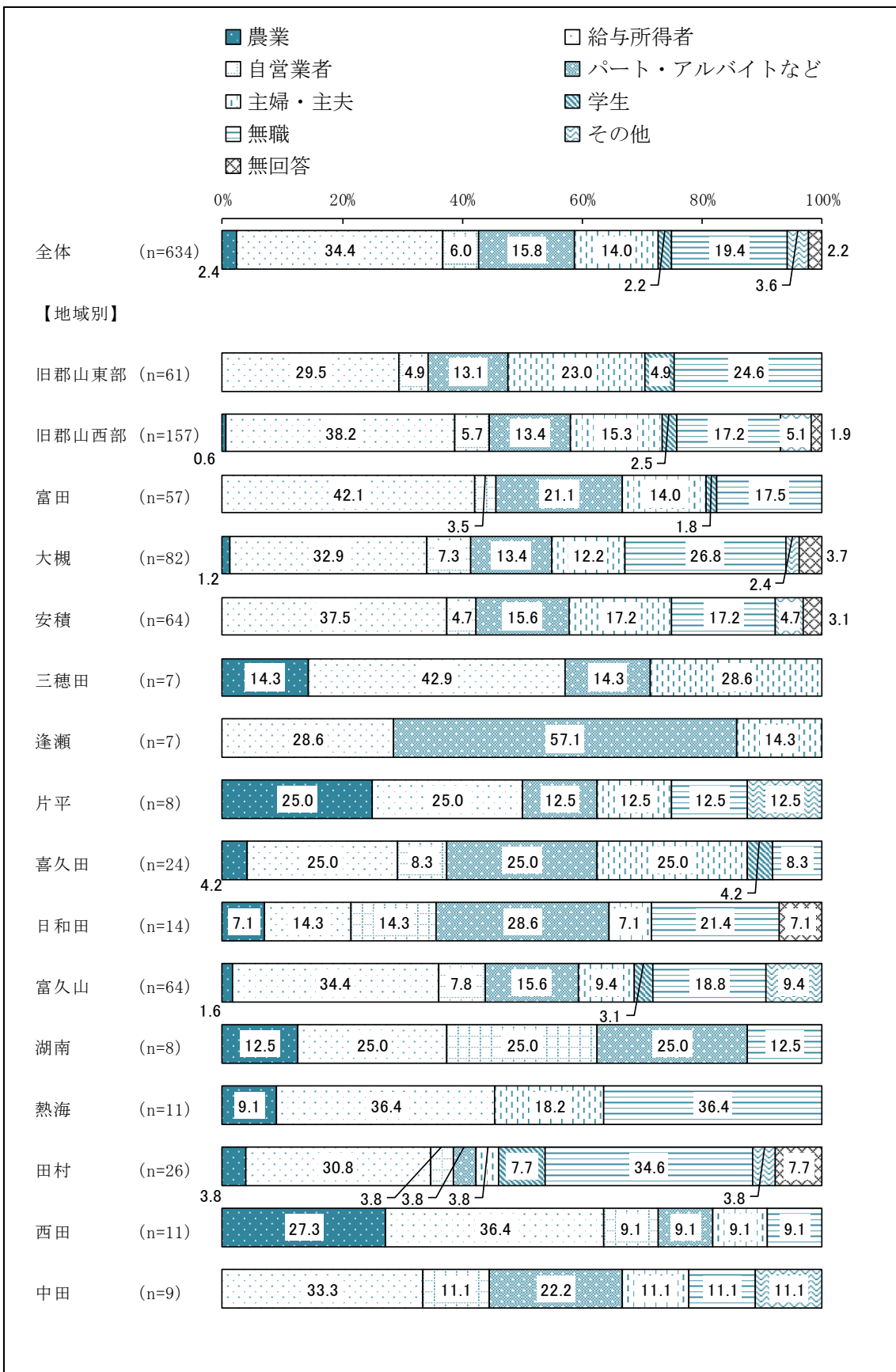
### 【性別】



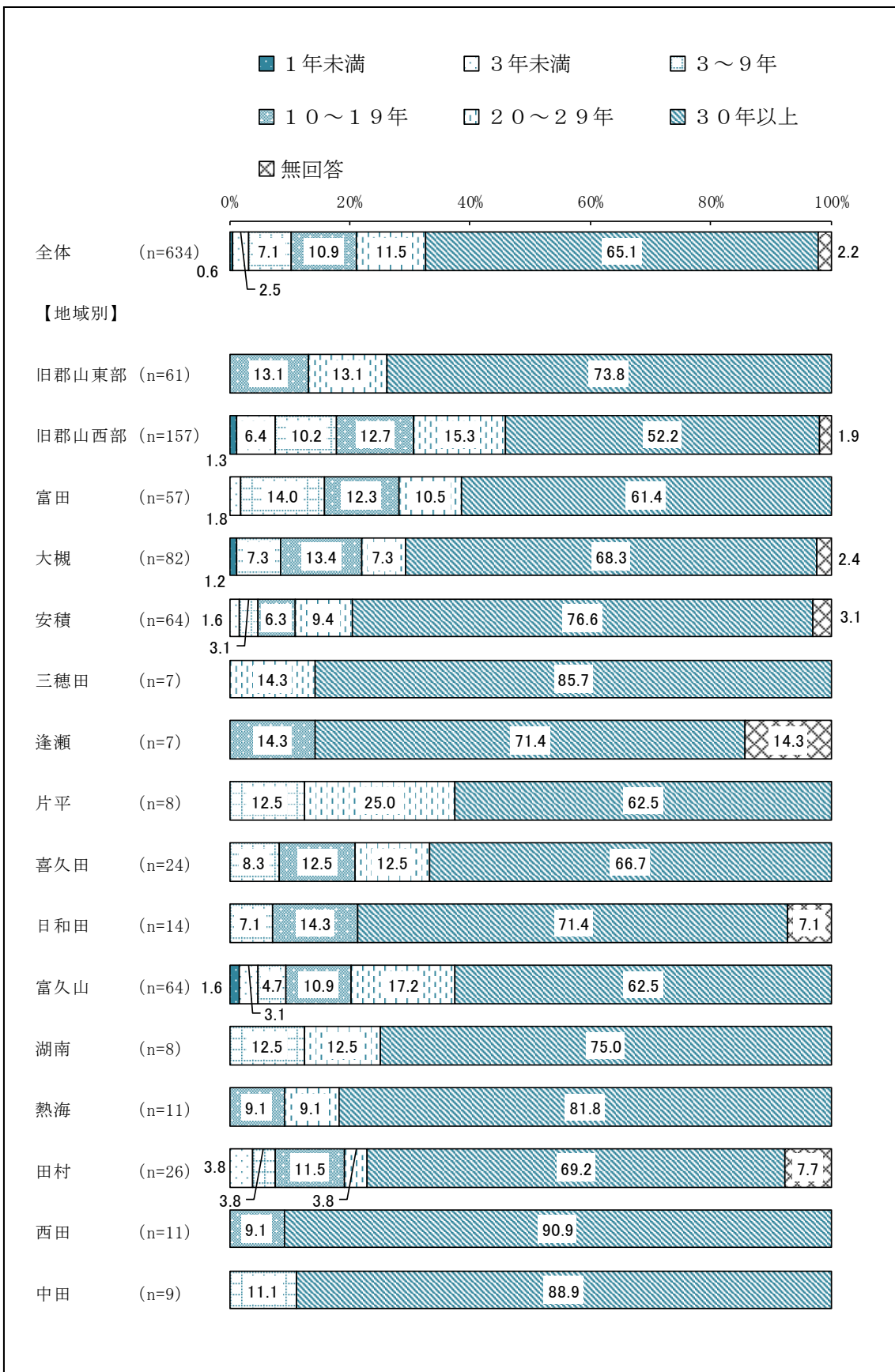
【年代別】



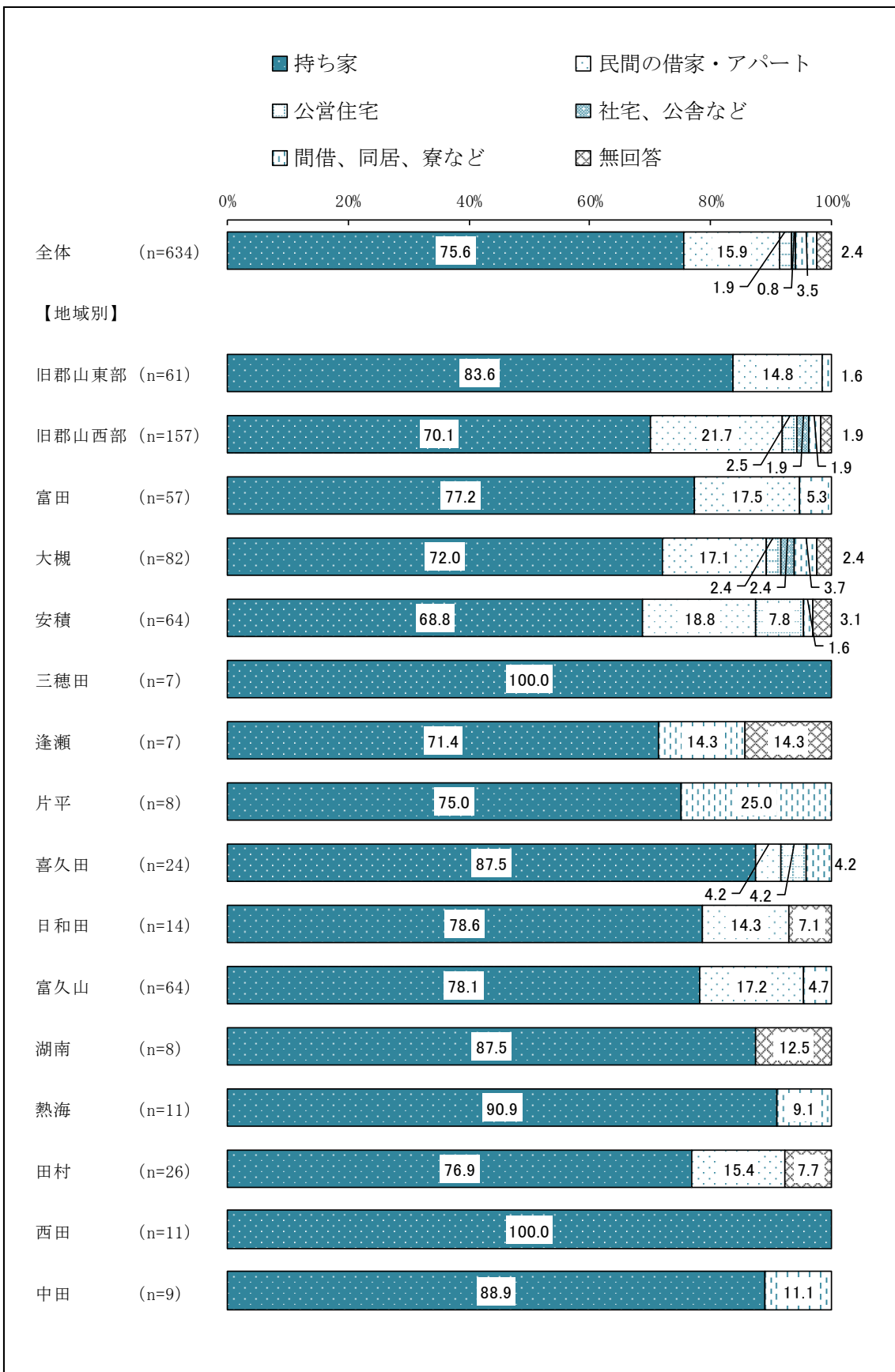
【職業別】



【居住年数別】

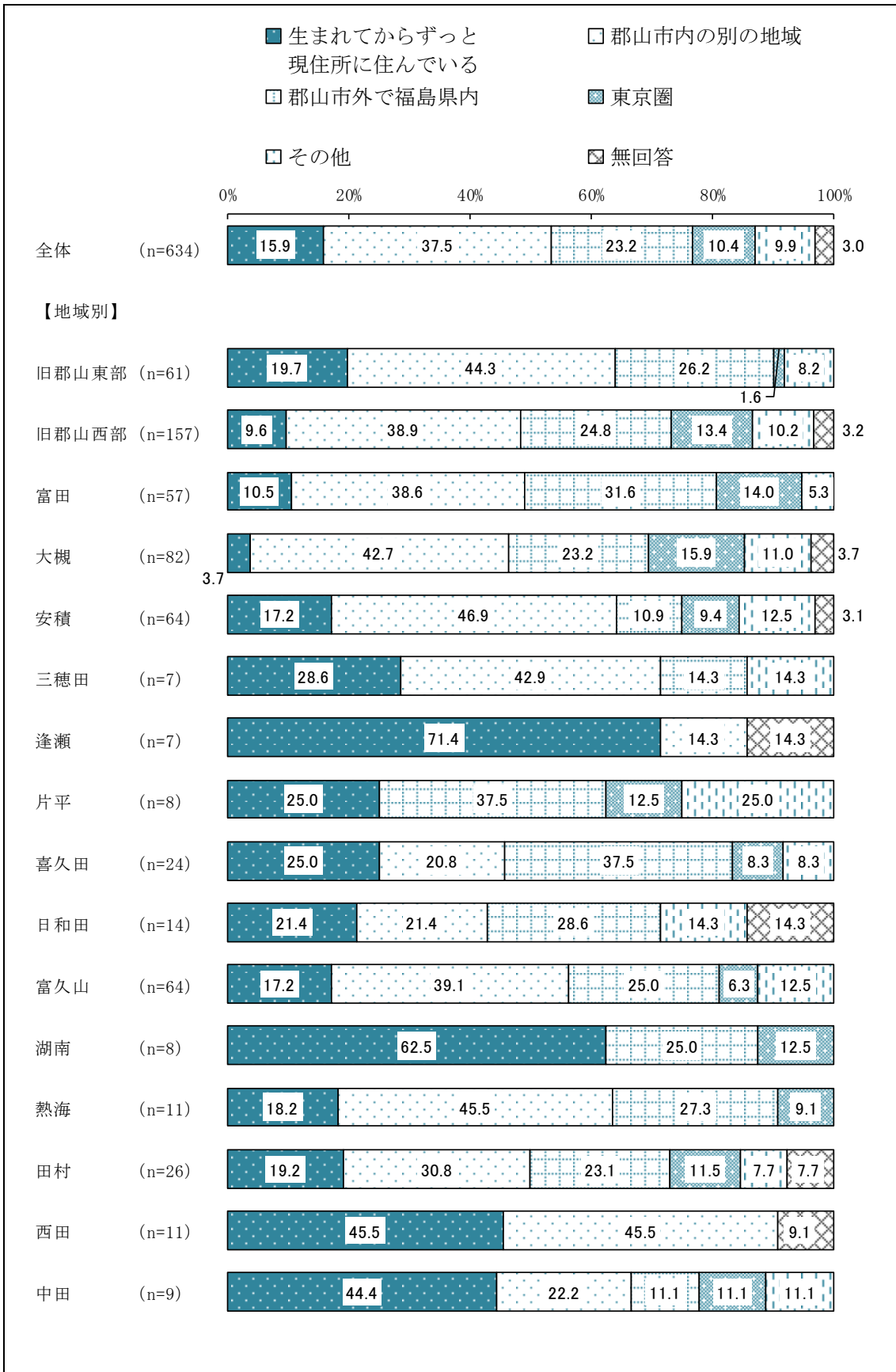


【居住形態別】



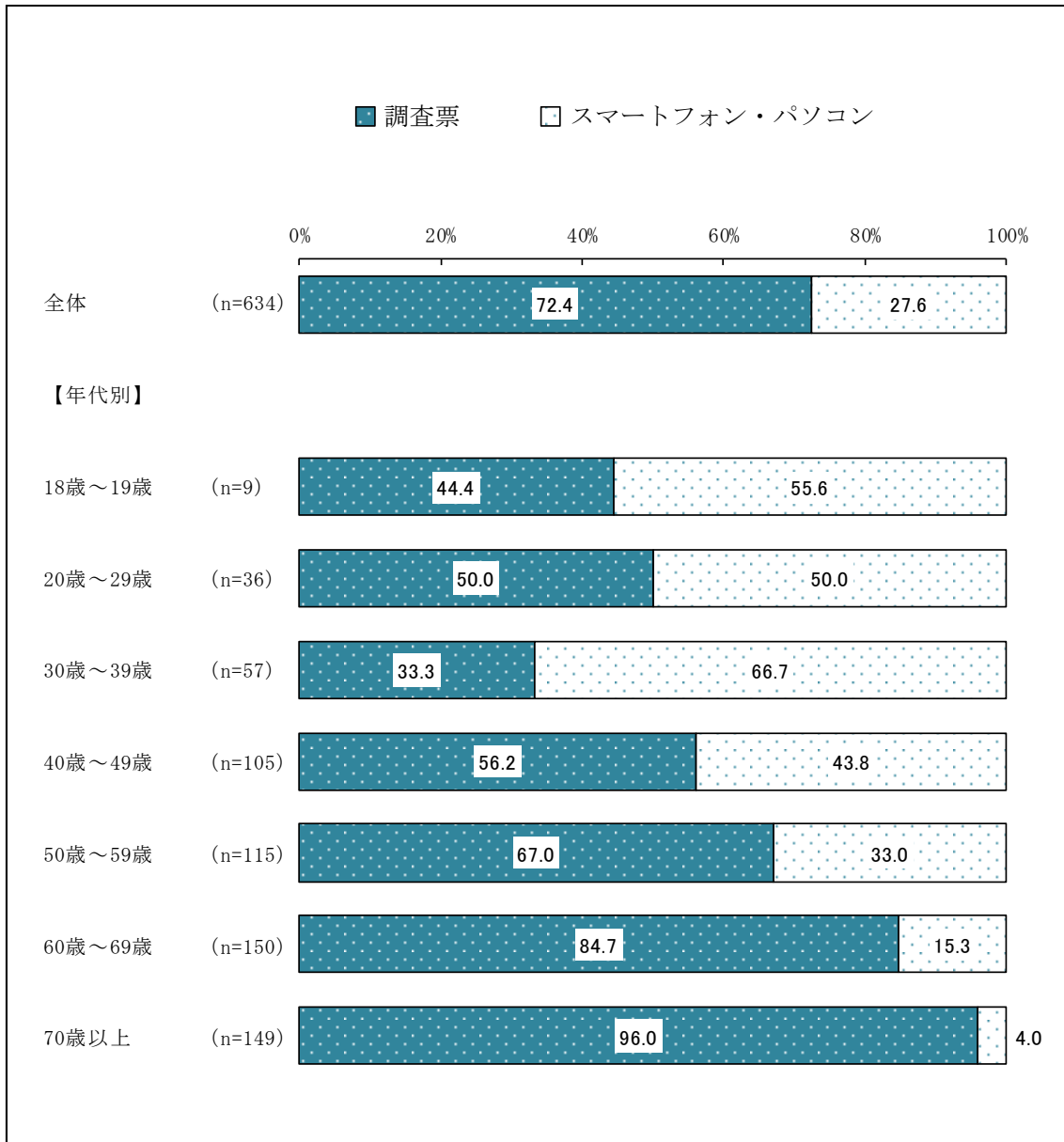


【直前の居住地別】



## 9. 回答者の属性 《年代別集計》

### 【回答方法別】

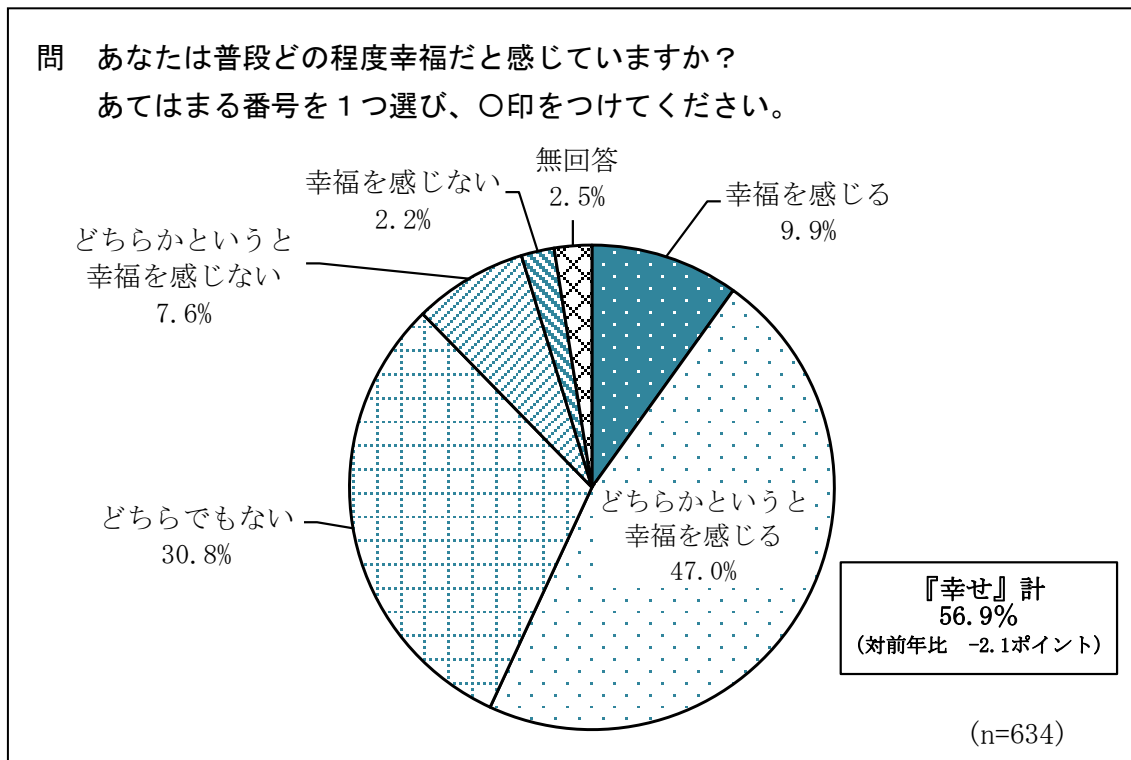


## II 調查結果



# 1. 幸福度の現状について

## (1) 幸福度



### 6 割弱の市民は幸せと感じています

#### 【全体結果】

「幸福を感じる（とても幸せ）」(9.9%)と「どちらかという和幸福を感じる（どちらかという和幸福を感じる）」(47.0%)の両者を合計すると『幸せ』(56.9%)となっています。

一方、「どちらかという和幸福を感じない（どちらかという和幸福を感じない）」(7.6%)と「幸福を感じない（不幸せ）」(2.2%)を合計すると『不幸せ』(9.8%)となっています。

#### 【属性別結果】(図 1-1 参照)

##### ① 性別

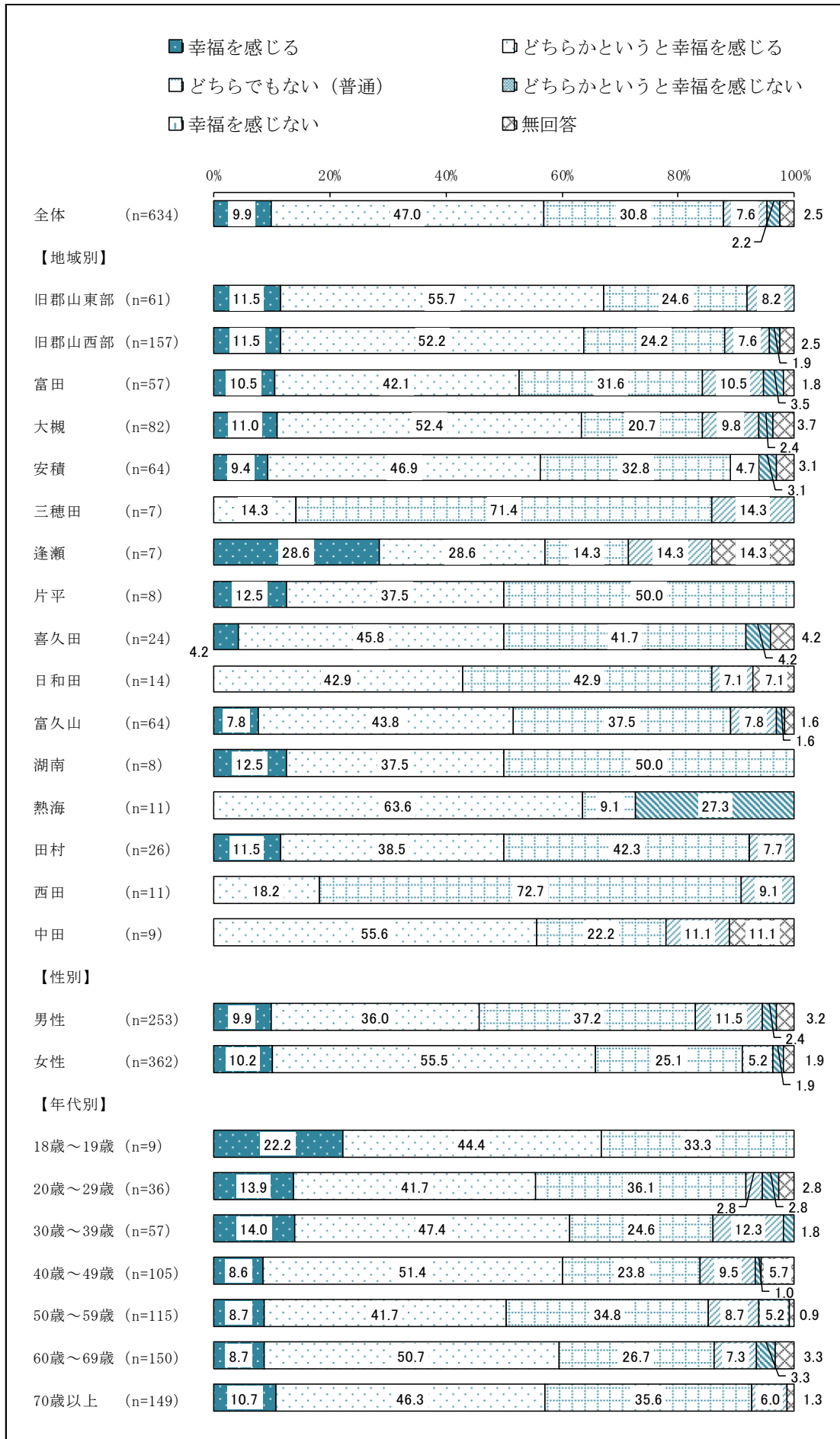
『幸せ』の割合は、女性(65.7%)の方が男性(45.9%)よりも高くなっています。

##### ② 年代別

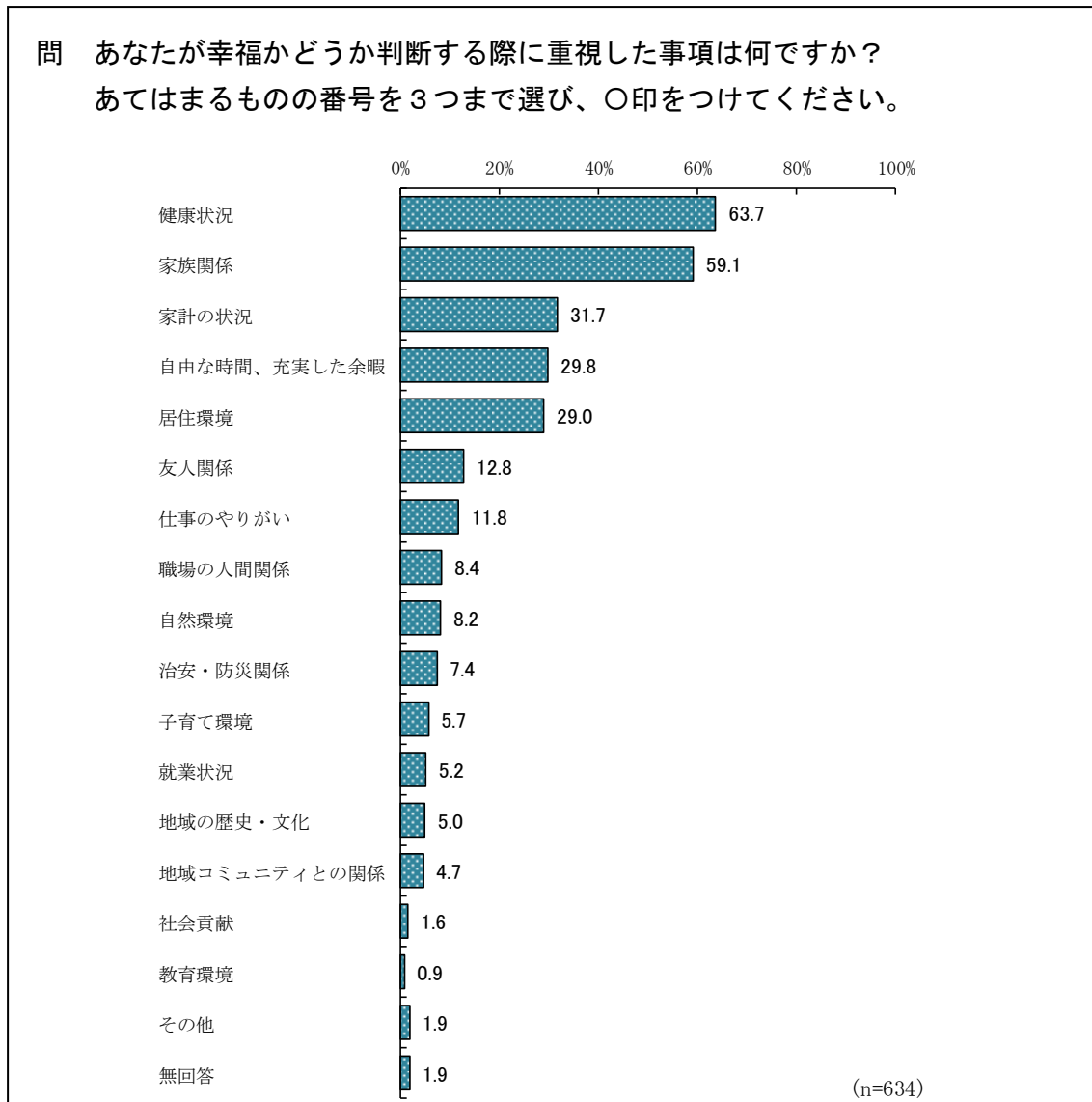
『幸せ』の割合は、30代(61.4%)で最も高くなっています。

なお、10代については回答数が少ないため、参考として数値のみ掲載します(以降同様)。

図 1 - 1 幸福度（地域別／性別／年代別）



## (2) 幸福度の判断の際に重視した事項（複数回答）



### 幸福度の判断には「健康状況」、「家族関係」を重視

#### 【全体結果】

幸福かどうか判断する際には「健康状況」（63.7%）、「家族関係」（59.1%）が特に重視されており、以下、「家計の状況」（31.7%）、「自由な時間、充実した余暇」（29.8%）、「居住環境」（29.0%）の順に続いています。

#### 【属性別結果】（図 1-2 参照）

##### ① 性別

男性では、「健康状況」（61.3%）が「家族関係」（51.4%）を上回っているのに対して、女性では「健康状況」と「家族関係」が同じ割合（64.6%）となっています。

##### ② 年代別

高齢層では「健康状況」、30～50代では「家族関係」、10～20代では「自由な時間、充実した余暇」の割合が高く、年代によって分かれる傾向があります。

図1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～1/6～（地域別／性別／年代別）

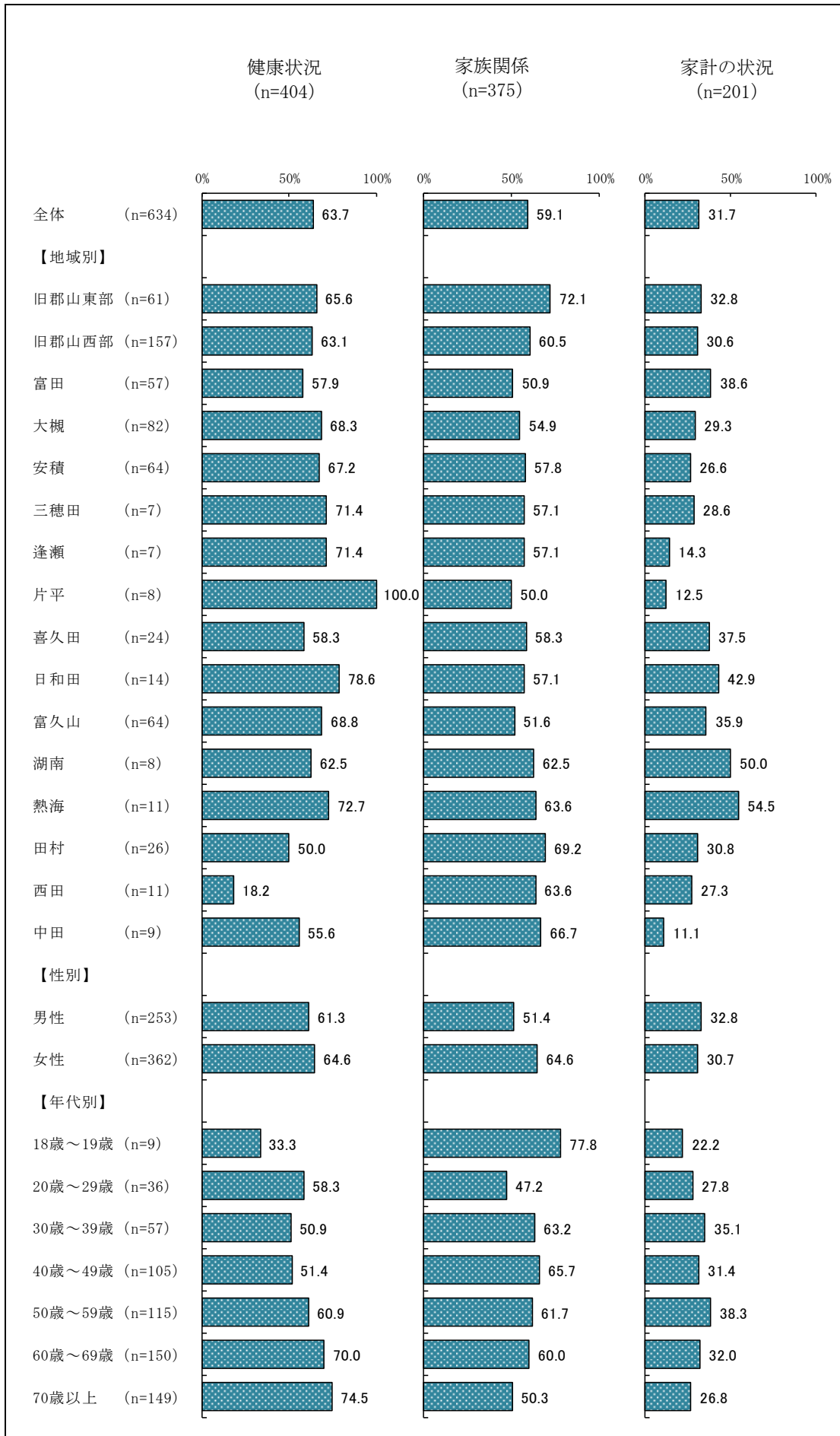




図1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～2/6～（地域別／性別／年代別）

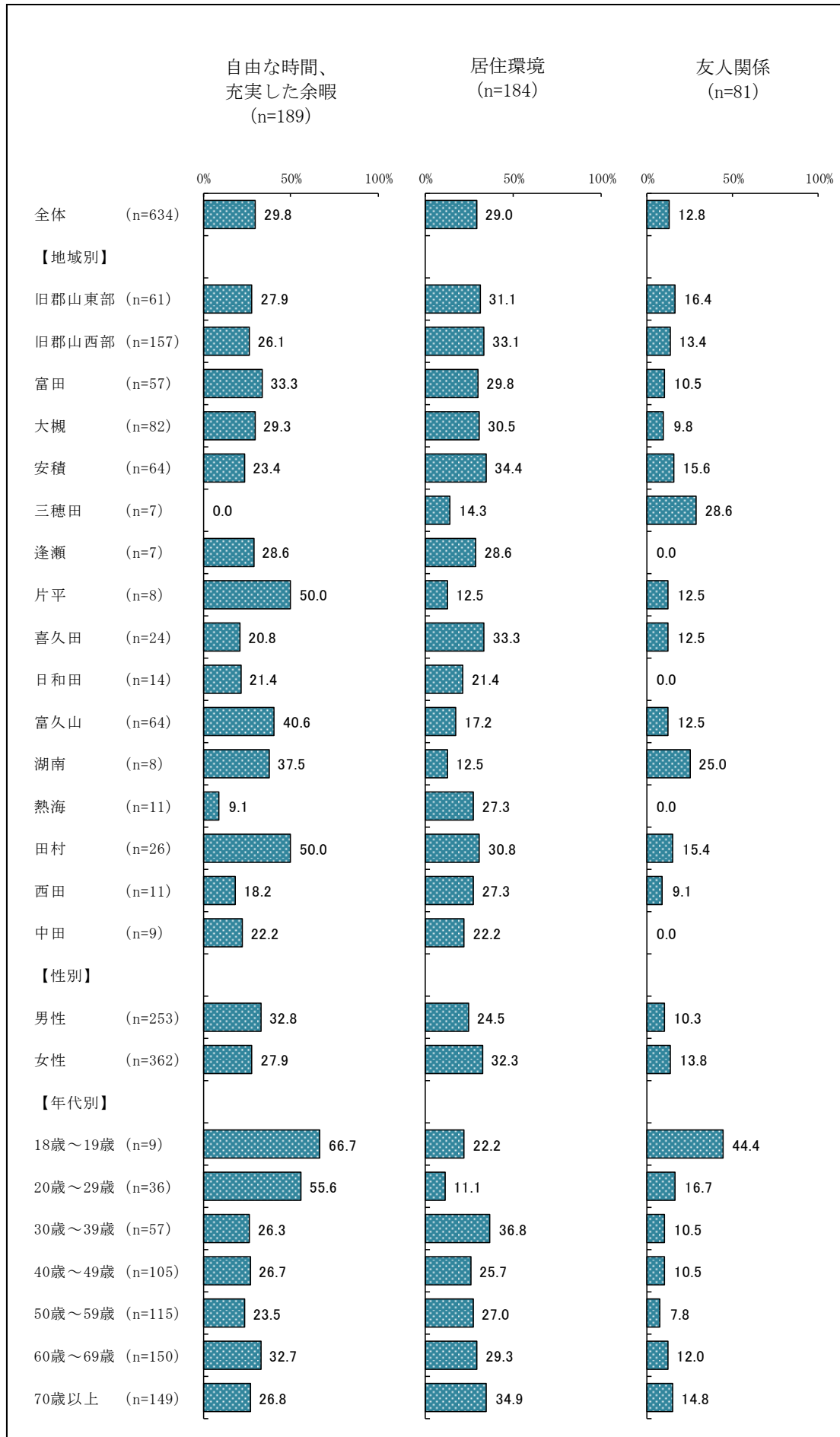


図1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～3/6～（地域別／性別／年代別）

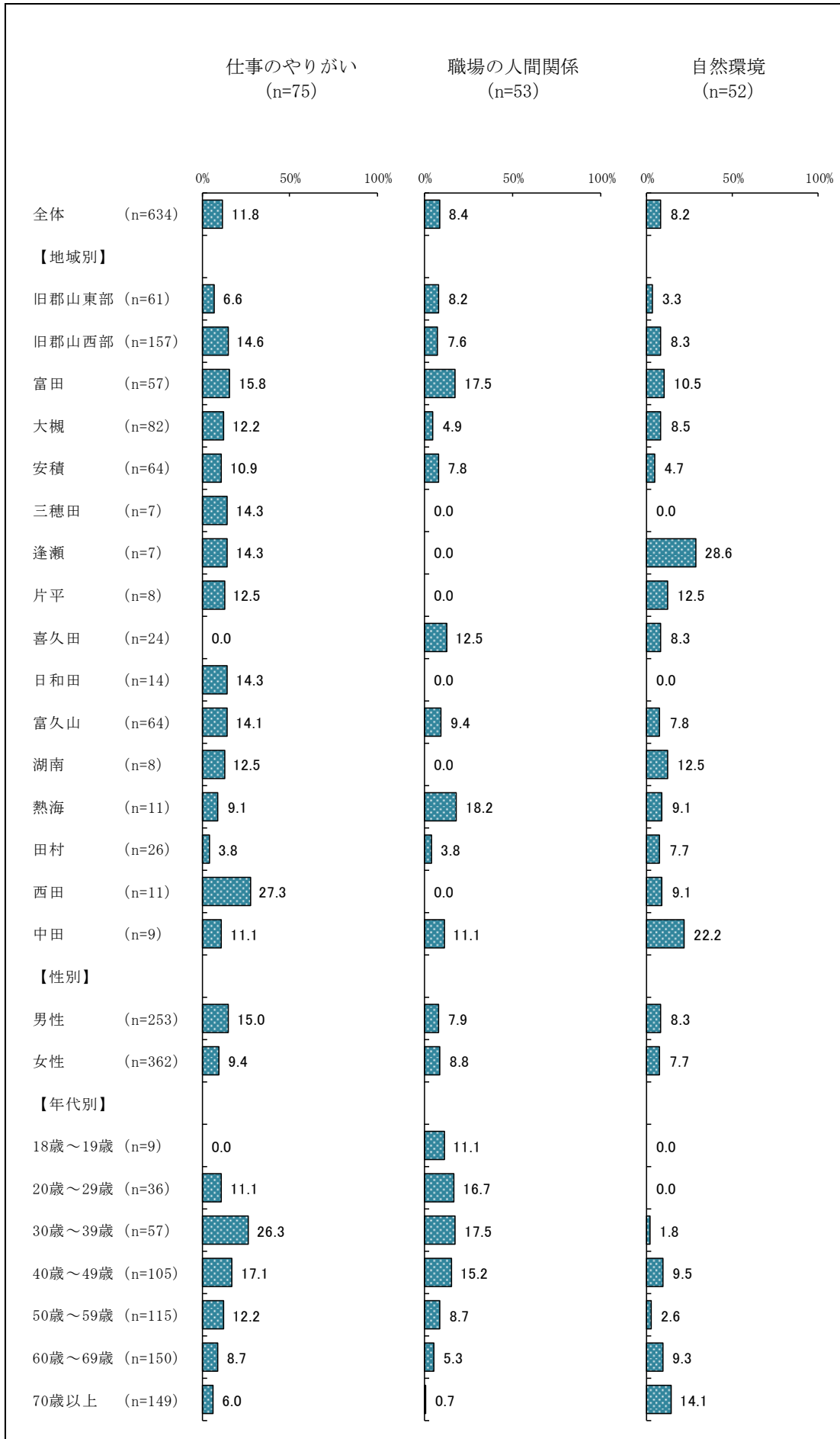


図1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～4/6～（地域別／性別／年代別）

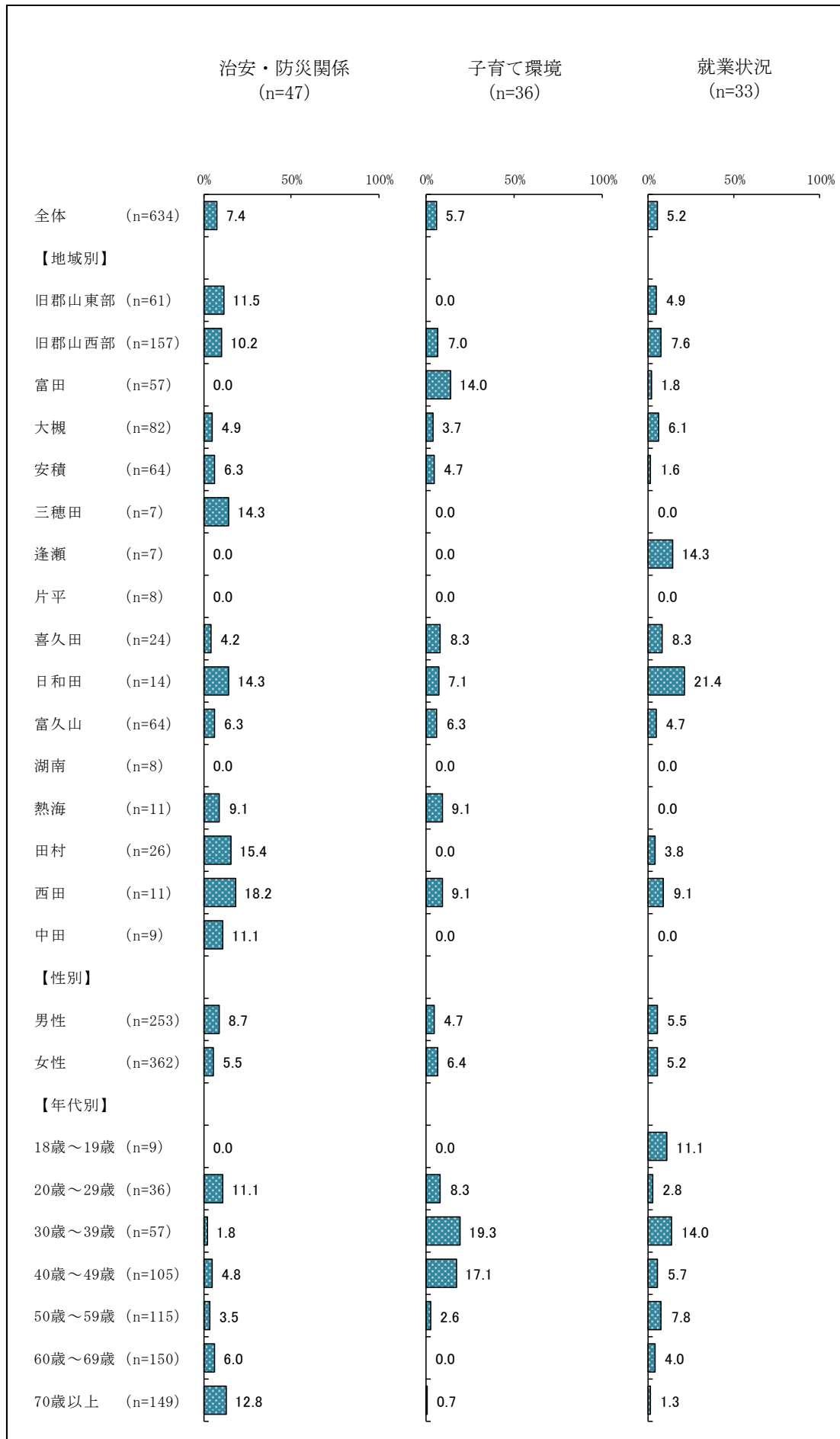


図1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～5/6～（地域別／性別／年代別）

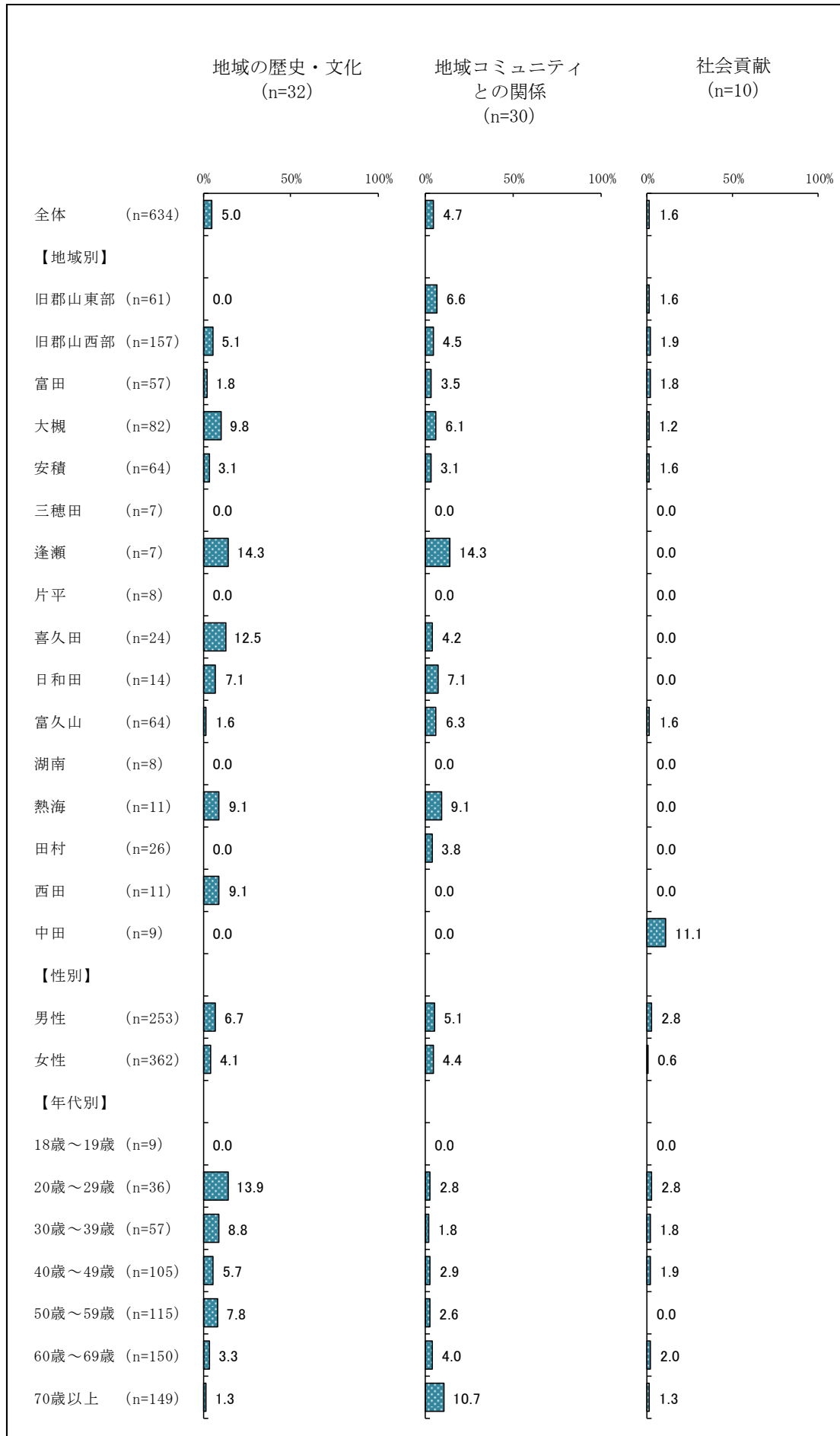
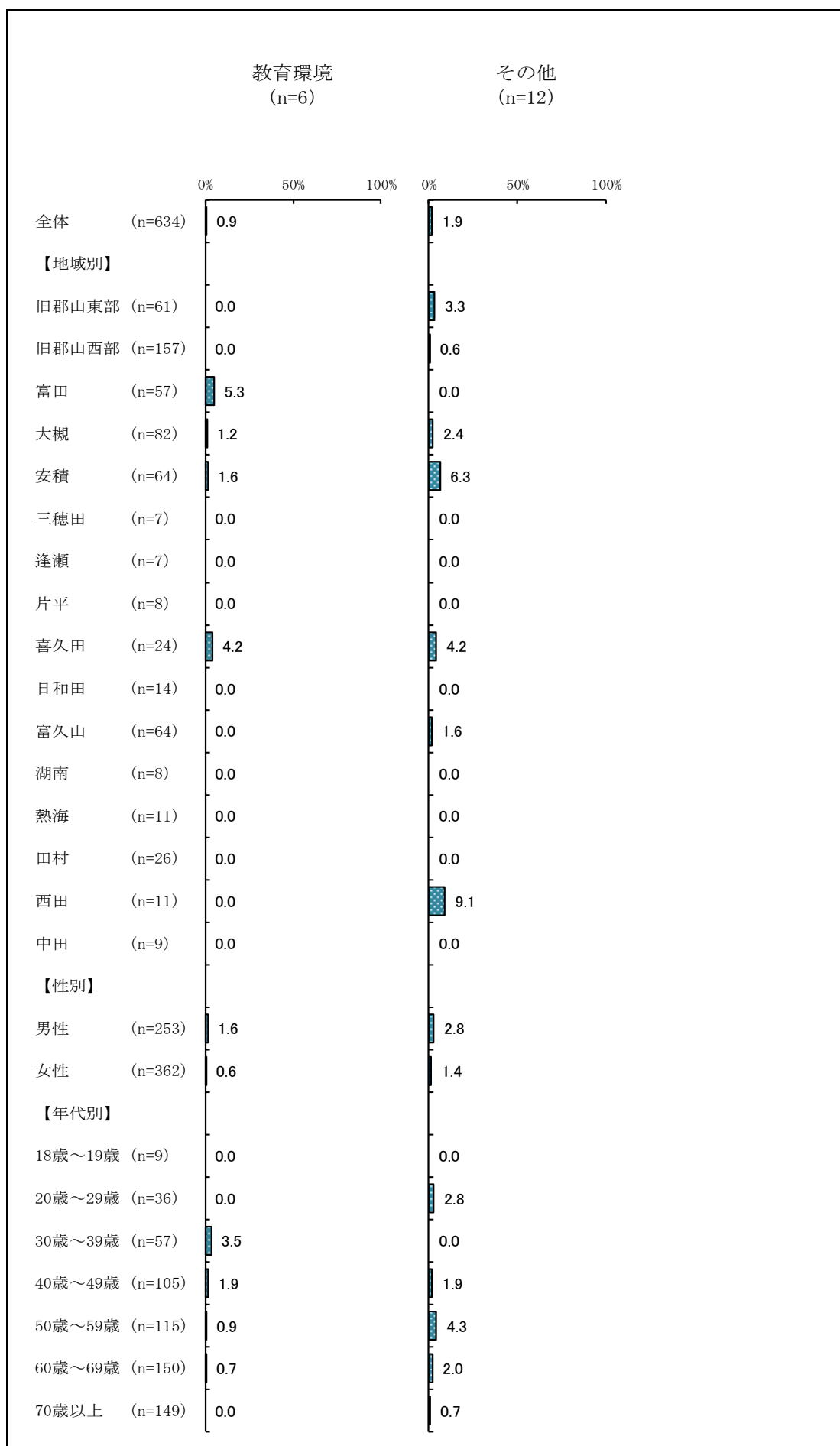
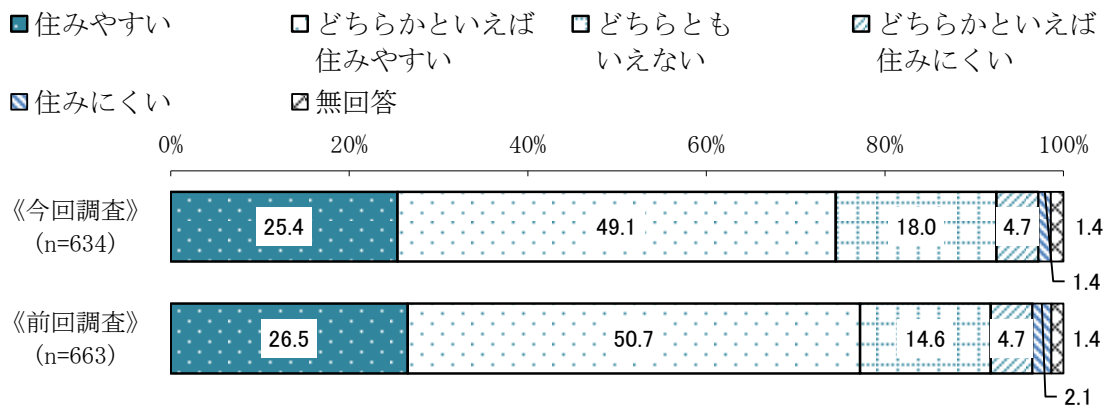
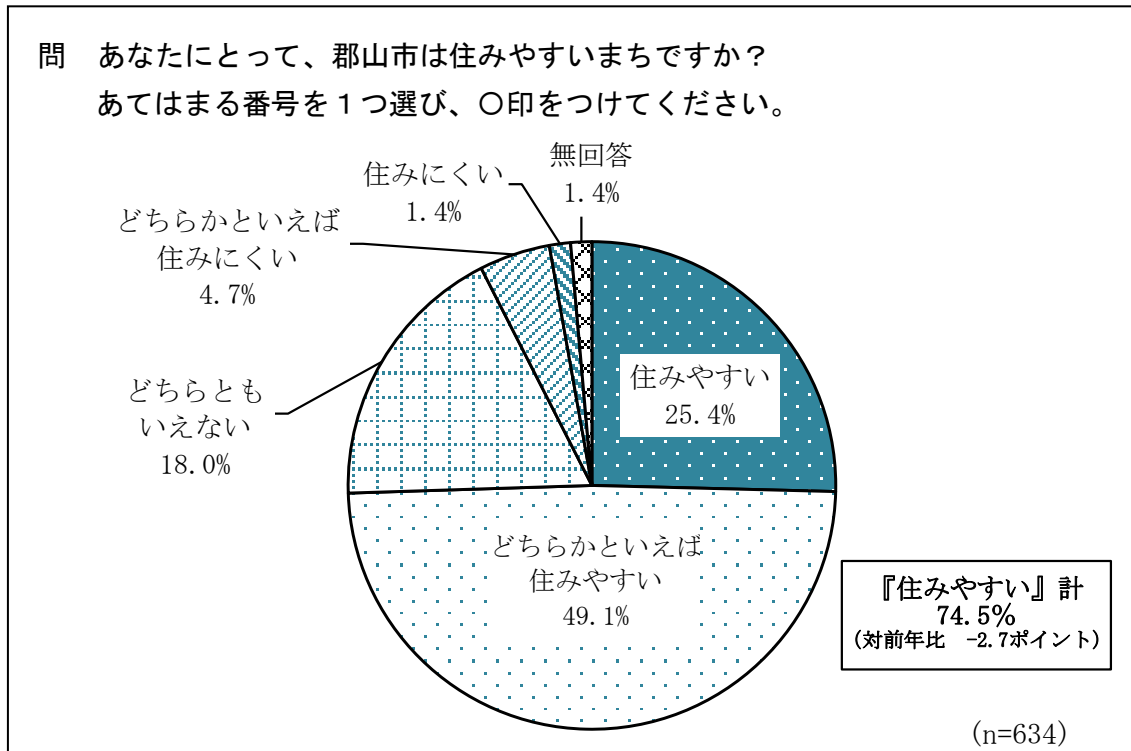


図 1 - 2 幸福度の判断の際に重視した事項～6/6～（地域別／性別／年代別）



## 2. 郡山市の住みやすさなどについて

### (1) 住みやすさへの評価



### 7割強の市民は郡山市を住みやすいまちと認識

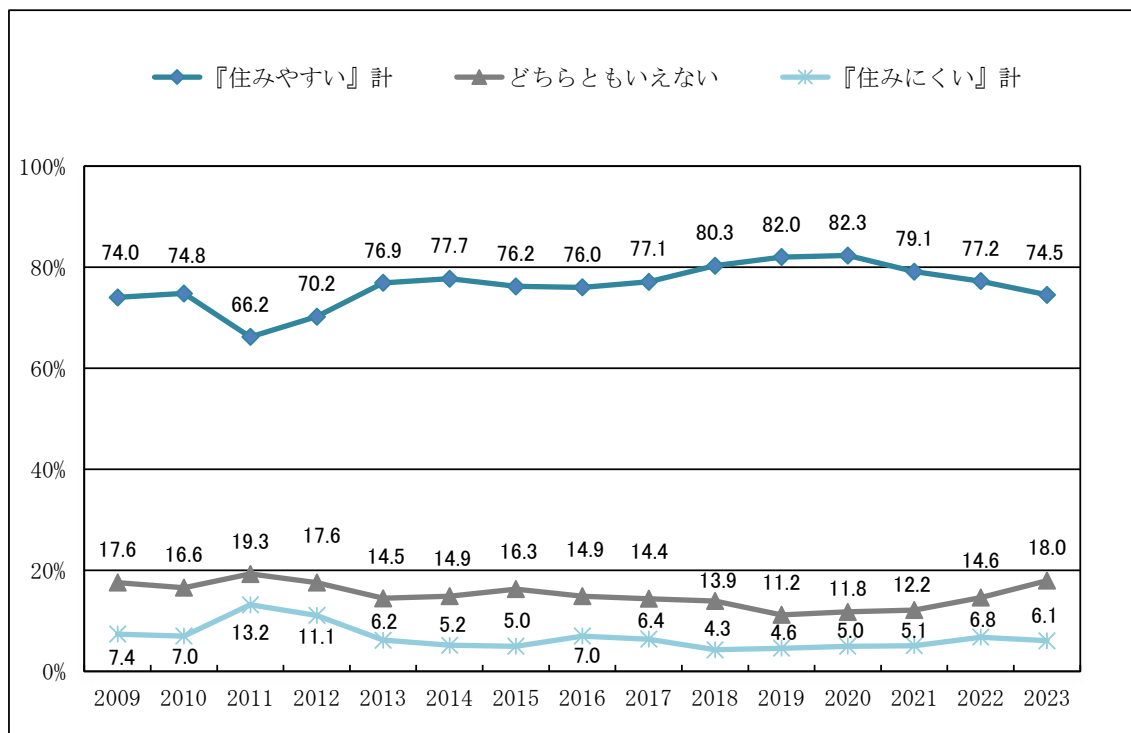
#### 【全体結果】

郡山市が住みやすいまちであるかどうかについては、「住みやすい」(25.4%)と「どちらかといえば住みやすい」(49.1%)の両者を合計すると『住みやすい』(74.5%)となっています。

一方、「どちらかといえば住みにくい」(4.7%)と「住みにくい」(1.4%)を合計すると『住みにくい』(6.1%)となっています。

前年度調査に比べて、『住みやすい』の合計ポイントは2.7ポイント低下しています。また、過去の調査結果との比較では、2016年から上昇傾向だったが、2020年をピークに低下しています(図2-1参照)。

図2-1 住みやすさへの評価（過去調査結果との比較）



【属性別結果】（図2-2 参照）

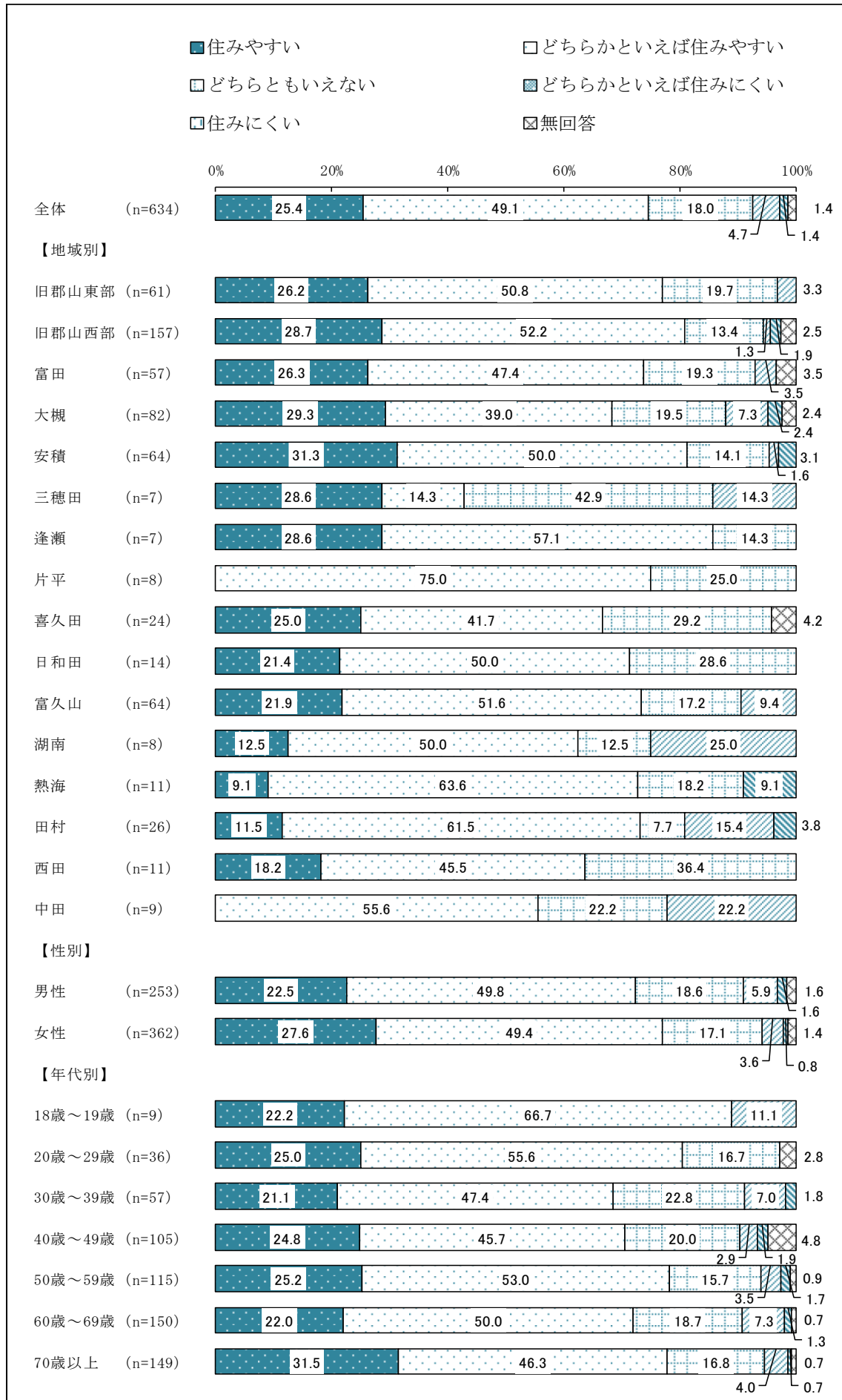
① 性別

『住みやすい』の割合は、女性（77.0%）の方が男性（72.3%）よりもやや高くなっています。

② 年代別

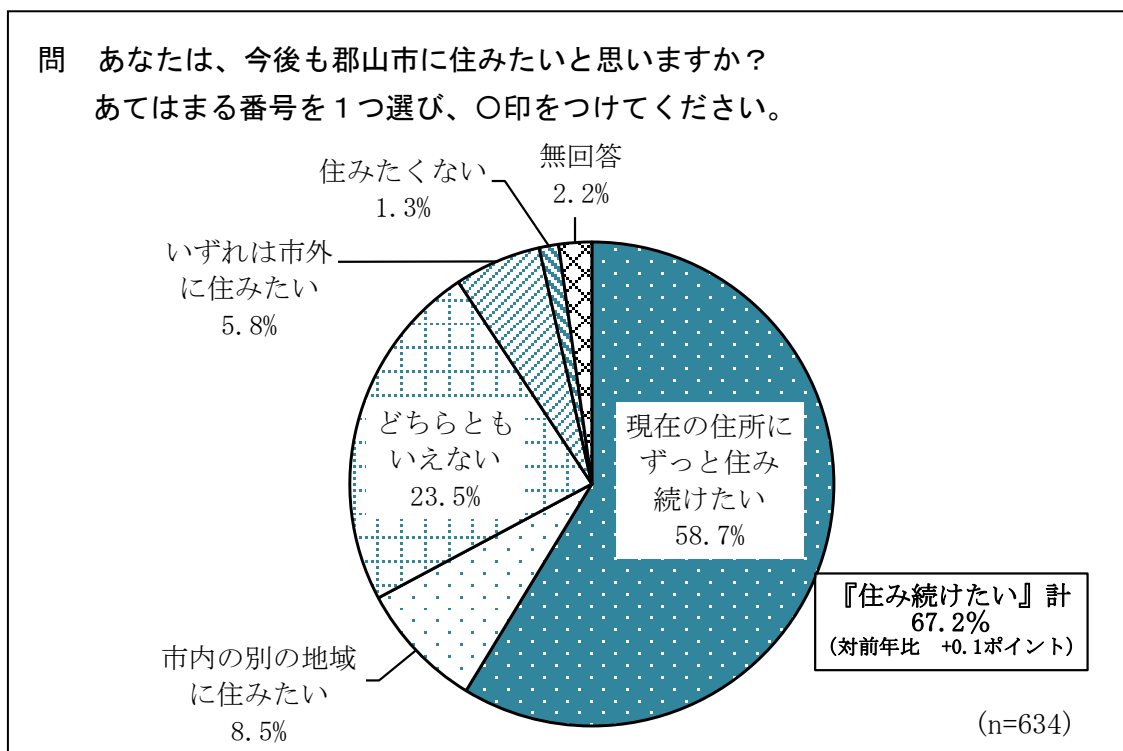
『住みやすい』の割合は、20代（80.6%）で最も高くなっています。

図2-2 住みやすさへの評価（地域別／性別／年代別）

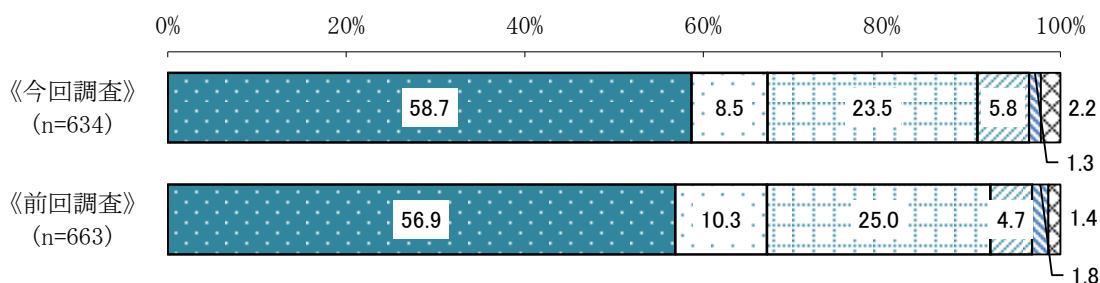




## (2) 今後の居留意向



- 現在の住所にずっと住み続けたい
- 市内の別の地域に住みたい
- どちらともいえない
- ▨ いずれは市外に住みたい
- 住みたくない
- ▨ 無回答



——— 7割弱の市民は今後も郡山市内に住み続けたいとしている ———

### 【全体結果】

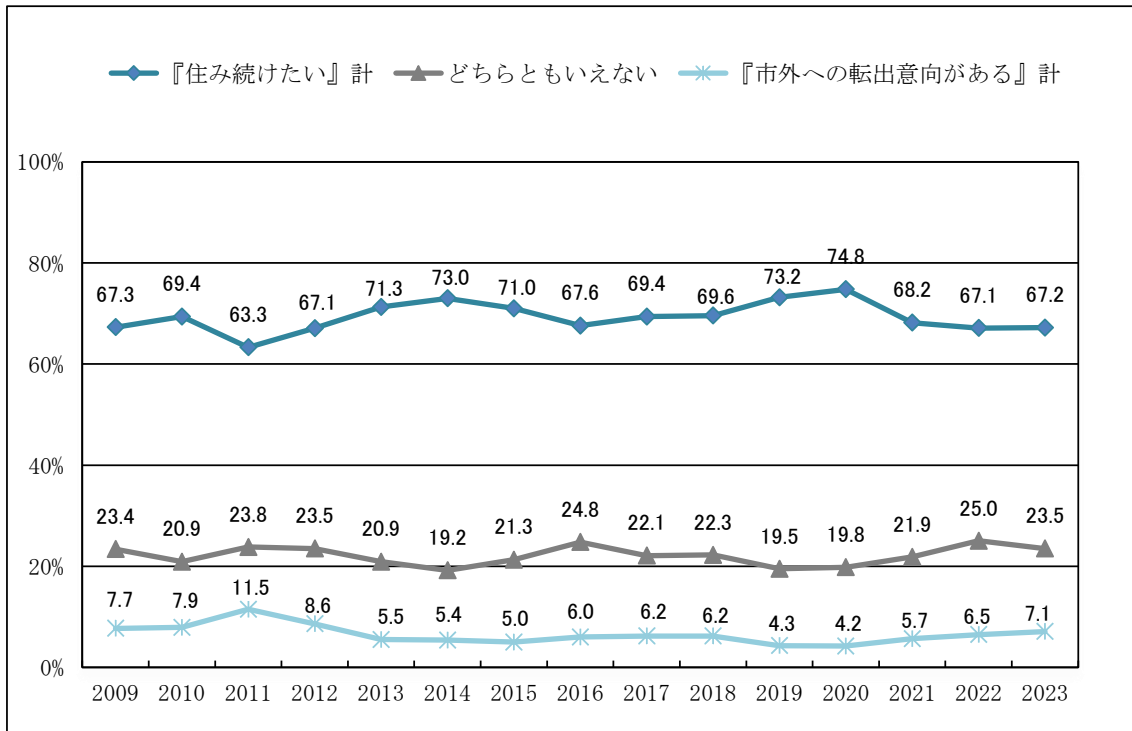
今後も郡山市に住み続けたいかどうかについては「現在の住所にずっと住み続けたい」(58.7%)と「市内の別の地域に住みたい」(8.5%)の両者を合計すると『住み続けたい』(67.2%)となっています。

前項の『住みやすい』の合計と比較して、大きな差は見られませんでした。

一方、「いずれは市外に住みたい」(5.8%)と「住みたくない」(1.3%)を合計すると『市外への転出意向がある』(7.1%)となっています。

なお、過去の調査結果との推移で比較すると、前項の〈住みやすさへの評価〉と同様、東日本大震災直後『住み続けたい』の合計は低下したものの、2013年以降、概ね7割前後で推移しています。また、『市外への転出意向がある』の合計は2011年をピークに減少していましたが、2020年以降上昇傾向となっています(図2-3参照)。

図2-3 今後の居留意向（過去調査結果との比較）



【属性別結果】（図2-4 参照）

① 性別

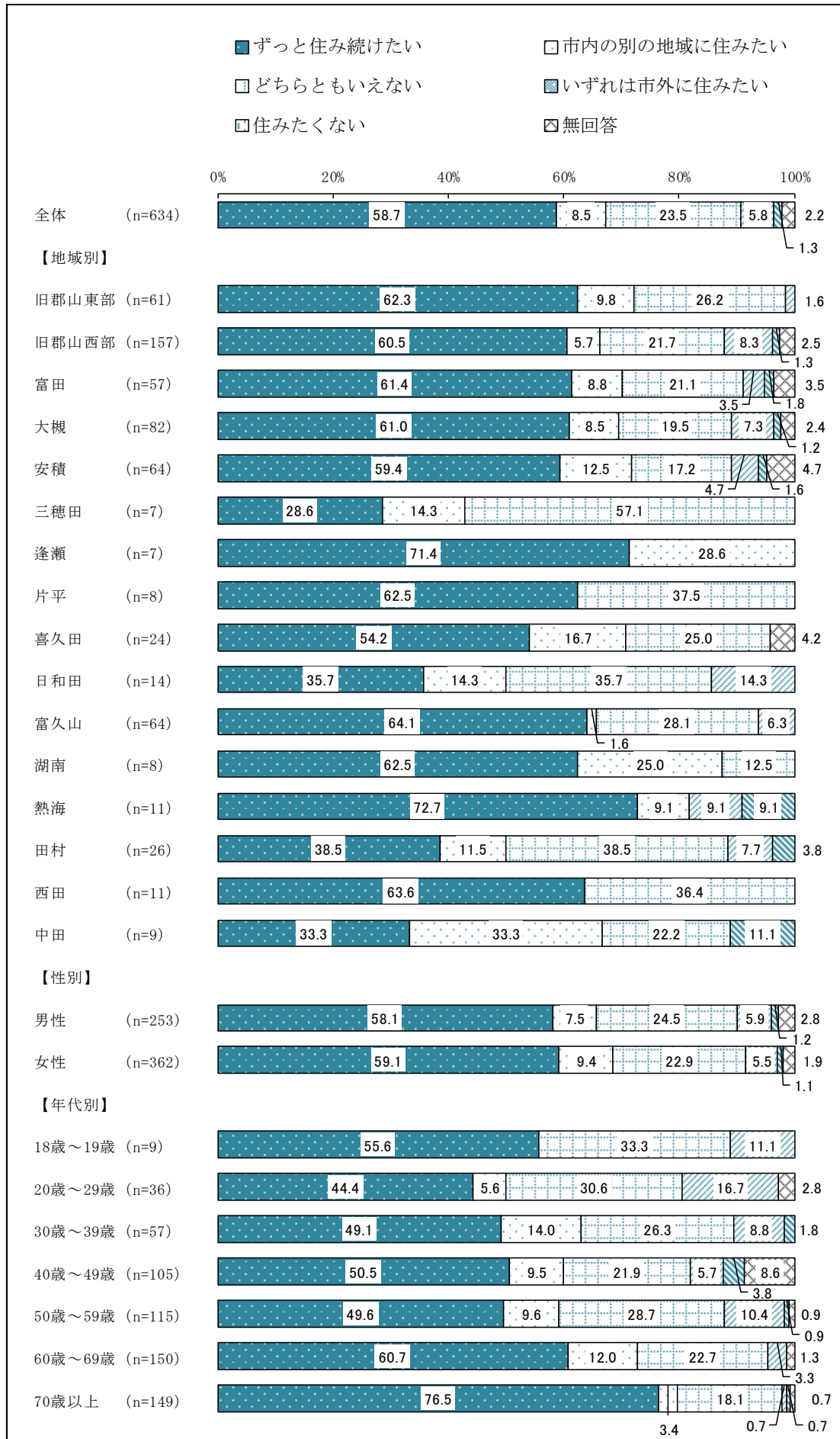
『住み続けたい』の割合は、女性（68.5%）の方が男性（65.6%）よりもやや高くなっています。

② 年代別

『住み続けたい』の割合は、70代以上（79.9%）で最も高く、次いで60代（72.7%）が続き、高齢層で割合が高くなっています。

一方、『市外への転出意向がある』の割合は、20代（16.7%）で最も高くなっています。

図2-4 今後の居留意向（地域別／性別／年代別）



### 3. 郡山市まちづくり基本指針施策の満足度重要度

#### (1) まちづくりへの満足度結果一覧

まちづくり（取組み）における43項目（施策）の満足度平均得点をランキング化しました。

表3-1 43項目（施策）の満足度ランキング

平均得点68.7点

順位	前年度 順位	分野	項目	満足度	順位の変動	10位以上の 変動
1位	(1位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	医療	76.3	⇒	
2位	(2位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	75.6	⇒	
3位	(3位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	75.1	⇒	
4位	(6位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防災	73.3	➡	
5位	(4位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	73.0	⇨	
6位	(7位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	72.5	➡	
7位	(13位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	住環境	72.2	➡	
8位	(5位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	子育て	71.4	⇨	
8位	(11位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	71.4	➡	
10位	(15位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	70.9	➡	
11位	(10位)	基盤的取組	復興・創生の更なる推進	70.4	⇨	
12位	(9位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	乳幼児教育・家庭教育	70.3	⇨	
12位	(12位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	3R(資源の有効利用)	70.3	⇒	
12位	(8位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	青少年健全育成	70.3	⇨	
15位	(14位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	歴史・文化遺産	70.1	⇨	
16位	(30位)	基盤的取組	SDGs	69.8	↑	△
17位	(21位)	基盤的取組	セーフコミュニティ	69.1	➡	
18位	(18位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	地域学習	69.0	⇒	
19位	(23位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	68.8	➡	
20位	(16位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	男女共同参画	68.7	⇨	
20位	(17位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	生涯学習	68.7	⇨	
22位	(20位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	68.6	⇨	
23位	(33位)	基盤的取組	DX推進	68.3	↑	△
24位	(22位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	特産品ブランド化	68.2	⇨	
25位	(18位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域コミュニティ	68.1	⇨	
26位	(27位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	都市間交流・国際交流・関係人口	68.0	➡	
26位	(29位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	市民協働	68.0	➡	
28位	(26位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域福祉	67.9	⇨	
28位	(24位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	地域産業	67.9	⇨	
30位	(35位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	ユニバーサルデザイン	67.4	➡	
31位	(24位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	67.2	⇨	
31位	(36位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	エネルギー	67.2	➡	
33位	(34位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	起業支援	66.9	➡	
34位	(30位)	基盤的取組	連携中枢都市圏構想	66.5	⇨	
35位	(32位)	基盤的取組	行政経営	66.4	⇨	
36位	(28位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	障がい者福祉	66.0	⇨	
37位	(37位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	65.8	⇒	
38位	(39位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	環境活動	65.7	➡	
39位	(37位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	雇用・就労	65.0	⇨	
40位	(40位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	64.8	⇒	
41位	(41位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	観光	62.6	⇒	
42位	(43位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	シティプロモーション	61.0	➡	
43位	(42位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	農林業	60.6	⇨	

平均より高い

平均より低い

【よい】の回答者に100点、【どちらかといえばよい】に80点、【どちらかといえば不満】に60点、【不満】に40点、【わからない】に0点を与え、各項目の平均得点を算出した結果を掲載しました（表3-1参照）。

平均得点が高いほど、「満足」との評価が高い施策・事業です。

平均得点の算出式、算出例を以下に掲載しました。

※1：平均得点の算出式

$$\begin{aligned} & (\text{【よい】} \times 100 + \text{【どちらかといえばよい】} \times 80 \\ & + \text{【どちらかといえば不満】} \times 60 + \text{【不満】} \times 40 + \text{【わからない】} \times 0) \\ & \div \text{「わからない」と無回答者を除いた} n \text{ 数} \end{aligned}$$

※2：平均得点の算出例

例えば、「よい」99人、「どちらかといえばよい」306人、  
「どちらかといえば不満」99人、「不満」52人、「わからない」72人ですと、

$$\frac{99 \text{ 人} \times 100 \text{ 点} + 306 \text{ 人} \times 80 \text{ 点} + 99 \text{ 人} \times 60 \text{ 点} + 52 \text{ 人} \times 40 \text{ 点} + 72 \text{ 人} \times 0 \text{ 点}}{556 \text{ 人}}$$

≒76.3

※平均得点=76.3点となります。

※2019年度から「普通」評価をなくした4段階評価とし、配点も変更しました。

## — 満足度の上位3つは、「医療」「音楽のまちづくり」「自然環境」 —

### 【全体結果】

現在のまちづくりに対する満足度については、「医療」「音楽のまちづくり」「自然環境」が上位となっています。

「10年間の満足度上位3項目」において、「医療」は2017年度以外、毎年度上位3項目に含まれ、また、「音楽のまちづくり」は「音楽都市こおりやま」（2017年度以前の項目名）を含めると2013年度以降は毎年上位3項目に含まれており、継続して満足度の上位にある施策です。

「医療」については、病床数が全国平均を大きく上回るなど、市民のニーズを満たす医療を提供していること、また、「音楽のまちづくり」については、「音楽都市宣言」から15年経過し、市民の認知度が高いことなどが、満足度につながっていると考えられます。

また、前年度調査に比べて大きく順位を上げたのは、「SDGs」「DX推進」「住環境」「防犯・交通安全・消費者対策」です。

これらの項目に関連する本市の主な取組みは、次のとおりです。

「SDGs」では、郡山市は、2019年に内閣府から「SDGs未来都市」に選定されました。郡山市及び近隣の17市町村で構成する「こおりやま広域圏」全体で、SDGs達成に向けて取り組んでいます。

「DX推進」では、スマートフォン等の活用による「てのひらの上のデジタル市役所」を推進するため、行政手続きのオンライン化、証明書等発行手数料や施設使用料のキャッシュレス決済により市民の利便性向上を図っています。

「住環境」の項目のうち『公園』については、日常の維持管理とともに、利用者のニーズに合わせた施設の改修や整備を進めています。次に『生活道路』では、地元からの要望を的確に把握し、高齢者や障がい者等の円滑な移動に配慮するとともに、生活環境の利便性や安全性の向上のため効率的に改良・舗装工事を進めています。次に『上下水道』では、水道水の安全性を確保するため、適切な水質管理を行うとともに、給水管等老朽化した施設を計画的かつ効率的に更新しています。また、浸水被害の軽減を図るため、麓山調整池などの雨水貯留施設を整備したところであり、引き続き雨水幹線等の整備を進めます。

「防犯」では、公用車による青色回転灯パトロールや防犯パトロール用品を支給した団体による防犯パトロールの実施、「交通安全」では、各季の交通安全運動や交通安全教室の実施により、市民・関係団体との協働による安全安心のまちづくりの推進に努めています。

「消費者対策」としては、広報こおりやまやウェブサイトによる注意喚起をはじめ、出前講座、町内会等への啓発チラシの配布やこどもまつり等のイベントでの啓発により、トラブルの未然・再発の防止に努めています。

また、6分野の満足度を比較すると、最も満足度が高かった分野は、「学び育む子どもたちの未来」の69.9点、次いで「誰もが地域で輝く未来」の69.8点、「暮らしやすいまちの未来」の69.3点となっています。

表3-2 6分野別の満足度ランキング

順位	分野	点数
1位	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来 (子育て・教育・地域学習分野)	69.9
2位	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来 (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)	69.8
3位	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来 (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)	69.3
4位	基盤的取組 (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs・DX推進・復興、創生の更なる推進)	68.4
5位	Ⅱ. 交流・観光の未来 (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)	67.5
6位	Ⅰ. 産業・仕事の未来 (商業・工業・雇用・農林業分野)	66.3

参考までに、過去10年間の満足度上位3つは下表のとおりです。

表3-3 10年間の満足度上位3項目

順位 年度	1位	2位	3位
2023	医療	音楽のまちづくり	自然環境
2022	医療	音楽のまちづくり	自然環境
2021	医療	除去土壌等の搬出	音楽のまちづくり
2020	医療	音楽のまちづくり	自然環境
2019	音楽のまちづくり	自然環境	医療
2018	音楽のまちづくり	医療	自然環境
2017	広聴広報	音楽都市こおりやま	除染
2016	広聴広報	音楽都市こおりやま	医療
2015	音楽都市こおりやま	生涯学習	医療
2014	音楽都市こおりやま	医療	生涯学習

## (2) これからの取組み重要度結果一覧

まちづくり（取組み）における43項目（施策）の重要度の平均割合（回答率）をランキング化しました。

表3-4 43項目（施策）の重要度ランキング

平均割合13.0%

順位	前年度 順位	分野	項目	重要度	順位の変動	10位以上の 変動
1位	(2位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	子育て	37.9	➡	
2位	(1位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	雇用・就労	37.1	➡	
3位	(3位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	34.7	➡	
4位	(7位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	26.7	➡	
5位	(4位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	24.9	➡	
6位	(5位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	医療	24.6	➡	
7位	(12位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	23.5	➡	
8位	(9位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	22.6	➡	
9位	(10位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	21.6	➡	
10位	(8位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	地域産業	18.8	➡	
11位	(6位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防災	18.6	➡	
12位	(11位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	観光	16.4	➡	
13位	(16位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	14.2	➡	
14位	(14位)	基盤的取組	SDGs	12.9	➡	
15位	(13位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	特産品ブランド化	12.5	➡	
16位	(21位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	乳幼児教育・家庭教育	11.8	➡	
16位	(15位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	11.8	➡	
18位	(18位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	住環境	11.7	➡	
19位	(19位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	11.5	➡	
20位	(23位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	農林業	11.2	➡	
21位	(32位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	起業支援	10.4	⬆	△
21位	(20位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	10.4	➡	
23位	(24位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	障がい者福祉	10.3	➡	
24位	(17位)	基盤的取組	復興、創生の更なる推進	9.9	➡	
25位	(21位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	青少年健全育成	9.6	➡	
26位	(25位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	都市間交流・国際交流・関係人口	9.5	➡	
26位	(27位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域コミュニティ	9.5	➡	
28位	(26位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域福祉	9.3	➡	
29位	(29位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	環境活動	8.2	➡	
30位	(34位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	エネルギー	8.0	➡	
31位	(29位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	3R（資源の有効利用）	7.7	➡	
32位	(33位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	地域学習	7.6	➡	
33位	(28位)	基盤的取組	行政経営	7.3	➡	
34位	(31位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	シティプロモーション	6.0	➡	
35位	(35位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	歴史・文化遺産	5.5	➡	
36位	(36位)	基盤的取組	連携中枢都市圏構想	4.9	➡	
37位	(38位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	男女共同参画	3.9	➡	
37位	(39位)	基盤的取組	セーフコミュニティ	3.9	➡	
39位	(41位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	ユニバーサルデザイン	3.3	➡	
40位	(37位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	生涯学習	3.2	➡	
41位	(40位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	市民協働	2.8	➡	
42位	(42位)	基盤的取組	DX推進	2.5	➡	
43位	(43位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	1.9	➡	

平均より高い

平均より低い



平均割合（回答率）が高いほど、「重要度」が高い施策・事業です。

平均割合（回答率）の算出式、算出例を以下に掲載しました。

**※1：平均割合（回答率）の算出式**

$(\text{回答数}) \div n \text{ 数} \times 100\%$

**※2：平均割合（回答率）の算出例**

例えば、「子育て」240人ですと、

$240 \text{ 人} \div 634 \text{ 人} \times 100\% \approx 37.9$

※平均割合（回答率）=37.9%となります。

— 重要度の上位3つは、「子育て」「雇用・就労」「高齢者福祉」 —

**【全体結果】**

現在のまちづくりに対する重要度については、「子育て」「雇用・就労」「高齢者福祉」が上位となっています。

「子育て」については、急速に進む少子化や人口減少などへの関心の高まりに加え、本市は2022年7月に「全力で子育て応援中！」を宣言し、「子どもが安心して生まれ育つまち 郡山」として、「ベビーファースト」運動を推進していることなどから、各種団体や事業者など地域ぐるみでの子育て支援の取組みが広がったこともあり、重要度が高まっていると考えられます。

また、「10年間の重要度上位3項目」において、「高齢者福祉」は2014年度から、「雇用・就労」は2018年度から、ほぼ毎年度上位3項目に含まれており、継続して重要度の高い施策です。

また、前年度調査に比べて大きく順位を上げたのは、「起業支援」「防犯・交通安全・消費者対策」「乳幼児教育・家庭教育」です。

「起業支援」では、国が認定する「創業支援等事業計画」を策定し、起業・創業に関する各種事業に取り組んでいきます。また、民間の創業支援事業者と連携しながら、市内において起業・創業を目指す方を支援します。

「防犯・交通安全・消費者対策」については、全国的に高齢者による重大事故が連日報道され、市民の交通安全意識が高まるとともに、市内では小学生への声掛け事案が相次ぐなど、防犯に対する意識も高まり、重要度が高くなったと考えられます。

「乳幼児教育・家庭教育」では、『郡山市まちづくり基本指針』を基盤とし、SDGsやセーフコミュニティ、「郡山市子ども条例」や「連携中枢都市圏」など本市独自の視点等を取り入れた『第2期郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン』を策定し、すべての子どもの健やかな育ちと子育て中の保護者等を支援できるよう、様々な子育て支援施策を総合的かつ計画的に推進しています。

また、6分野の重要度を比較すると、最も重要度が高かった分野は、満足度においては比較的低い分野の「産業・仕事の未来」の18.6%となっており、重点的に取り組むべ

き分野といえます。次いで、「学び育む子どもたちの未来」の 18.4%と続いています。

表 3-5 6分野別の重要度ランキング

順位	分野	回答率
1位	I. 産業・仕事の未来 (商業・工業・雇用・農林業分野)	18.6
2位	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来 (子育て・教育・地域学習分野)	18.4
3位	V. 暮らしやすいまちの未来 (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)	14.2
4位	IV. 誰もが地域で輝く未来 (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)	11.4
5位	Ⅱ. 交流・観光の未来 (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)	9.6
6位	基盤的取組 (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs・DX推進・復興、創生の更なる推進)	6.9

参考までに、過去 10 年間の重要度上位 3 つは下表のとおりです。

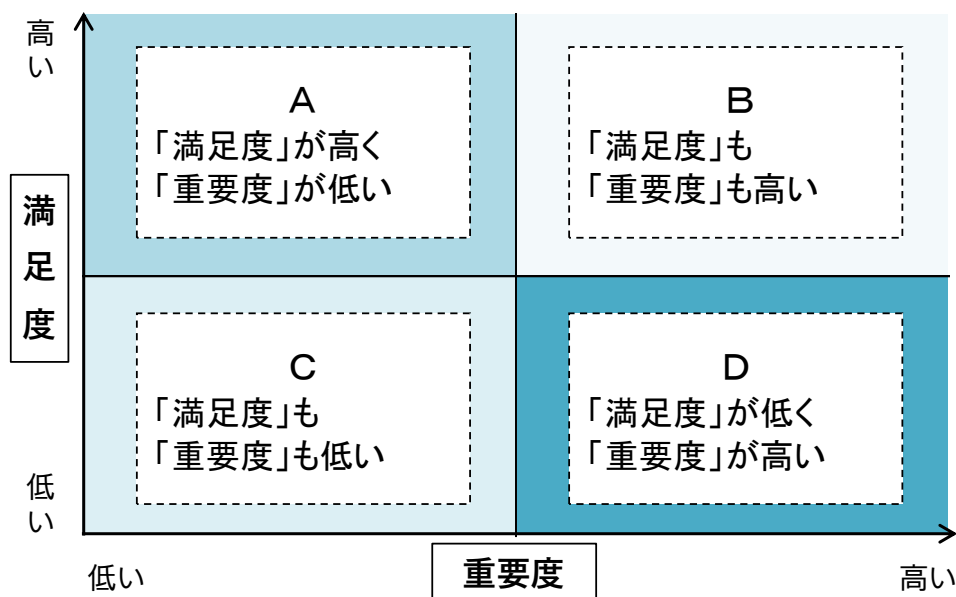
表 3-6 10年間の重要度上位 3 項目

順位 年度	1 位	2 位	3 位
2023	子育て	雇用・就労	高齢者福祉
2022	雇用・就労	子育て	高齢者福祉
2021	子育て	雇用・就労	高齢者福祉
2020	雇用・就労	防災	学校教育
2019	雇用・就労	子育て	高齢者福祉
2018	雇用・就労	子育て	高齢者福祉
2017	高齢者福祉	子育て	学校教育
2016	高齢者福祉	学校教育	子育て
2015	高齢者・障がい者福祉	学校教育	子育て
2014	高齢者・障がい者福祉	子育て	学校教育

### (3) 施策の優先度《満足度と重要度の関係》

まちづくり（取組み）における 43 項目（施策）の優先度を整理するため、「満足度」を縦軸、「重要度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重要度」の結果を散布図として示しました。満足度平均得点の算出方法につきましては前出 29 頁を、重要度平均割合の算出方法につきましては前出 33 頁を参照ください。

なお、「満足度」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



#### **A：維持領域**

重要度は低いが満足度が高い取組みは、現状を維持していく項目（施策）です。

#### **B：重要維持領域**

重要度が高く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目（施策）です。

#### **C：要検討領域**

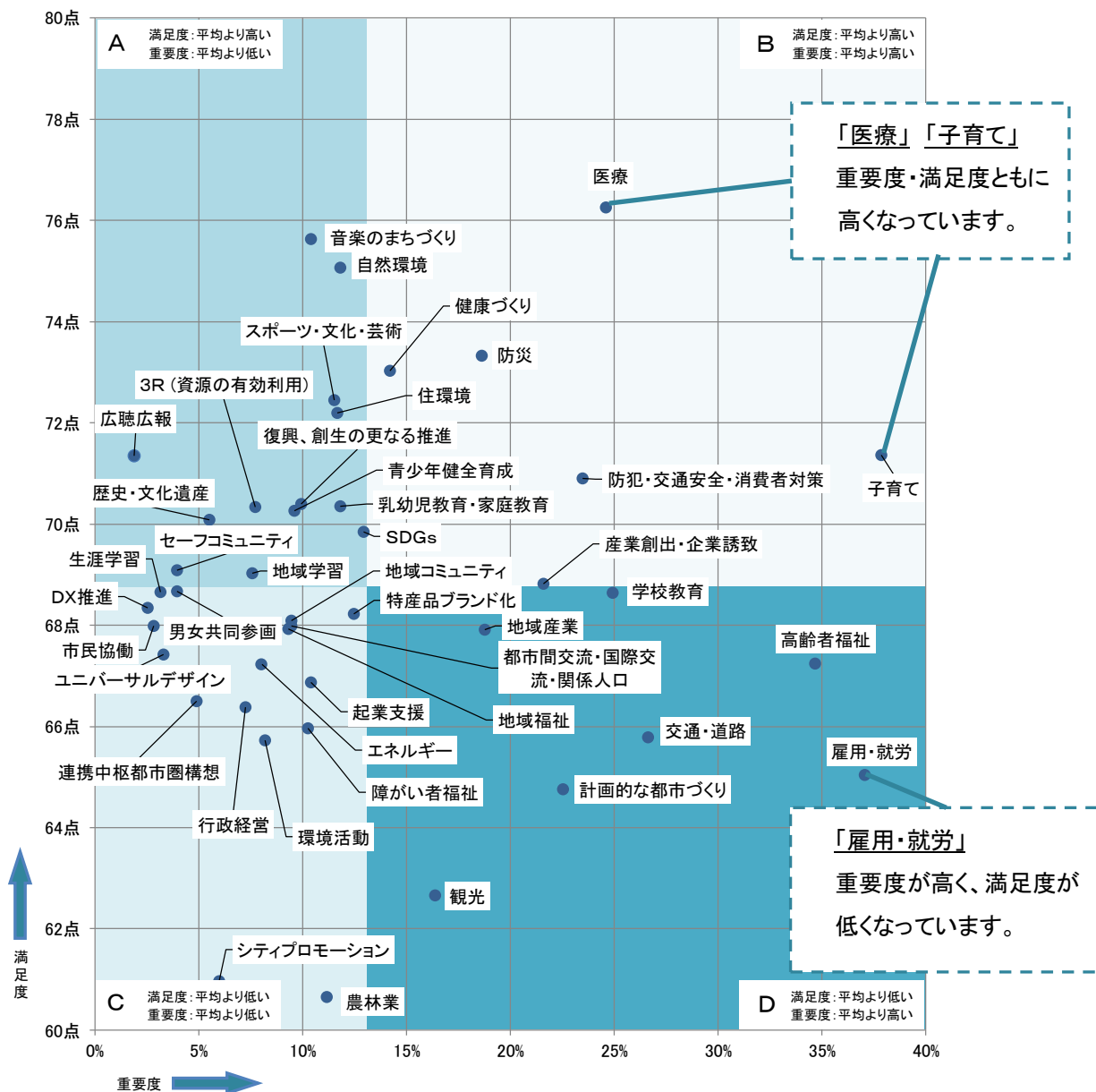
重要度も満足度も低い取組みは、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目（施策）です。

#### **D：重要取組領域**

重要度が高いが満足度が低いため、重点的に取組みを進める必要がある項目（施策）です。

※上記のそれぞれの領域に該当した項目（施策）の満足度や重要度の高低については、全体の平均値と比較した相対的判断となっています。

図3-1 施策の優先度（満足度と重要度の関係散布図）

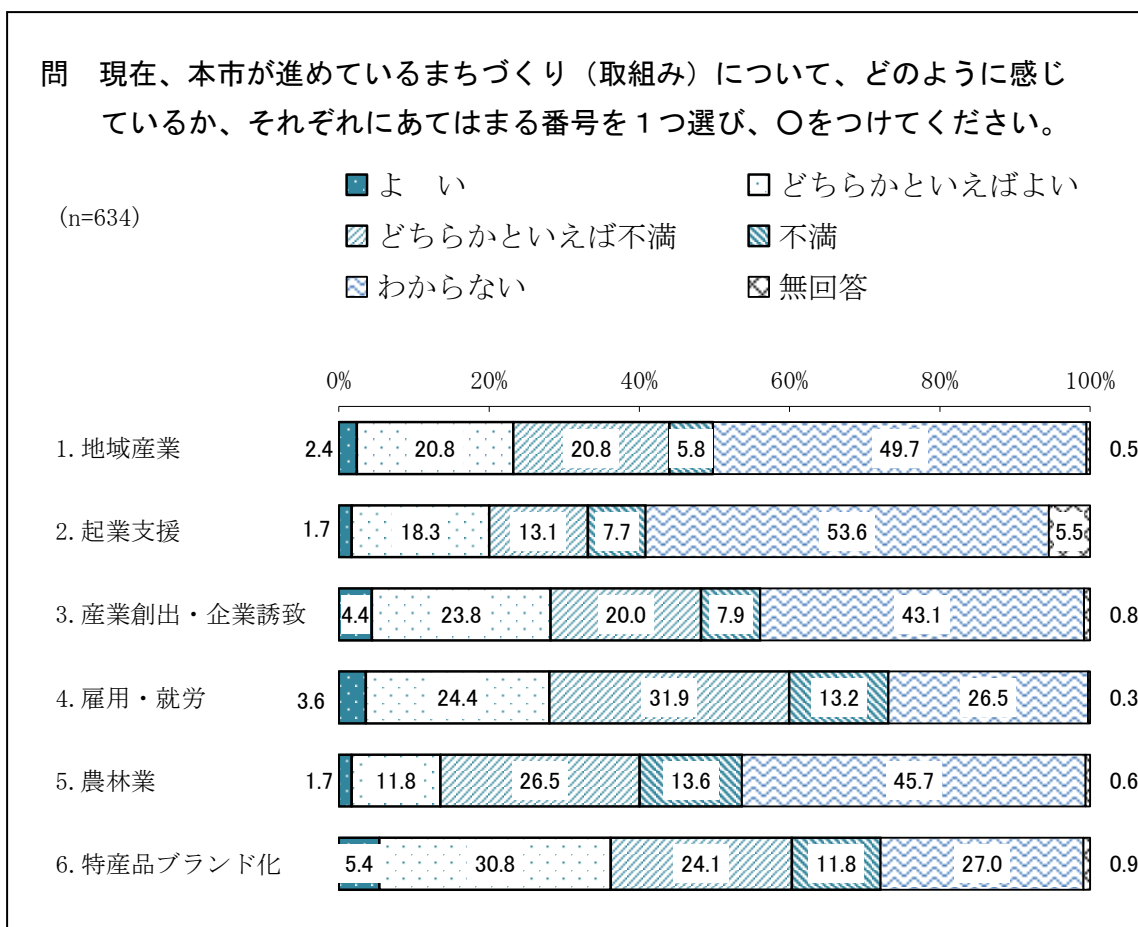


—— 「雇用・就労」に関して優先的な施策の改善が求められている ——

現在の満足度が低く、今後の重要性が高い領域「D」にある施策は市民ニーズが高いと考えられます。この領域は市民生活に密接な関係のある施策が多く、とりわけ「雇用・就労」は市民ニーズの高いポイントとなっています。

#### (4) 分野別属性別満足度結果

##### ①産業・仕事の未来（商業・工業・雇用・農林業分野）への満足度



—— 産業・仕事の未来において「満足」と思う人が最も多いのは

『特産品ブランド化』 ——

#### 【全体結果】

『産業・仕事の未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『6. 特産品ブランド化』（36.2%）でした。以下、『3. 産業創出・企業誘致』（28.2%）、『4. 雇用・就労』（28.0%）と続き、上位を構成しています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『4. 雇用・就労』（45.1%）でした。『6. 特産品ブランド化』については評価が分かれる結果となっています（満足：36.2%、不満：35.9%）。

また、「わからない」の割合が『2. 起業支援』（53.6%）と『1. 地域産業』（49.7%）で半数前後を占めています。事業、施策の推進など、今後もさらに周知していく必要があります。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図 3-2 参照）。

平均得点をみると、『3. 産業創出・企業誘致』が 68.8 点で最も高く、一方で、最も低かったのは『5. 農林業』（60.6 点）でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位 3 つを以下に掲載しました。（表 3-7 参照）

図 3-2 産業・仕事の未来への満足度＜平均得点＞（全体）

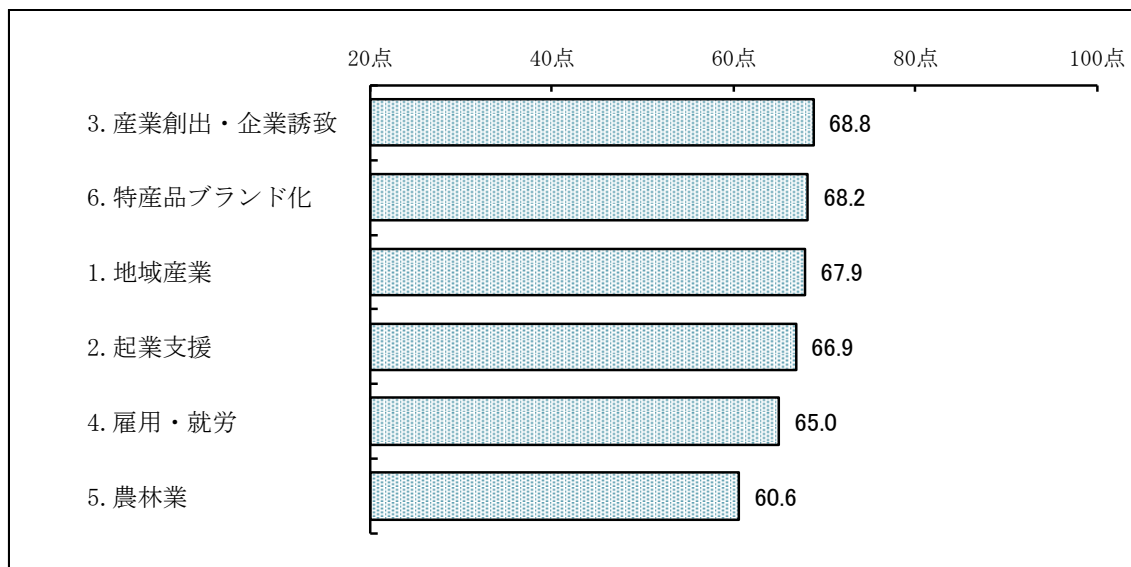


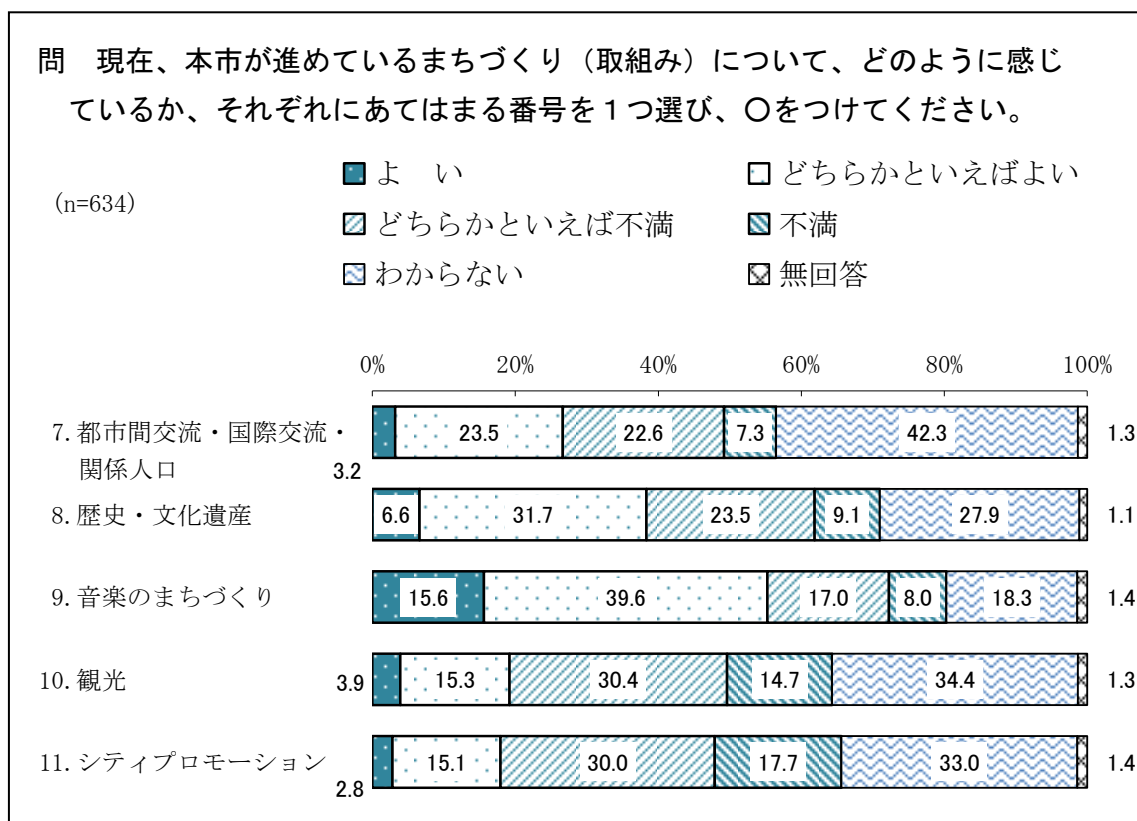
表 3-7 産業・仕事の未来への満足度＜性別、年代別平均得点の上位 3 つ＞

	男性	女性
1位	産業創出・ 企業誘致 (67.4点)	特産品 ブランド化 (71.4点)
2位	地域産業 (66.0点)	産業創出・ 企業誘致 (70.2点)
3位	起業支援 (64.8点)	地域産業 (69.6点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	特産品 ブランド化 (82.9点)	特産品 ブランド化 (77.8点)	特産品 ブランド化 (69.6点)	特産品 ブランド化 (66.3点)	特産品 ブランド化 (67.7点)	地域産業 (67.2点)	産業創出・ 企業誘致 (73.3点)
2位	産業創出・ 企業誘致 (76.0点)	産業創出・ 企業誘致 (76.7点)	地域産業 (69.0点)	産業創出・ 企業誘致 (64.5点)	起業支援 (67.2点)	特産品 ブランド化 (67.0点)	地域産業 (70.7点)
3位	農林業 (75.0点)	地域産業 (75.0点)	産業創出・ 企業誘致 (68.8点)	地域産業 (62.5点)	地域産業 (66.4点)	産業創出・ 企業誘致 (66.8点)	起業支援 (70.3点)

## ② 交流・観光の未来

(交流・文化・観光・シティプロモーション分野) への満足度



—— 交流・観光の未来において「満足」と思う人が最も多いのは

『音楽のまちづくり』 ——

### 【全体結果】

『交流・観光の未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『9. 音楽のまちづくり』（55.2%）となり、次点の『8. 歴史・文化遺産』（38.3%）を大きく上回っています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『11. シティプロモーション』（47.7%）となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図 3-3 参照）。

平均得点をみると、『9. 音楽のまちづくり』が 75.6 点で最も高くなっています。

一方で、最も低かったのは『11. シティプロモーション』（61.0 点）でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位 3 つを次頁に掲載しました（表 3-8 参照）。

図3-3 交流・観光の未来への満足度〈平均得点〉（全体）

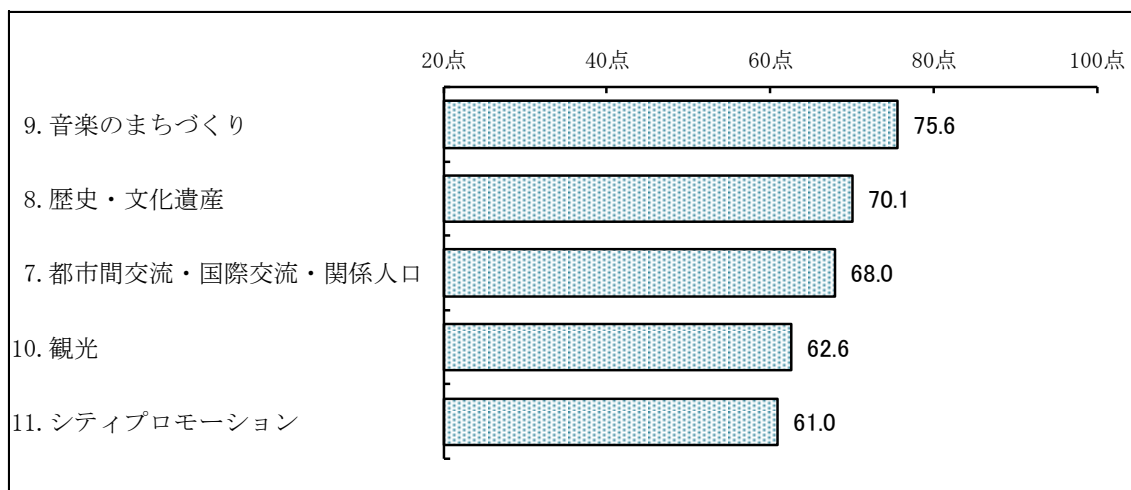


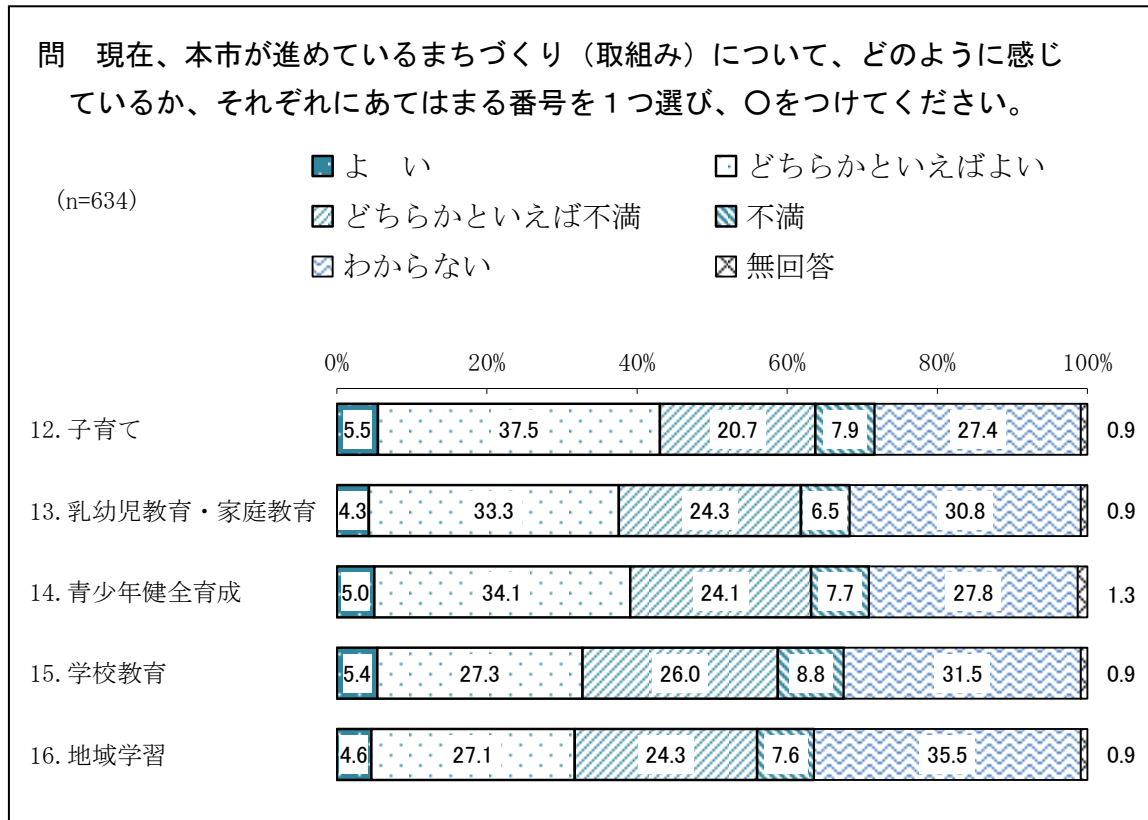
表3-8 交流・観光の未来への満足度〈性別、年代別平均得点の上位3つ〉

	男性	女性
1位	音楽のまちづくり (73.2点)	音楽のまちづくり (77.2点)
2位	歴史・文化遺産 (67.9点)	歴史・文化遺産 (72.1点)
3位	都市間交流・国際交流・関係人口 (66.0点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (70.1点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	音楽のまちづくり (85.7点)	音楽のまちづくり (81.3点)	音楽のまちづくり (70.0点)	音楽のまちづくり (75.6点)	音楽のまちづくり (73.9点)	音楽のまちづくり (74.4点)	音楽のまちづくり (78.5点)
2位	歴史・文化遺産 (83.3点)	歴史・文化遺産 (77.0点)	歴史・文化遺産 (67.4点)	歴史・文化遺産 (71.9点)	歴史・文化遺産 (66.8点)	歴史・文化遺産 (69.3点)	歴史・文化遺産 (70.8点)
3位	観光 (71.4点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (75.4点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (63.5点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (67.8点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (65.2点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (68.4点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (69.9点)



### ③ 学び育む子どもたちの未来（子育て・教育・地域学習分野）への満足度



#### —— 学び育む子どもたちの未来において

「満足」と思う人が最も多いのは『子育て』 ——

#### 【全体結果】

『学び育む子どもたちの未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『12. 子育て』（43.0%）となり、次いで『14. 青少年健全育成』（39.1%）も約4割で続いています。特に『12. 子育て』に関しては、安心して生み育てる環境において、子育てしやすい環境づくりに努めるなど、今後特に重点的な維持が期待されています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『15. 学校教育』（34.8%）となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図3-4参照）。

平均得点をみると、『12. 子育て』が71.4点で最も高くなっています。

一方で、最も低かったのは『15. 学校教育』（68.6点）でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位3つを次頁に掲載しました（表3-9参照）。

図3-4 学び育む子どもたちの未来への満足度〈平均得点〉（全体）

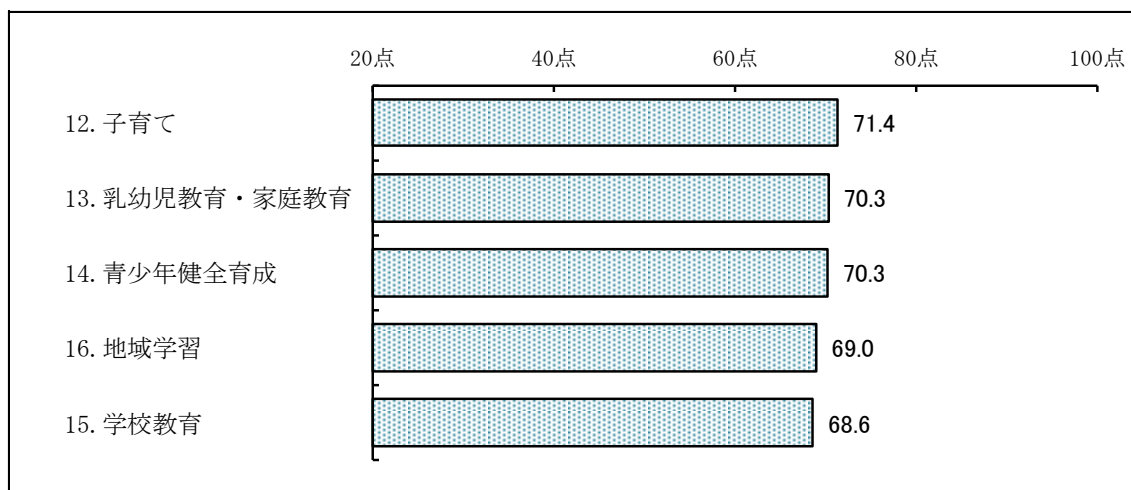


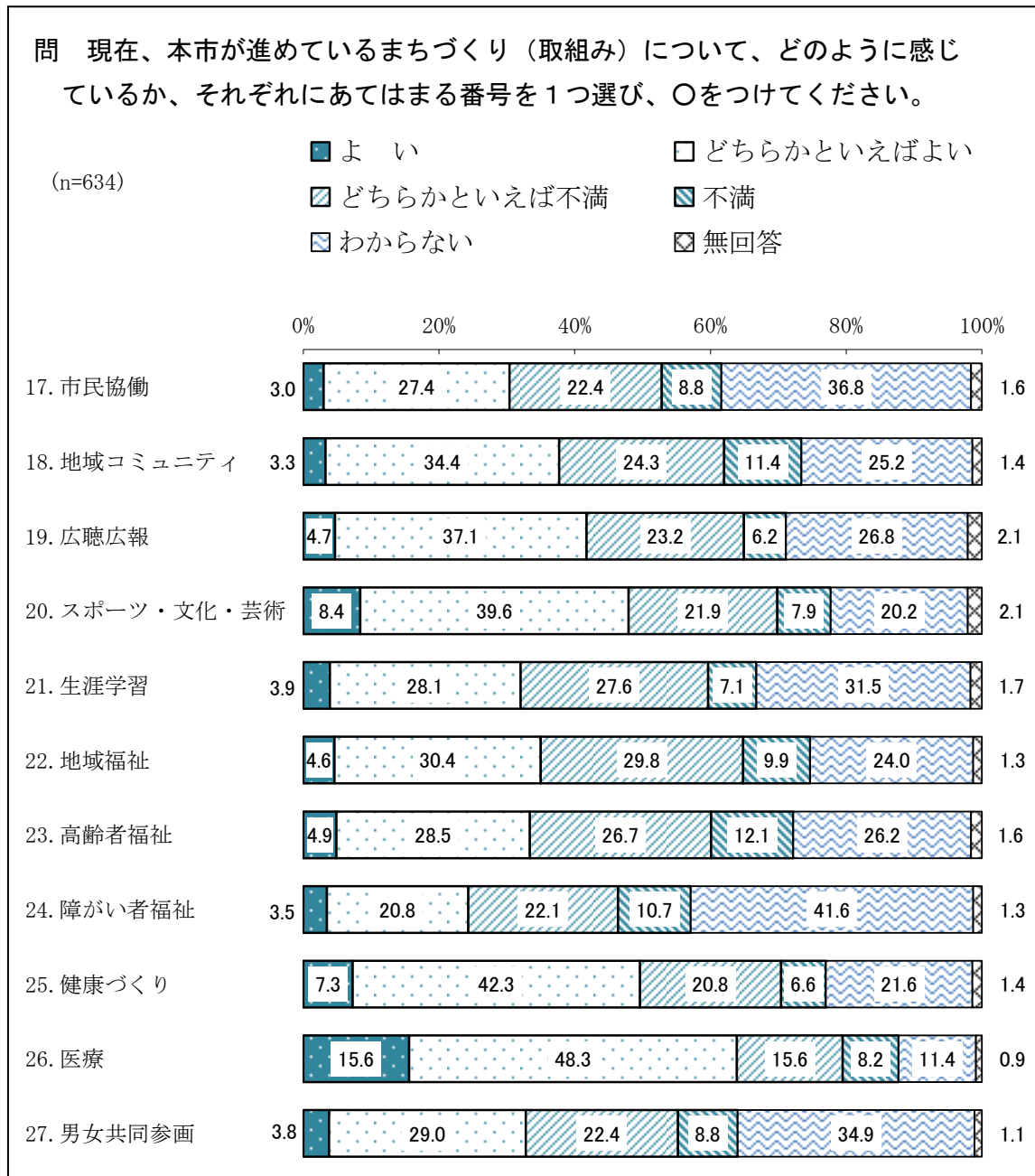
表3-9 学び育む子どもたちの未来への満足度〈性別、年代別平均得点の上位3つ〉

	男性	女性
1位	青少年健全育成 (67.5点)	子育て (74.0点)
2位	子育て (67.3点)	乳幼児教育・家庭教育 (72.6点)
3位	乳幼児教育・家庭教育 (67.0点)	青少年健全育成 (72.1点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	青少年健全育成 (77.1点)	学校教育 (80.0点)	地域学習 (70.3点)	地域学習 (71.8点)	子育て (70.9点)	乳幼児教育・家庭教育 (69.3点)	子育て (75.2点)
2位	地域学習 (76.7点)	子育て (79.3点)	子育て (69.8点)	青少年健全育成 (70.3点)	乳幼児教育・家庭教育 (68.2点)	子育て (68.8点)	乳幼児教育・家庭教育 (73.5点)
3位	乳幼児教育・家庭教育 (76.0点)	青少年健全育成 (78.6点)	青少年健全育成 (69.3点)	学校教育 (69.2点)	青少年健全育成 (67.8点)	青少年健全育成 (68.7点)	青少年健全育成 (71.3点)

#### ④誰もが地域で輝く未来

(市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)への満足度



—— 誰もが地域で輝く未来において

「満足」と思う人が最も多いのは『医療』 ——

### 【全体結果】

『誰もが地域で輝く未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『26. 医療』（63.9%）でした。以下、『25. 健康づくり』（49.6%）、『20. スポーツ・文化・芸術』（48.0%）、『19. 広聴広報』（41.8%）が4割台で続き、上位を構成しています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『22. 地域福祉』（39.7%）となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を以下に掲載しました（図3-5参照）。

平均得点をみると、『26. 医療』が76.3点で最も高くなっています。

一方で、最も低かったのは『24. 障がい者福祉』（66.0点）でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位3つを次頁に掲載しました（表3-10参照）。

図3-5 誰もが地域で輝く未来への満足度＜平均得点＞（全体）

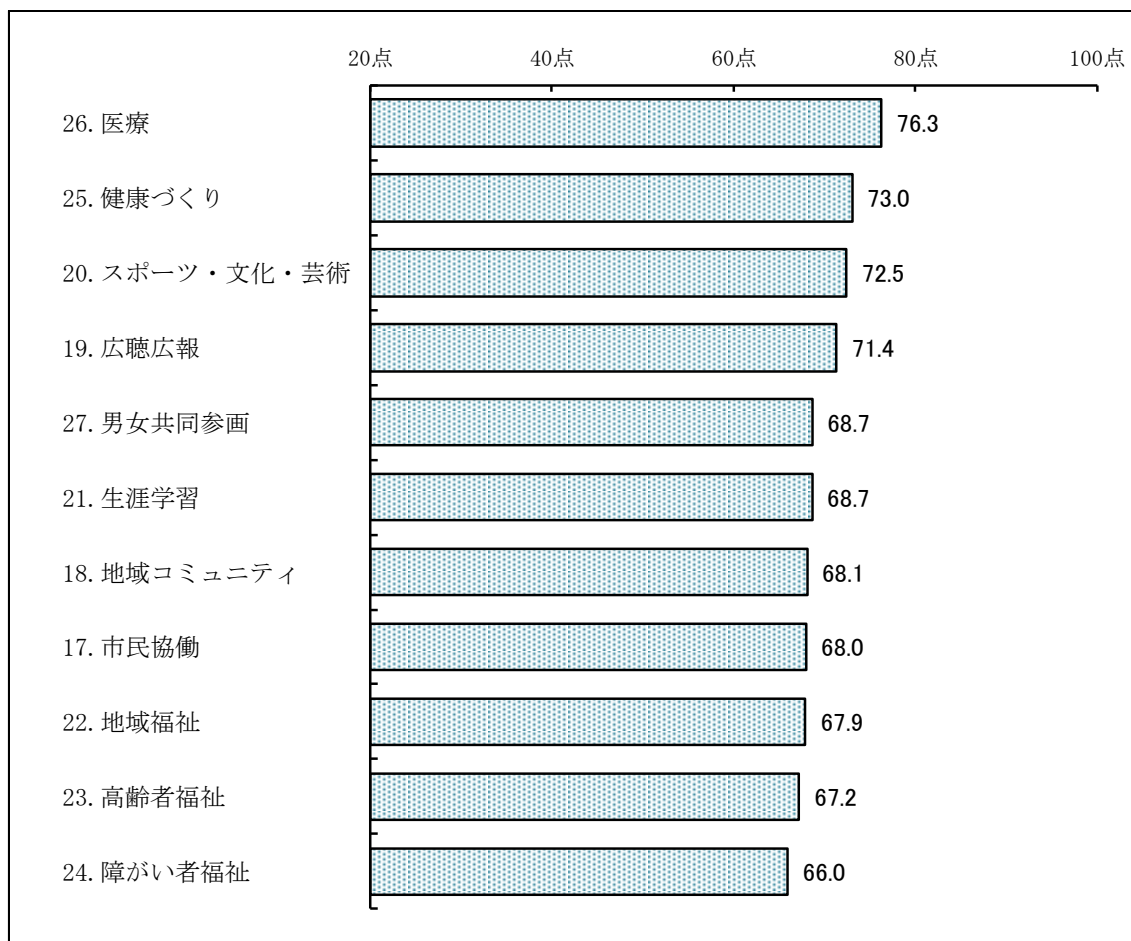


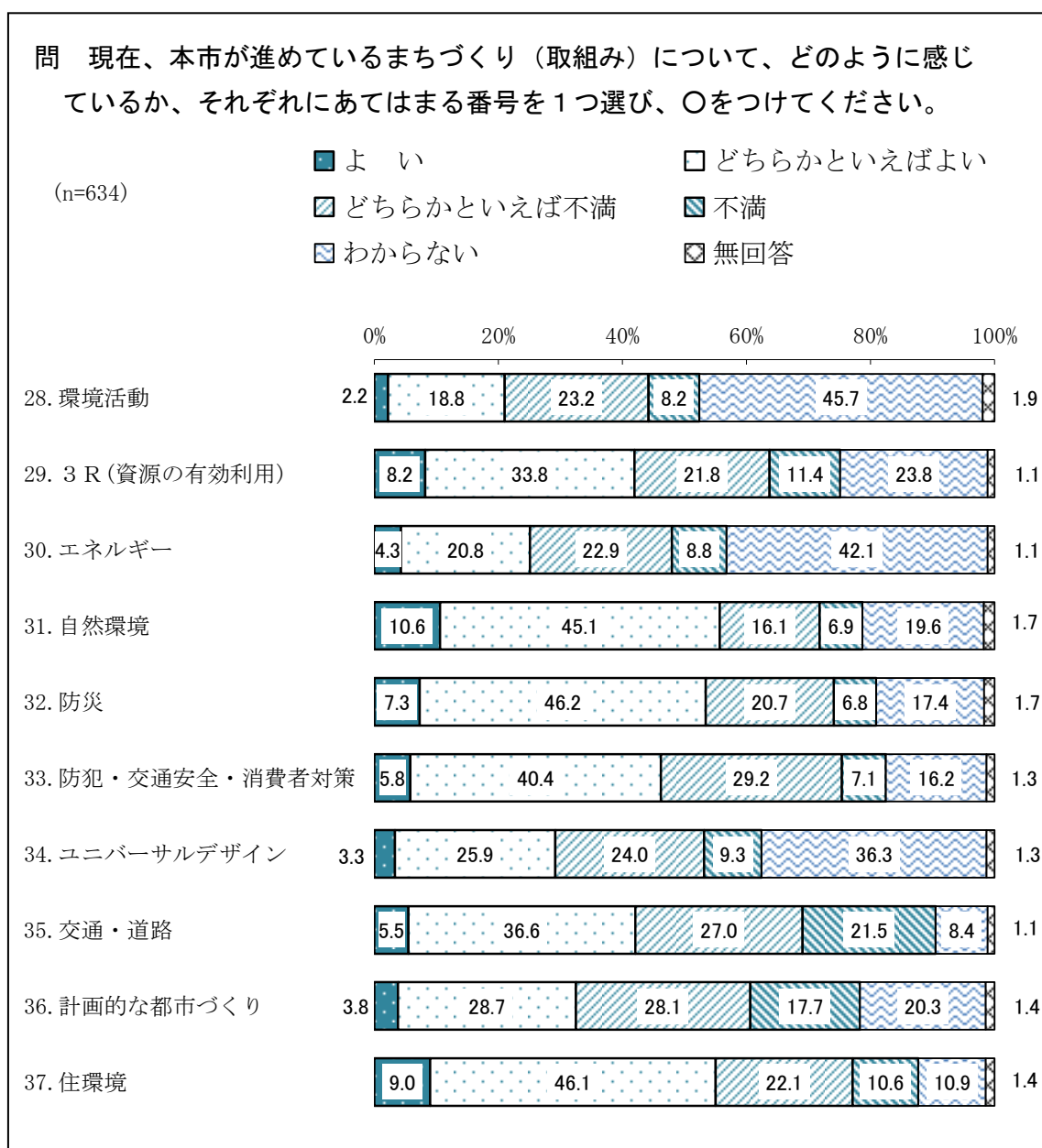
表3-10 誰もが地域で輝く未来への満足度＜性別、年代別平均得点の上位3つ＞

	男性	女性
1位	医療 (75.8点)	医療 (76.6点)
2位	健康づくり (71.0点)	健康づくり (74.1点)
3位	スポーツ・ 文化・芸術 (70.7点)	スポーツ・ 文化・芸術 (73.6点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	スポーツ・ 文化・芸術	医療 (81.9点)	スポーツ・ 文化・芸術 (77.8点)	医療 (74.1点)	医療 (74.6点)	医療 (75.2点)	医療 (79.4点)
2位	広聴広報	スポーツ・ 文化・芸術 (81.3点)	医療 (73.1点)	健康づくり (72.7点)	スポーツ・ 文化・芸術 (70.5点)	スポーツ・ 文化・芸術 (71.6点)	健康づくり (75.8点)
3位	健康づくり (80.0点)	男女共同 参画 (78.6点)	男女共同 参画 (72.7点)	スポーツ・ 文化・芸術 (71.6点)	広聴広報 (70.1点)	健康づくり (70.7点)	広聴広報 (72.4点)

## ⑤暮らしやすいまちの未来

(環境・防災・市民安全・生活インフラ分野) への満足度



### —— 暮らしやすいまちの未来において

「満足」と思う人が最も多いのは『自然環境』 ——

#### 【全体結果】

『暮らしやすいまちの未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足(「よい」と「どちらかといえばよい」の合計)」の割合が最も高いのは『31. 自然環境』(55.7%)となり、次いで『37. 住環境』(55.1%)と『32. 防災』(53.5%)も同じく5割台で続き、上位を構成しています。

一方で、「不満(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)」の割合が最も高いのは『35. 交通・道路』(48.5%)となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を以下に掲載しました（図 3-6 参照）。

平均得点をみると、『31. 自然環境』が 75.1 点で最も高くなっています。  
一方で、最も低かったのは『36. 計画的な都市づくり』（64.8 点）でした。  
なお、性別、年代別平均得点の上位 3 つを次頁に掲載しました（表 3-11 参照）。

図 3-6 暮らしやすいまちの未来への満足度＜平均得点＞（全体）

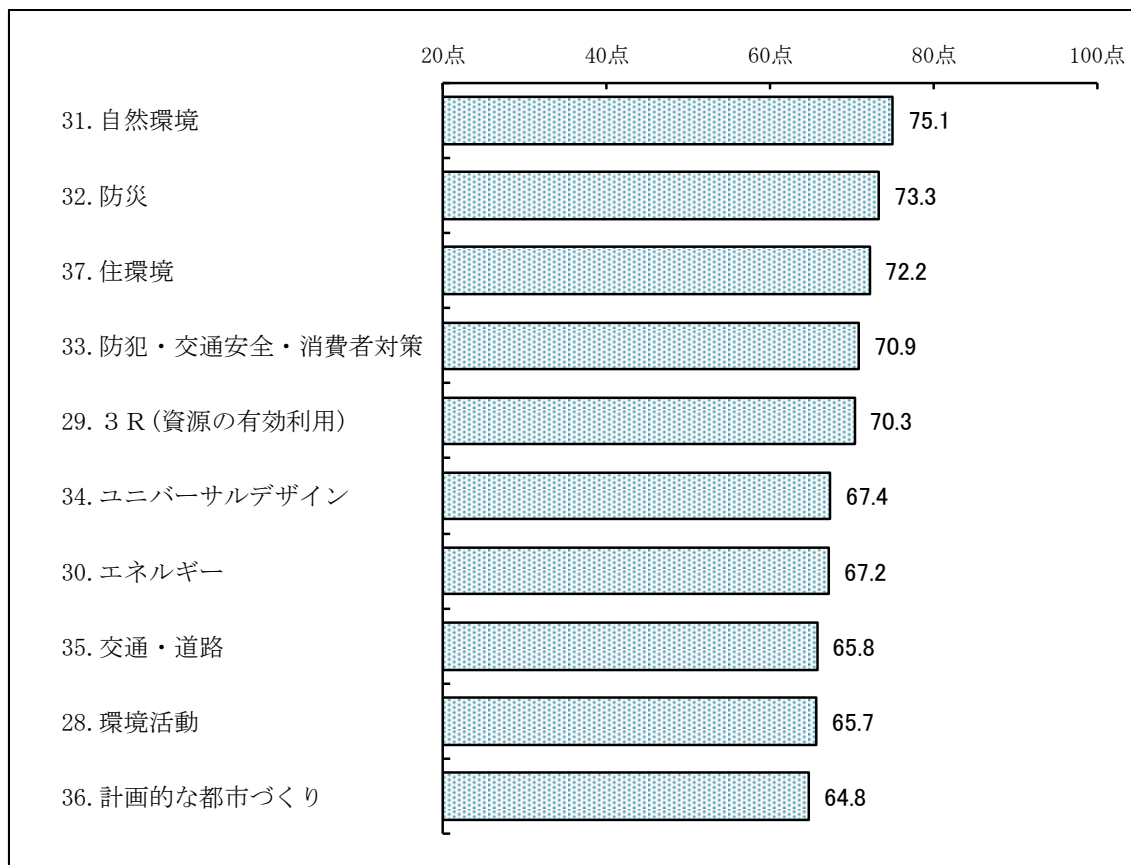


表3-11 暮らしやすいまちの未来への満足度＜性別、年代別平均得点の上位3つ＞

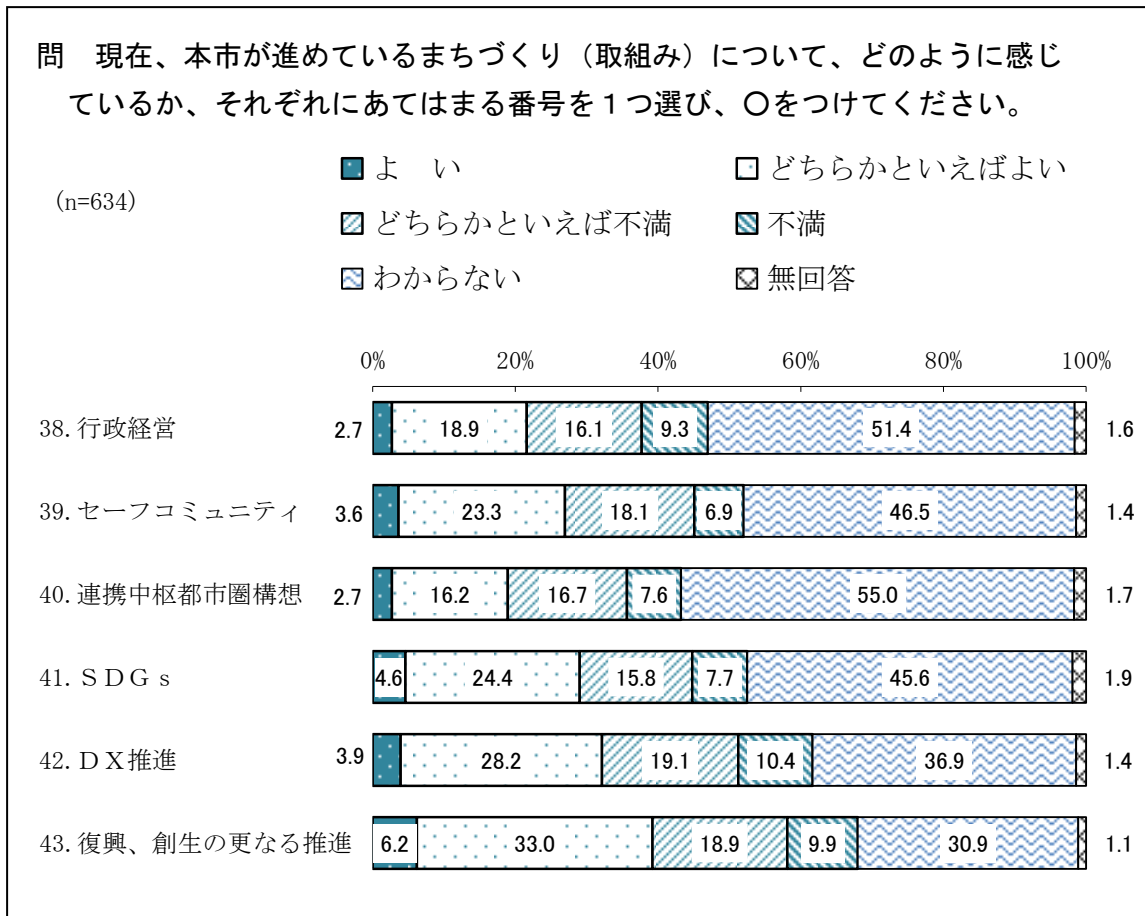
	男性	女性
1位	自然環境 (73.1点)	自然環境 (76.8点)
2位	防災 (72.3点)	防災 (74.2点)
3位	住環境 (71.4点)	住環境 (73.2点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	自然環境 (90.0点)	自然環境 (82.2点)	自然環境 (76.0点)	自然環境 (77.6点)	自然環境 (74.2点)	防災 (72.1点)	防災 (76.2点)
2位	防災 (83.3点)	エネルギー (80.0点)	防災 (71.9点)	防災 (73.6点)	住環境 (72.8点)	自然環境 (71.7点)	防犯・ 交通安全・ 消費者対策 (75.8点)
3位	ユニバーサル デザイン (80.0点)	住環境 (79.4点)	エネルギー (70.9点)	住環境 (73.1点)	防災 (69.0点)	防犯・ 交通安全・ 消費者対策 (69.7点)	自然環境 (74.6点)



## ⑥基盤的取組

(行政経営、セーフコミュニティ、連携中枢都市圏、SDGs、DX推進、復興・創生の更なる推進) への満足度



—— 基盤的取組において「満足」と思う人が最も多いのは

『復興、創生の更なる推進』 ——

### 【全体結果】

『基盤的取組』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『43. 復興、創生の更なる推進』（39.2%）、次いで「DX推進」（32.1%）となっています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『42. DX推進』（29.5%）となっており、50代以下で得点が高い反面、60代以上で低い結果となっています。

また、『43. 復興、創生の更なる推進』と『42. DX推進』以外の項目において「わからない」の割合が4割以上と高くなっています。事業、施策の推進など、今後もさらに周知していく必要があります。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図3-8参照）。

平均得点をみると、『43. 復興、創生の更なる推進』が 70.4 点で最も高くなっています。

一方で、最も低かったのは『38. 行政経営』（66.4 点）でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位 3 つを以下に掲載しました（表 3-12 参照）。

図 3-8 基盤的取組への満足度＜平均得点＞（全体）

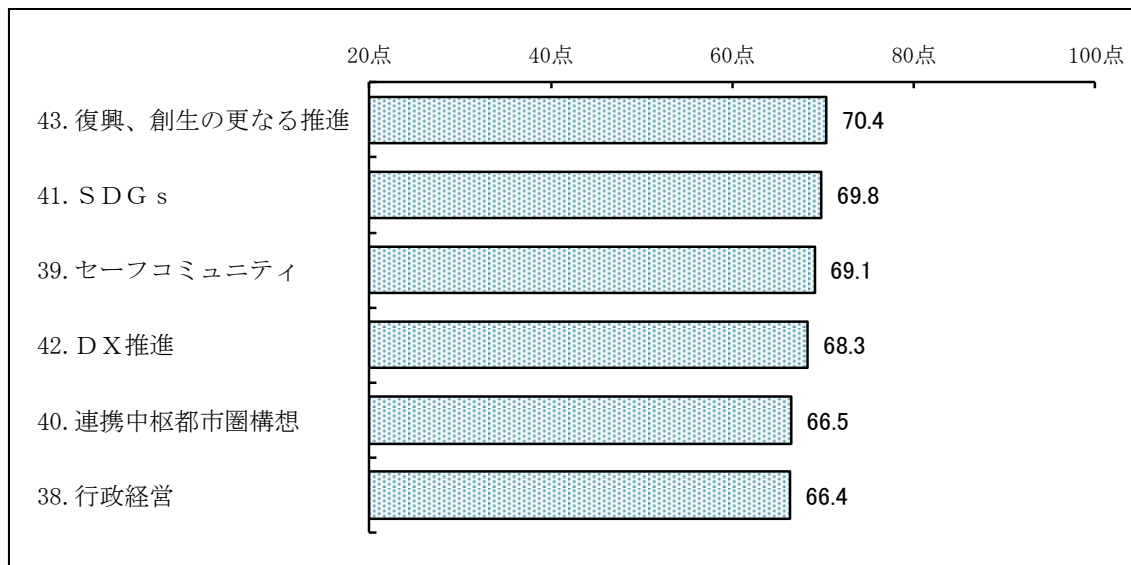


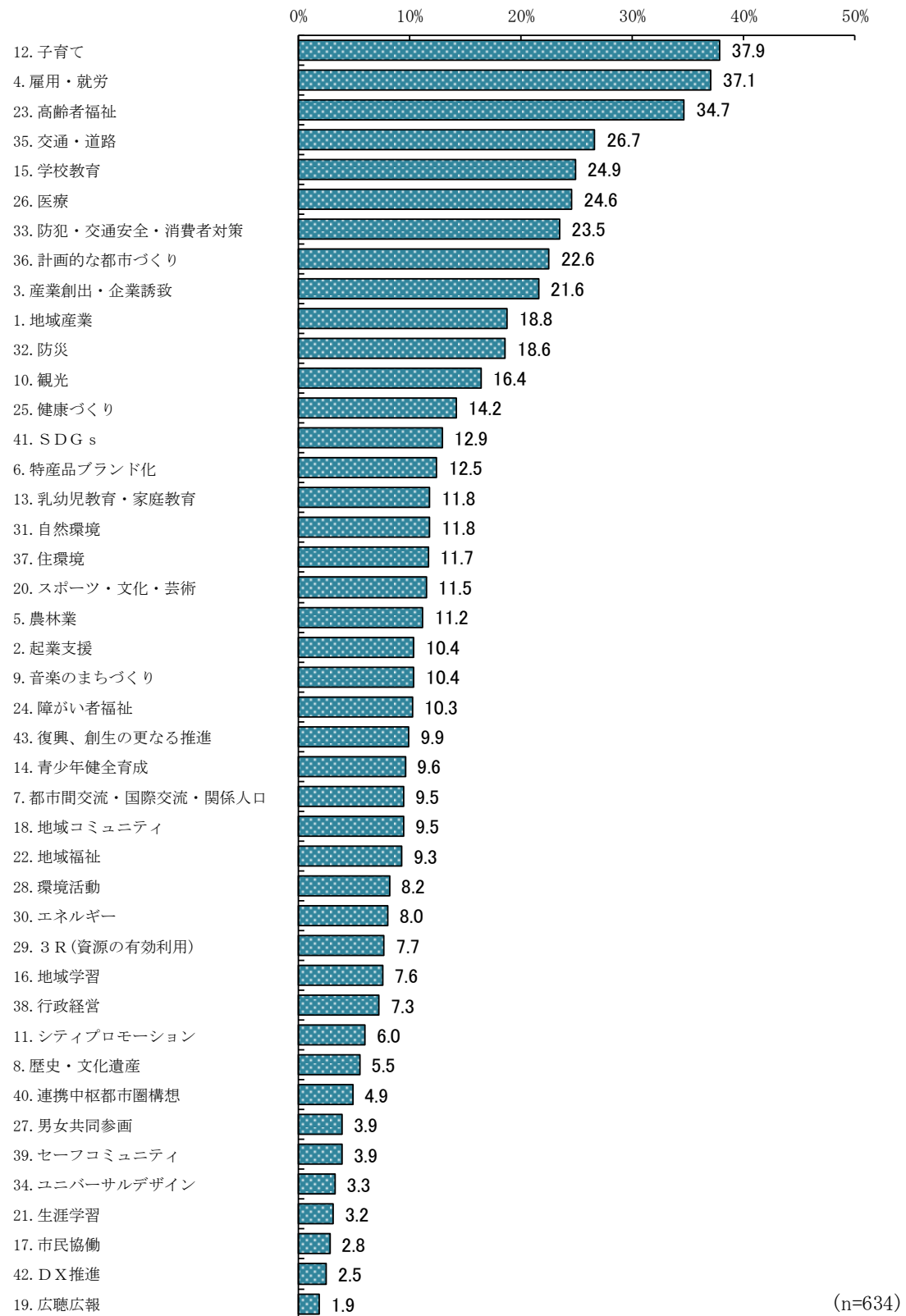
表 3-12 基盤的取組への満足度＜性別、年代別平均得点の上位 3 つ＞

	男性	女性
1位	復興、創生の更なる推進 (69.7点)	SDGs (72.4点)
2位	セーフコミュニティ (67.7点)	復興、創生の更なる推進 (71.1点)
3位	SDGs (67.2点)	セーフコミュニティ (70.6点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	SDGs (88.0点)	復興、創生の更なる推進 (80.8点)	復興、創生の更なる推進 (71.4点)	復興、創生の更なる推進 (72.9点)	復興、創生の更なる推進 (69.6点)	セーフコミュニティ (69.3点)	SDGs (69.7点)
2位	連携中枢都市圏構想 (85.0点)	DX推進 (80.0点)	DX推進 (69.8点)	DX推進 (72.1点)	DX推進 (67.6点)	復興、創生の更なる推進 (69.1点)	行政経営 (68.1点)
3位	セーフコミュニティ (84.0点)	セーフコミュニティ (78.4点)	SDGs (69.3点)	SDGs (70.8点)	SDGs (66.6点)	SDGs (68.7点)	セーフコミュニティ (67.5点)

(5) 分野別属性別重要度結果 (複数回答)

問 現在、本市が進めているまちづくり (取組み) について、特に重要と思われるものの番号を1~43から5つ選び、その番号に○印をつけてください。



最も重要視されている施策・事業は「子育て」

【全体結果】

『12. 子育て』(37.9%)の割合が最も高くなっています。以下、『4. 雇用・就労』(37.1%)、『23. 高齢者福祉』(34.7%)、『35. 交通・道路』(26.7%)、『15. 学校教育』(24.9%)の順で続いています。

なお、性別、年代別の上位5つを以下に掲載しました(表3-13参照)。

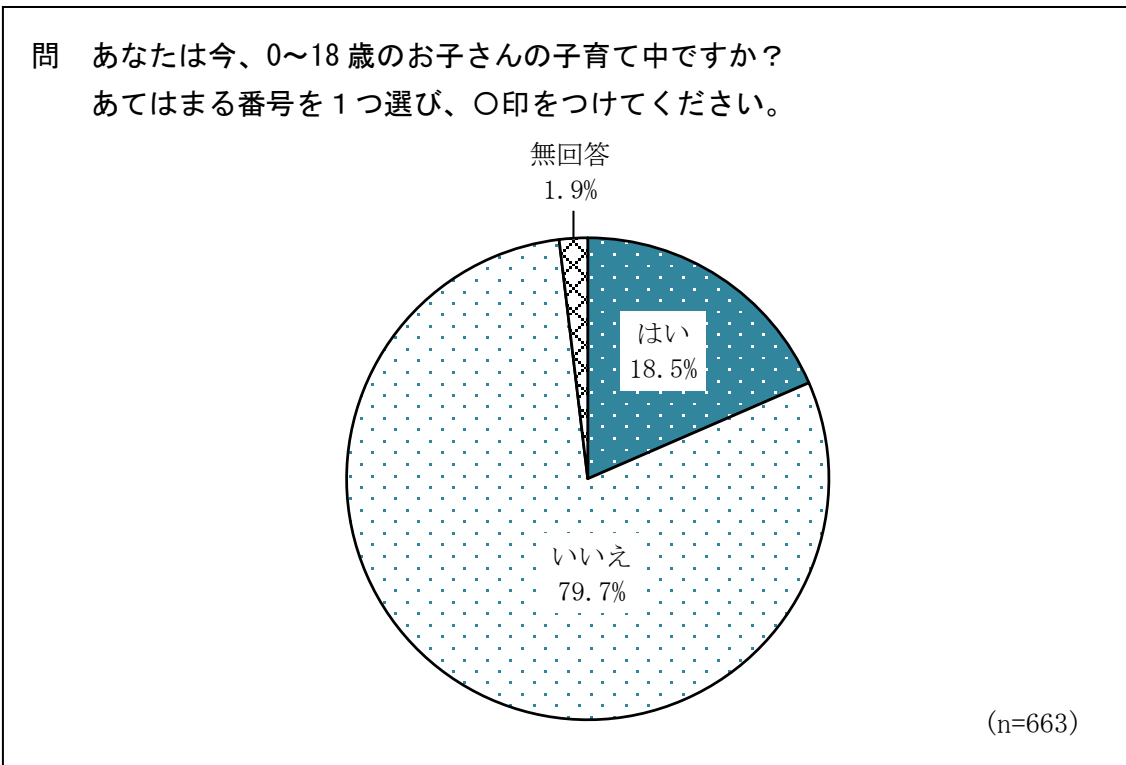
表3-13 これからの取組みについての重要度<性別、年代別の上位5つ>

	男性	女性
1位	雇用・就労 (38.7点)	子育て (40.6点)
2位	高齢者福祉 (36.0点)	雇用・就労 (36.7点)
3位	子育て (34.4点)	高齢者福祉 (34.0点)
4位	交通・道路 (28.1点)	学校教育 (27.6点)
5位	産業創出・ 企業誘致 (25.3点)	医療 (25.7点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	雇用・就労 (55.6点)	子育て (52.8点)	子育て (71.9点)	雇用・就労 子育て (51.4点)	雇用・就労 (40.0点)	高齢者福祉 (41.3点)	高齢者福祉 (45.0点)
2位	医療 計画的な 都市づくり (44.4点)	雇用・就労 (47.2点)	雇用・就労 学校教育 (40.4点)		高齢者福祉 (33.0点)	雇用・就労 (36.0点)	交通・道路 (26.2点)
3位		観光 (36.1点)		学校教育 (30.5点)	子育て (32.2点)	子育て (35.3点)	防犯・ 交通安全・ 消費者対策 (25.5点)
4位	産業創出・ 企業誘致 子育て (33.3点)	防犯・ 交通安全・ 消費者対策 (30.6点)	医療 (35.1点)	産業創出・ 企業誘致 (28.6点)	医療 (28.7点)	交通・道路 (29.3点)	学校教育 (23.5点)
5位		特産品 ブランド化 高齢者福祉 計画的な 都市づくり (22.2点)	乳幼児教育・ 家庭教育 交通・道路 (29.8点)	防犯・ 交通安全・ 消費者対策 交通・道路 (27.6点)	地域産業 (27.0点)	医療 (22.0点)	産業創出・ 企業誘致 雇用・就労 (21.5点)

## 4. こども・子育て施策（ベビーファーストの推進）について

### （1）子育て状況



### 2 割弱の市民が現在、子育て中

#### 【全体結果】

現在、0～18歳のお子さんを子育て中の方は18.5%となっています。

#### 【属性別結果】（図4-1参照）

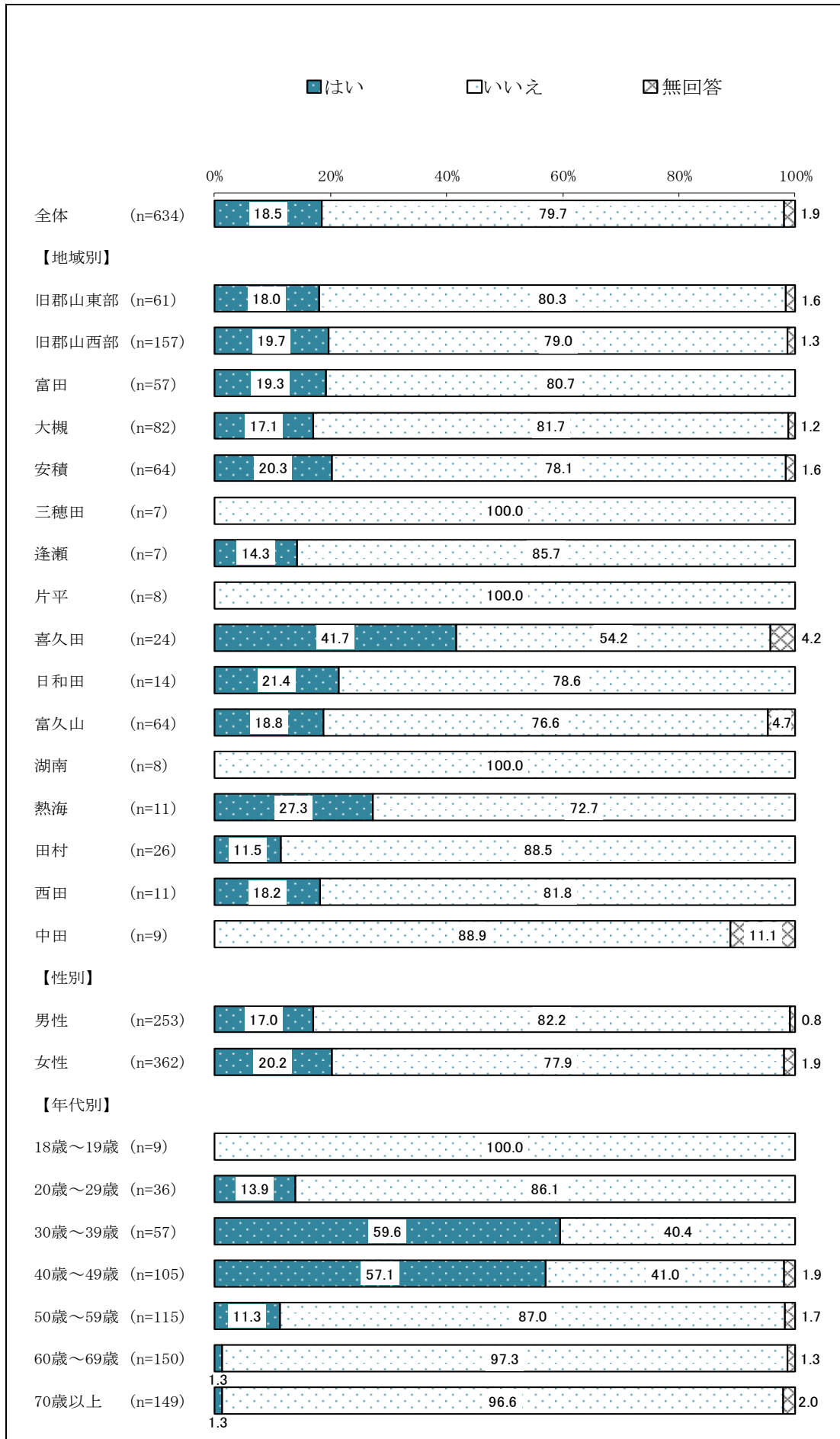
##### ① 性別

現在、子育て中の方は、女性（20.2%）の方が男性（17.0%）よりもやや高くなっています。

##### ② 年代別

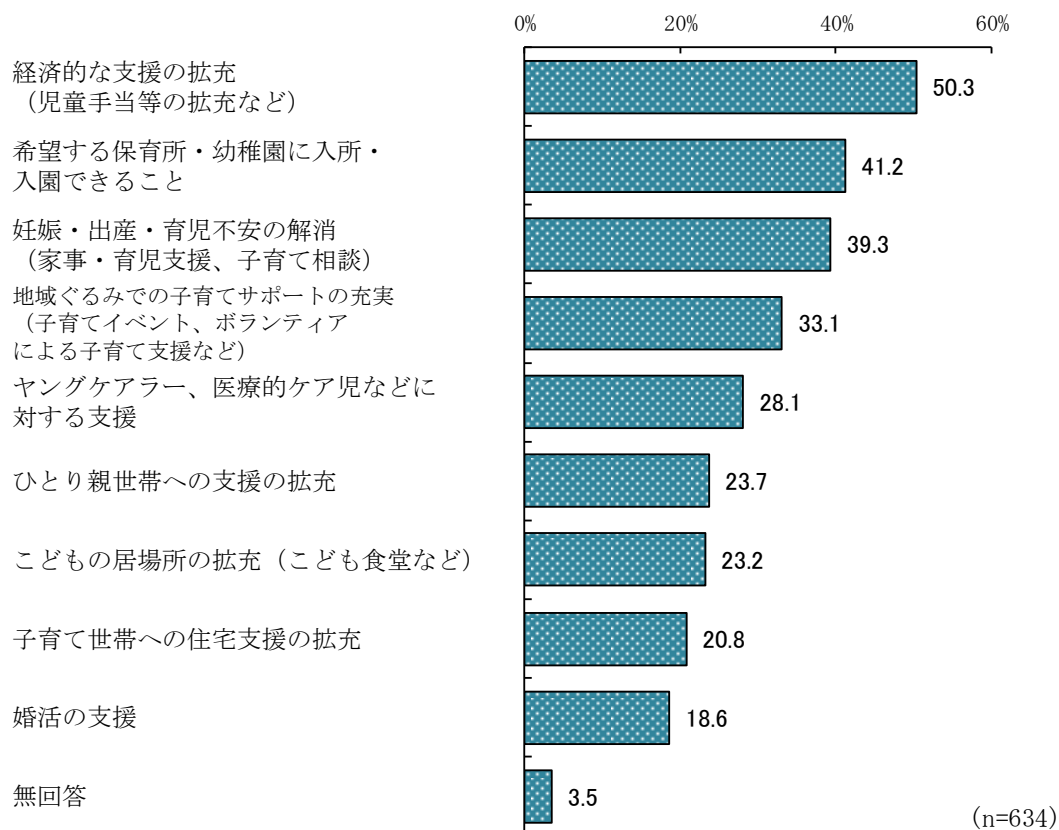
現在、子育て中の方は、30代で約6割と最も高くなっています。

図4-1 子育て状況（地域別／性別／年代別）



## (2) 子育て支援について（複数回答）

問 子育て中の方もそうでない方にもお聞きします。子育て支援について、あなたは、どのようなことが重要とお考えですか？  
あてはまる番号を3つ選び、○印をつけてください。



————— 約半数が「経済的な支援の拡充」を重要としている —————

### 【全体結果】

子育て支援について重要なこととして最も多かったのは「経済的な支援の拡充（児童手当等の拡充など）」（50.3%）となっています。次いで、「希望する保育所・幼稚園に入所・入園できること」（41.2%）、「妊娠・出産・育児不安の解消（家事・育児支援、子育て相談）」（39.3%）などとなっています。

### 【属性別結果】（図 4-2 参照）

#### ① 性別

「経済的な支援の拡充」の割合は男性（54.9%）で半数以上を占め、特に高くなっています。

#### ② 年代別

すべての年代において「経済的な支援の拡充」が最も高く、特に20代、30代で割合が高くなっています。

図4-2 子育て支援について～1/3～（地域別／性別／年代別）

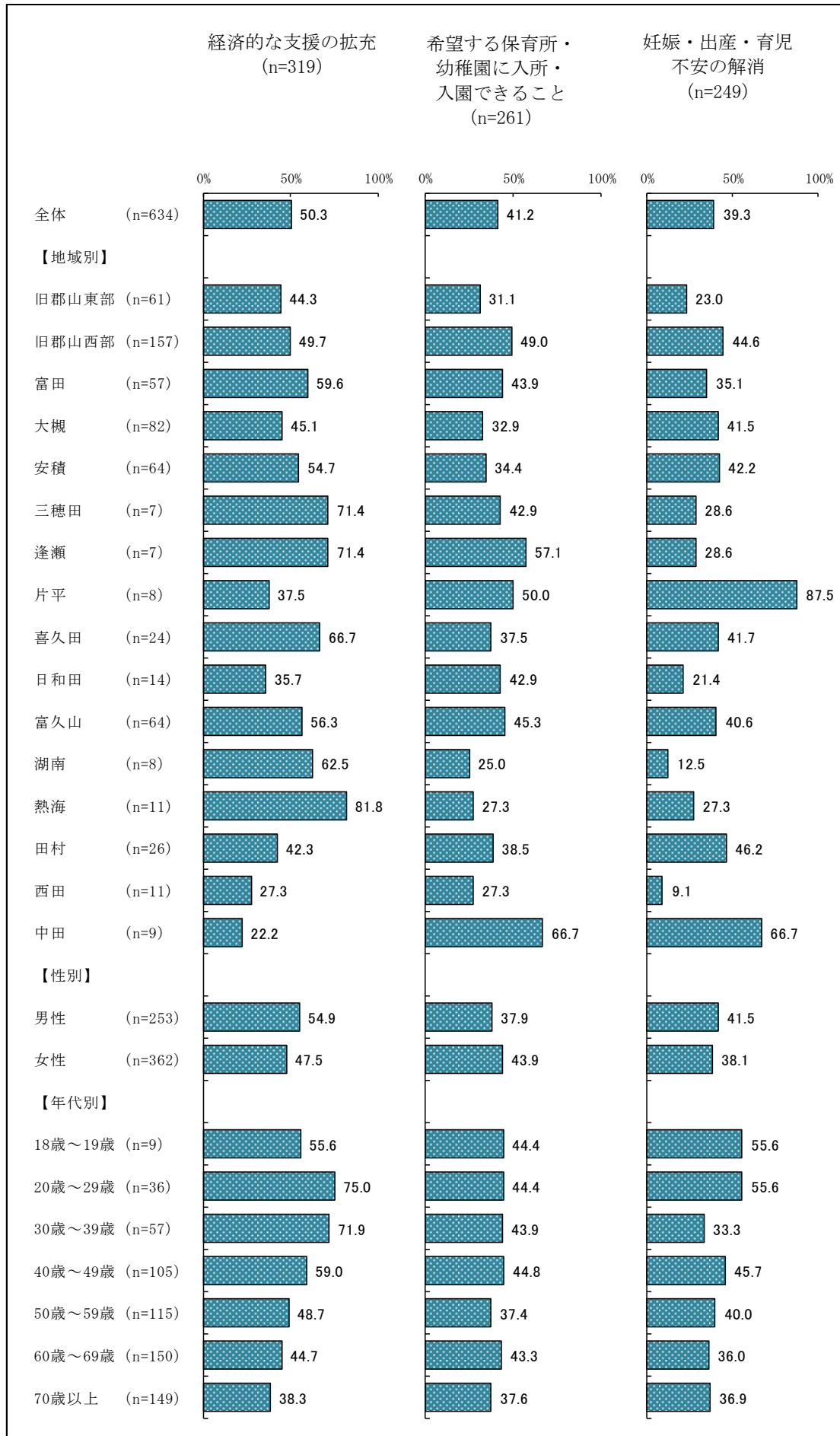




図4-2 子育て支援について～2/3～（地域別／性別／年代別）

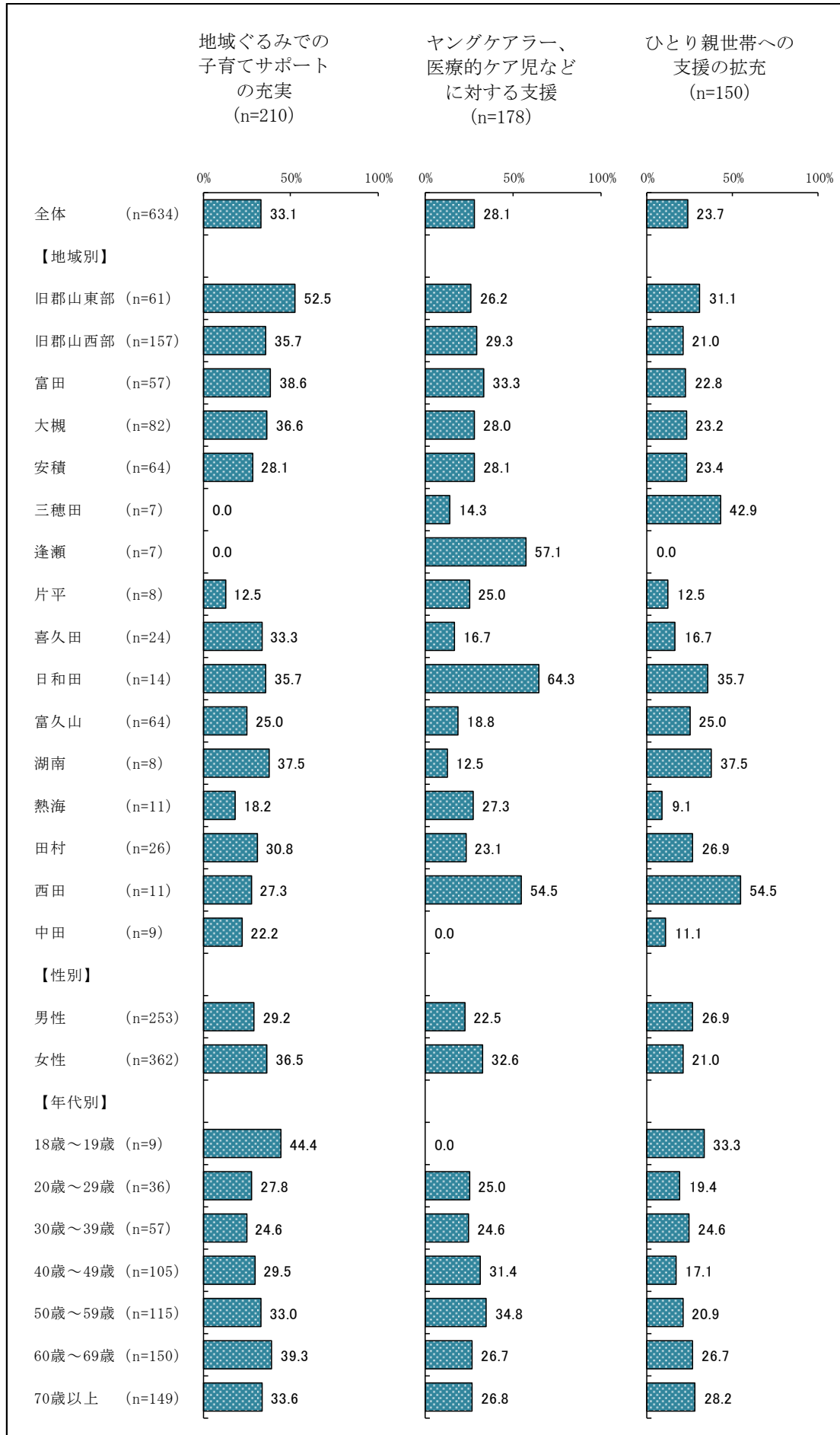
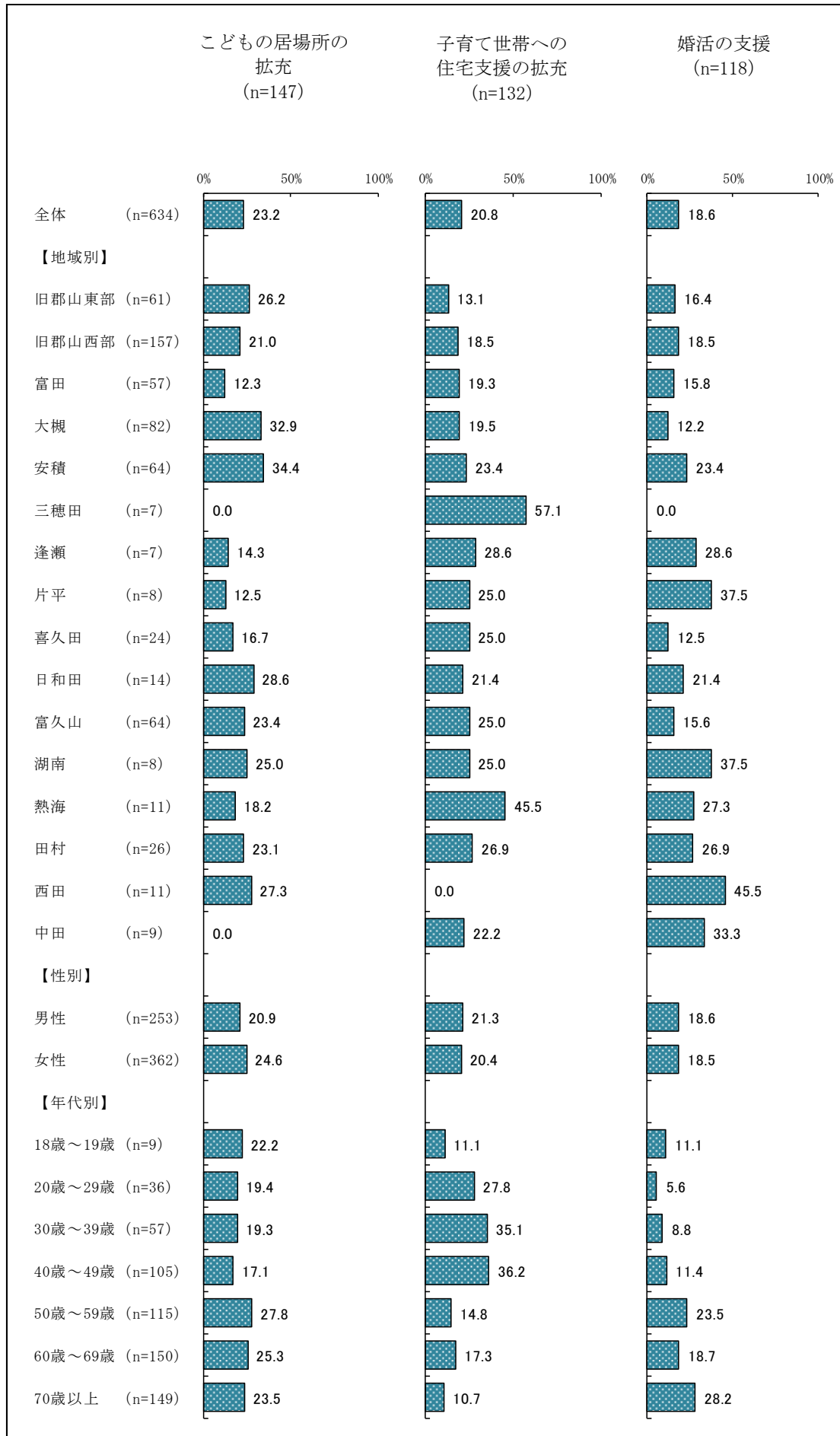
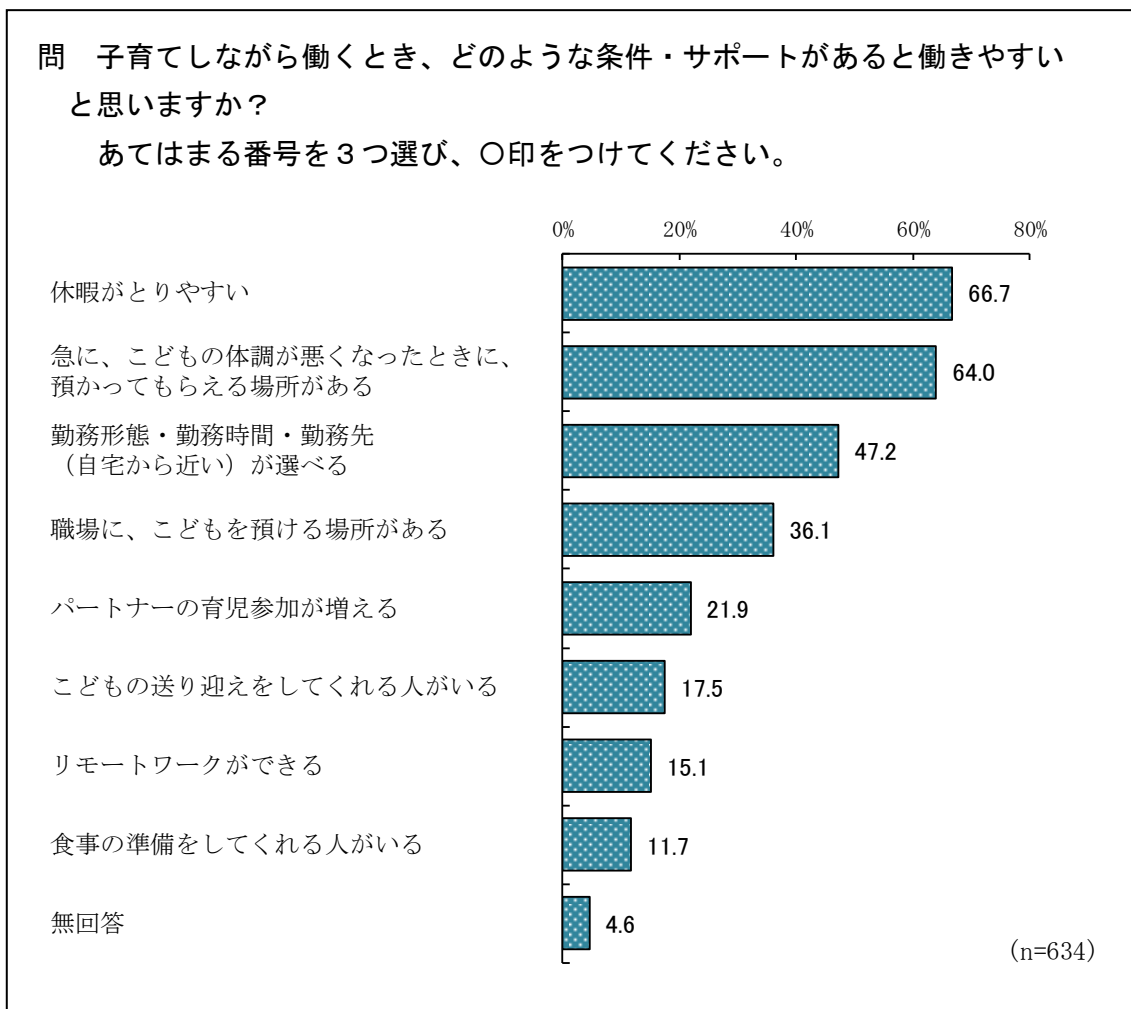


図4-2 子育て支援について～3/3～（地域別／性別／年代別）



### (3) 働きやすい条件・サポート（複数回答）



### ——— 子育てしながらでも「休暇がとりやすい」と働きやすい ———

#### 【全体結果】

子育てしながらでも働きやすい条件・サポートとして最も多かったのは「休暇がとりやすい」(66.7%) となっています。次いで、「急に、こどもの体調が悪くなったときに、預かってもらえる場所がある」(64.0%)、「勤務形態・勤務時間・勤務先（自宅から近い）が選べる」(47.2%)、「職場に、こどもを預ける場所がある」(36.1%) などとなっています。

#### 【属性別結果】（図 4-3 参照）

##### ① 性別

「急に、こどもの体調が悪くなったときに、預かってもらえる」の割合は女性(67.7%)の方が男性(60.1%)よりも割合が高くなっています。

##### ② 年代別

20～40代で「休暇がとりやすい」が7割以上と高くなっています。

図4-3 働きやすい条件・サポート～1/3～（地域別／性別／年代別）

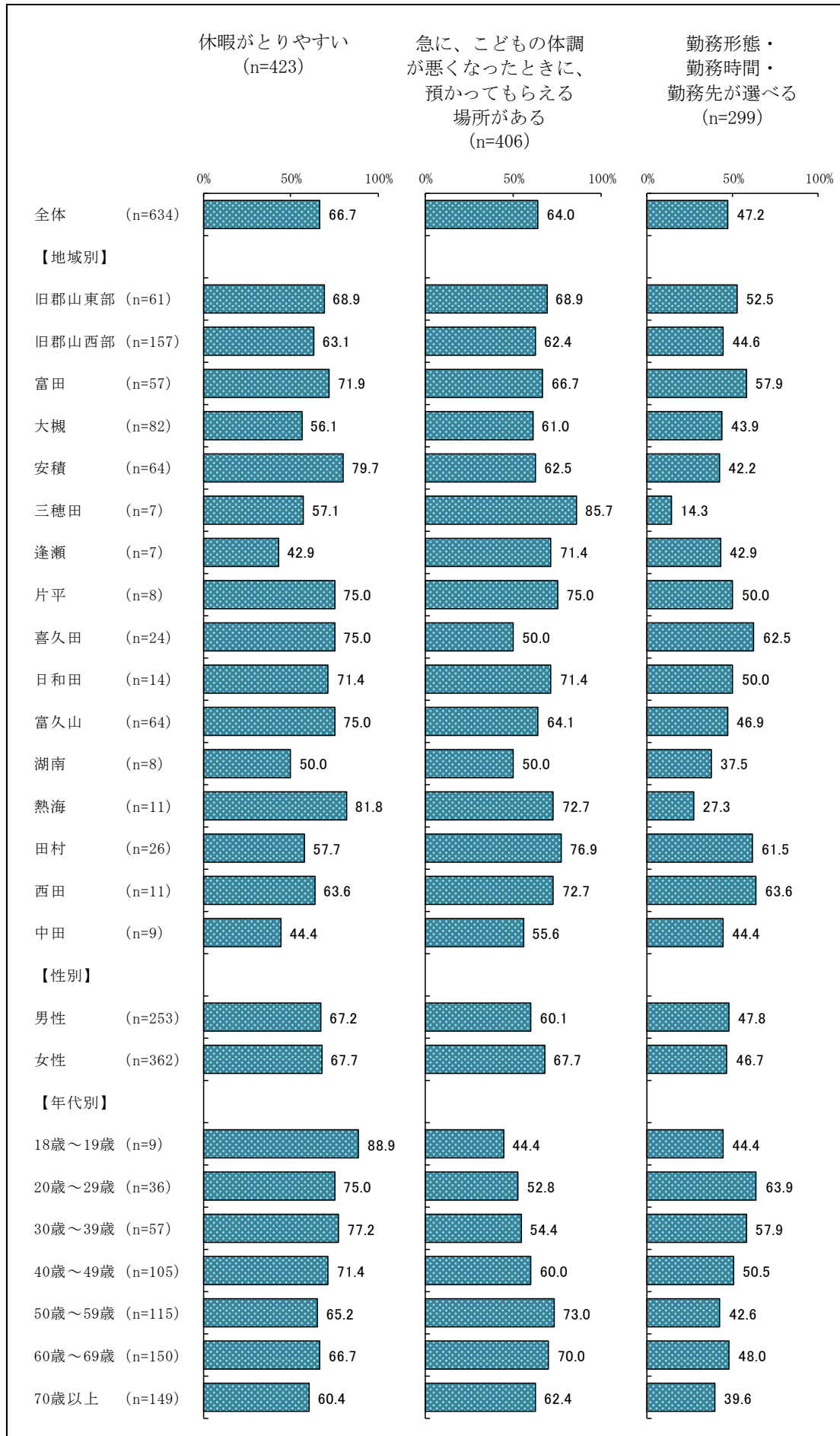


図4-3 働きやすい条件・サポート～2/3～（地域別／性別／年代別）

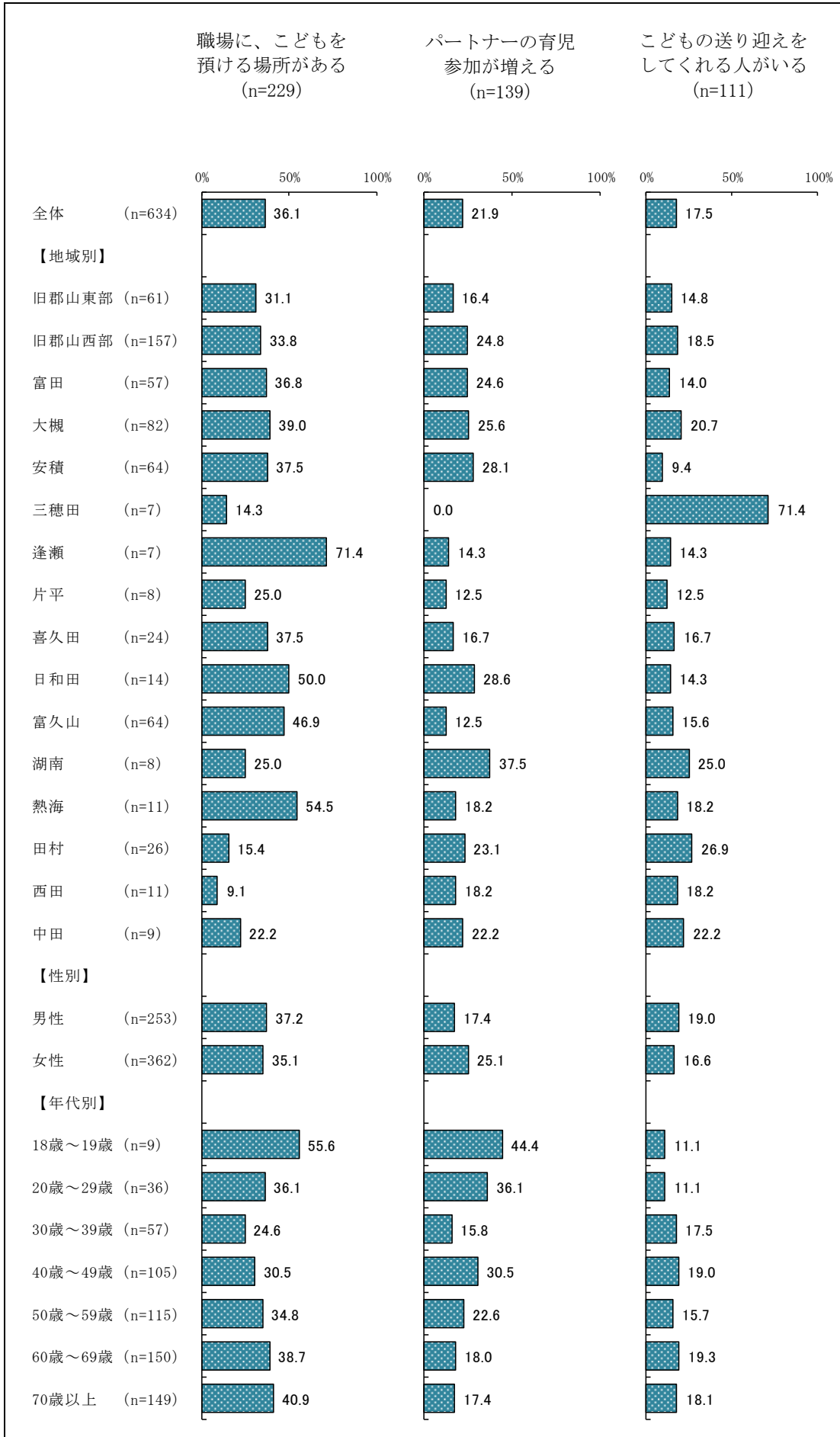
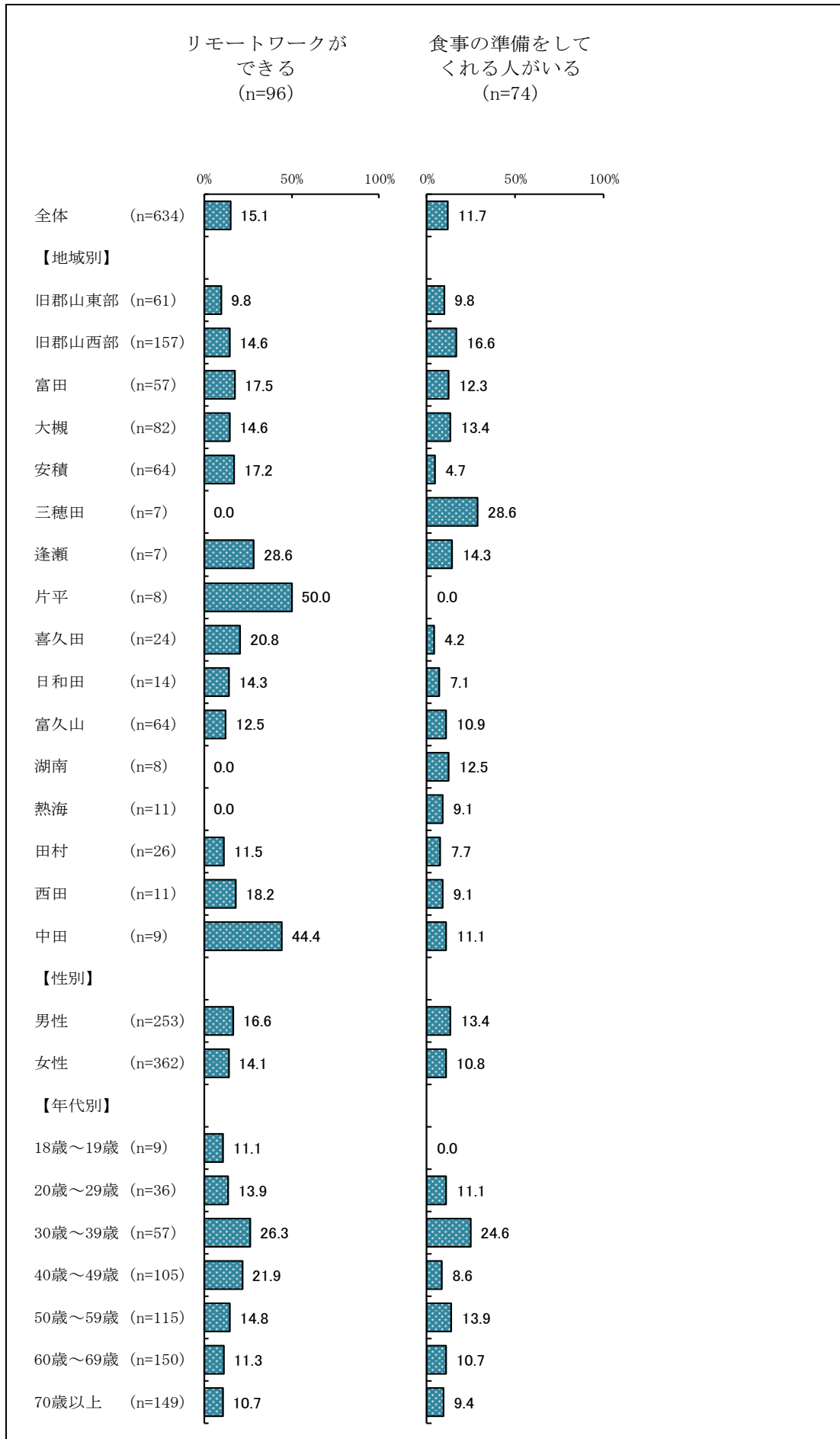
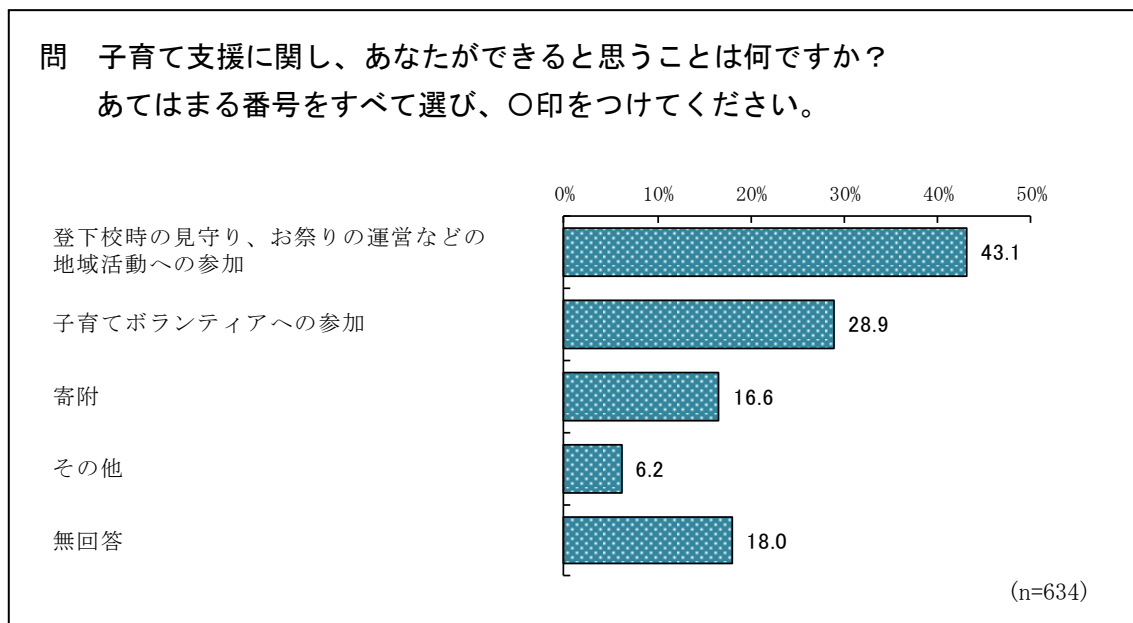


図4-3 働きやすい条件・サポート～3/3～（地域別／性別／年代別）



#### (4) 地域における子育て支援（複数回答）



#### — 「登下校時の見守り、お祭りの運営などの地域活動への参加」 はできると思う —

##### 【全体結果】

子育て支援に関して、できると思うことは「登下校時の見守り、お祭りの運営などの地域活動への参加」（43.1%）が最も多く、「子育てボランティアへの参加」（28.9%）、「寄附」（16.6%）の順に続いています。

その他の回答としては、「子ども食堂などのお手伝い」、「社会教育等への参加」等があがっていました。

##### 【属性別結果】（図 4-4 参照）

###### ① 性別

「登下校時の見守り、お祭りの運営などの地域活動への参加」の割合は男性（51.0%）の方が女性（39.2%）を大きく上回っています。

###### ② 年代別

60代では他の年代に比べ「登下校時の見守り、お祭りの運営などの地域活動への参加」の割合が約半数を占め、特に高くなっています。

図4-4 地域における子育て支援～1/2～（地域別／性別／年代別）

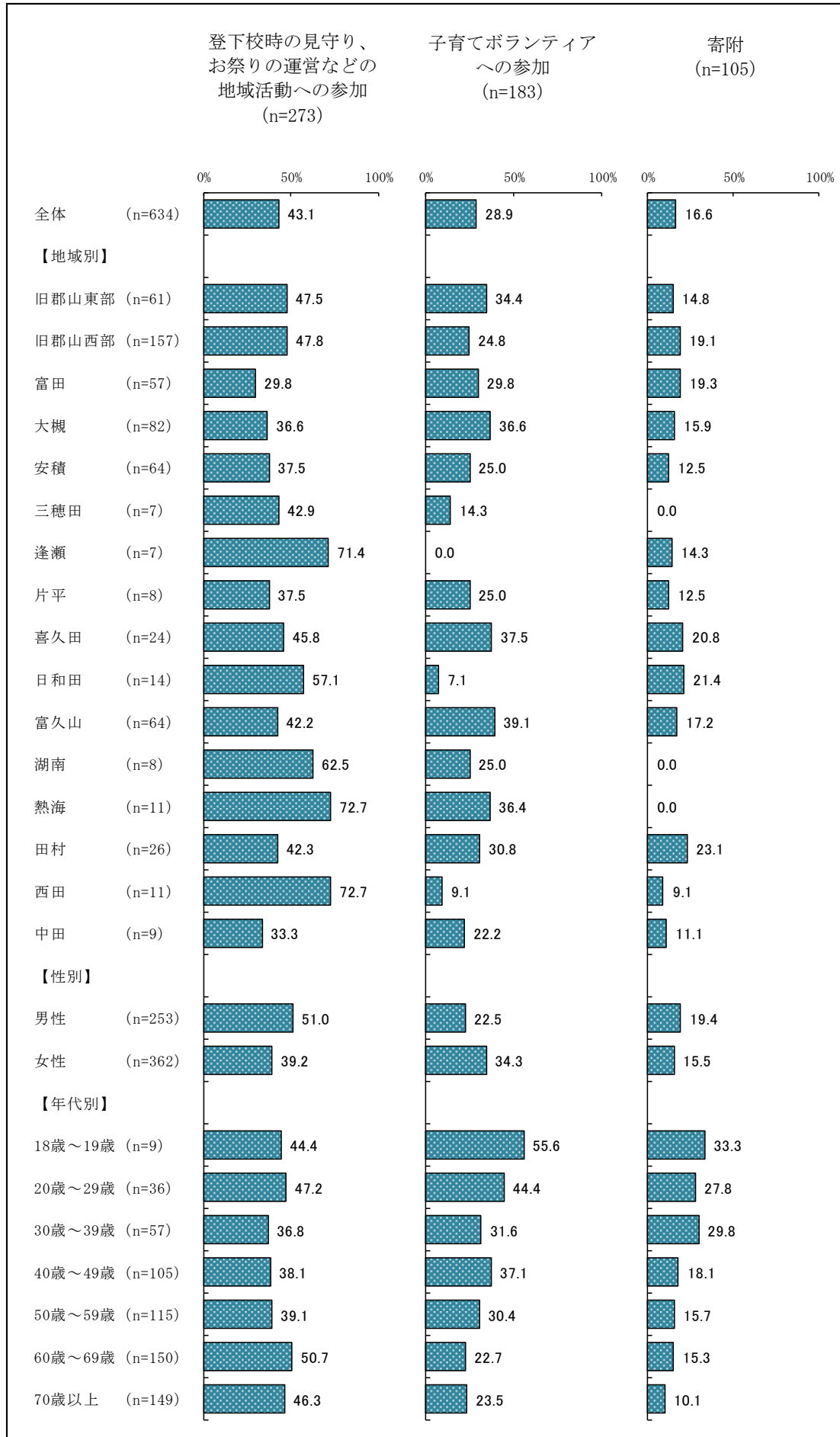
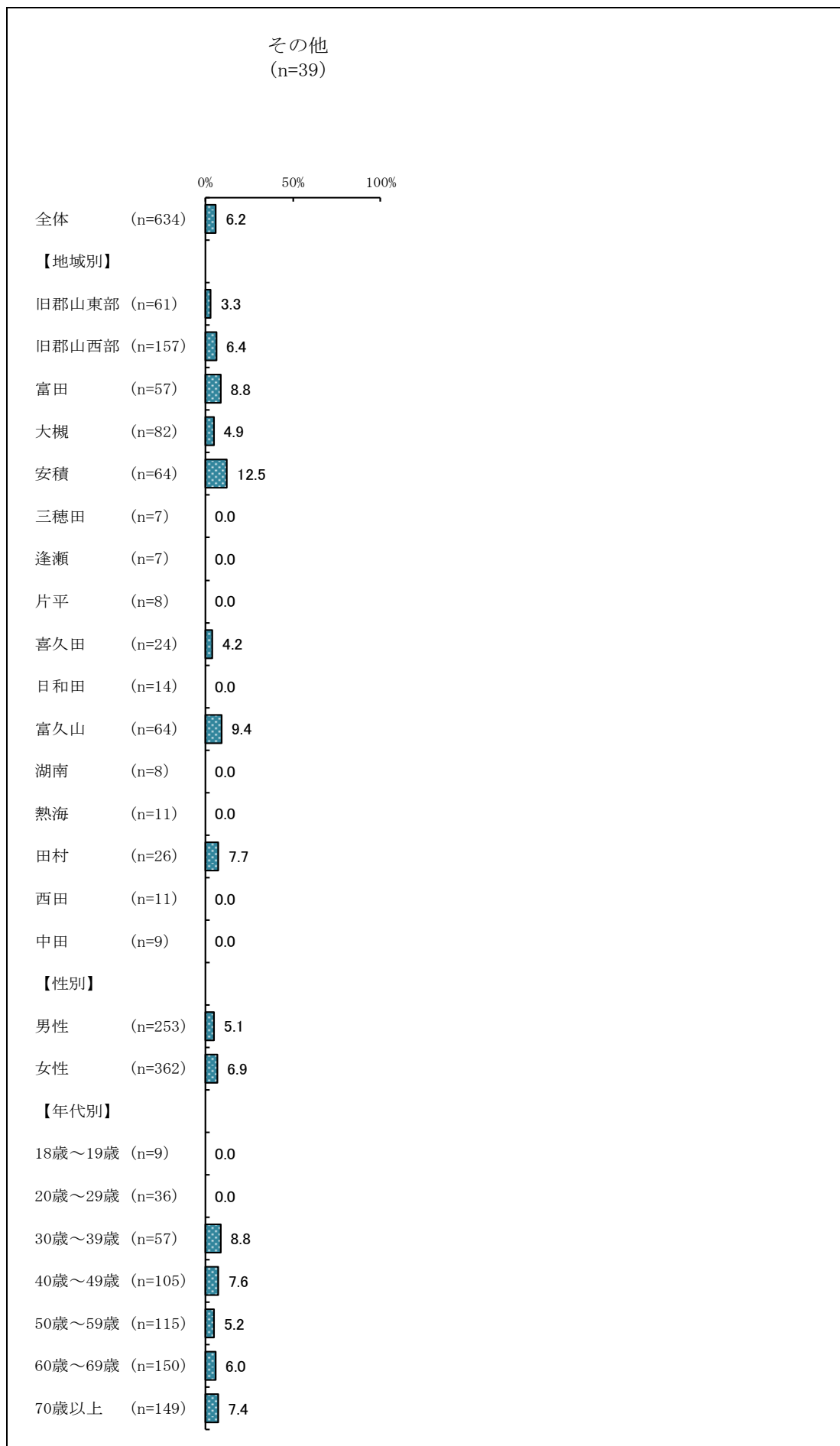




図 4-4 地域における子育て支援～2/2～（地域別／性別／年代別）



## (5) 子育て支援についての意見等（自由記載）

問 少子化の進行、児童虐待の増加、こどもの貧困など、こどもを取り巻く環境が変化しています。

子育て支援について、ご意見やご提案などがありましたらご自由にお書きください。（自由記載）

子育て支援についてたくさんのご意見が寄せられました。主な意見は以下のとおりとなります。

### 【経済的支援】

- ・ ひとり親世帯への経済補助。こども2人以上の世帯への経済補助。いつでも預けられる児童館の設立。学習塾などに通う時の補助金の支払体制。（女性・60代）
- ・ 出産にあたり、お祝い金の支給。こども達を救済できるような施設（食事もできるこどもの家）。（女性・50代）
- ・ 母子家庭や困窮世帯への家賃補助や、光熱費の減額（1割負担等）があれば良いと思います。（女性・30代）
- ・ 所得の少ないひとり親世帯への経済的な支援や、働ける場所の提供などに力を入れてほしい。（女性・60代）

### 【保育施設の充実】

- ・ 学童保育の充実が図られると良いと思う。夏休み等に昼食の支援等あれば親御さんも働きやすい。（女性・60代）
- ・ 現在学童に預けていますが、18時半までで延長ができないのが不便です。郡山市の人は、仕事をする人が少ないのでしょうか。民間も高すぎるので、民間利用者に補助がないのもつらいです。また、学童も先生に位置づけられているのも疑問でした。必ず親もしくは送迎者が送迎しないといけないのも疑問です。交通安全やこどもの安全確保の位置づけなのかもしれませんが、だったら延長を採用してほしいです。延長ができないために、仕事をする時間が削られ、給料も下がるという負の連鎖ができています。（男性・40代）
- ・ 病児保育の利用料を所得制限なしで無料にしてほしい。（女性・20代）
- ・ どの家庭でもワンオペになりがちな子育て。孤独にならない子育てのためにSNS（インスタ、FB等）などで子育てに助かる情報や取組みを積極的に発信し、屋外の公園の整備や屋内の遊具整備増加、安心してお買い物ができるように商業施設での一時お預かりサービス、保育施設の増設、それに伴う保育士の増加、拡大、給与の増加、子ども食堂の増設、各地域に食品ポストを開設し、常時食品寄付の受け入れを図る。塾に通えないこどものために各地域の公民館や集会場、コミュニティ施設で無料もしくは格安に通える塾の開設・増設。（女性・70代以上）
- ・ 0から2歳の保育料無償化してほしい。保育料が高すぎる。3人目出産したら手当て出る、など金銭的な支援は必要。じゃないと子育て世代は増えないと思う。（女性・30代）

### 【こどもの安全確保】

- ・ 助けを求めるこどもがいた場合、コンビニ等の店や会社に逃げ込めるのはとてもいいと思う。家や学校以外でこどもが話せる場所も「逃げ込める場所」として重要と考える。(女性・50代)
- ・ こどもが困った時に話しやすい環境を作る。学校が終わり家で長い時間親の帰りをひとりで待つことが無くなる様、こどもをあずかってくれる場所があれば良い。(女性・60代)

### 【児童虐待防止】

- ・ 児童虐待、こどもの貧困、ヤングケアラーなど、見逃さない体制が大事だと思います。こどもが安心してらせる街がだれが住んでも住みよい街だと思います。(女性・50代)
- ・ 児童虐待は、家庭内の問題が多いため、一時、こどもを預ける「施設」を完備してほしい。安心して、こどもが寝起きでき、学習できるように、食事もとれるように。(女性・70代以上)

### 【職場環境】

- ・ 父親の育児休暇の取得を、0～3歳までの間に好きなタイミングで取れると良い。(出産後だけではなく、3歳頃まで母親の負担は大きい)、公園等の充実。(女性・40代)
- ・ 企業にもっと育休取得の働きかけをして欲しい、それに対する補償や提案、事例などの開示等をして欲しい。保育料についても保育士さんへの人件費諸々あると思うが、0から2歳児までの保育料を市で補助していく事ができないのかと思う。(男性・40代)

### 【地域コミュニティ】

- ・ 昔はどこでも遊ぶことが出来ました。学校でも公園でも友達の家を行き来する事が出来たのが、今の親世代が自由に言ったり来たりできない環境になっているみたいですね。自分は孫を見ているのですが、今の子育ては大変だなと思います。環境を変えるのは一人一人の意識を変える事だと思います。普通の生活を教える場を作ってみてはいかがですか？子育ての先輩がリーダーになって遊ぶとか出来たら良いですよ。(女性・60代)
- ・ 子ども食堂を推進し、補助していく。郡山市のどこに子ども食堂があるのか…？どれくらいあるのか…？全くわからない。＜広報、開示の強化＞ただし、こどもの貧困の問題については、子ども食堂程度では解決にはならない。やはり行政側からの支援は不可欠。限られた予算で大変であると思いますが、期待してます。(男性・20代)
- ・ 子ども食堂をもっと多く作り支援して行きたい。(女性・70代以上)
- ・ 児童の虐待について、市や相談センターでも、何かあると「相談できる人がいるか」など聞いてくれるけど、こどもに手をあげてしまったり、虐待かも?!と自分

で気付いていたとしても「役所」という固執したイメージが強く「言ったら何か大事になるのでは…」と思う親御さんも多いと思います。もっと身近で話しやすい人、例えば学校のママ友や役員さんなどで相談しあえる環境があると良いのでは…と思います。決して手をあげる気はなくても誰にも言えていない悩みやストレスで、つい手が出てしまい、後ろめたさから閉じこもってしまうお母さん方の話をよく耳にします。例えば幼・保育園・小学校・中学校などに親御さんの相談室的なものがある、「虐待している」ではなく、遠まわしに「こどもがいうこときかないときどうしてる？」を話し合えたり、PMSの時どうしようもなくイライラしてしまうときどうやって過ごしてる？などみんなで話し合えてコミュニケーションを広げられるような場を設けると色々なアドバイスももらえていいのになと思ってます。こどもにばかり目を向けるのではなく、一番はお母さん達が閉じこもることなく広い視野でこどもと向き合える環境作りが大切ではないでしょうか。(女性・40代)

#### 【教育費援助】

- ・ 給食の無料化、大学まで学費免除。(男性・70代以上)
- ・ 子育てにはお金がかかります。児童手当の他に小中高の入学の際にお祝金(5万円位)があったらどんなに助かるでしょうか?!制服、靴、文房具等入学時にはまとまったお金が必要になりますので。(女性・60代)
- ・ 学校の制服や運動着、筆記用具などの助成。(その他・30代)

#### 【その他】

- ・ 婚活支援、若い夫婦(初めて子育てをする方たち)のサポート。(女性・60代)
- ・ 第1子出産時(2013年)と第2子のときで(2017年)、郡山市のサポート体制が変わっており、その充実には驚きました。特に出産後に産院に泊まりケアをしてもらえるサービスは、活用したことこそなかったものの、いざとなったら頼れる場所があると思えるだけで心強いサポートでした。(実家も義実家も遠方であるため)子育て支援センターにもほぼ毎日通い、大変助かりました。(女性・40代)
- ・ 子育てで一人で抱え込んで悩まないようケアやカウンセラーの充実など。(女性・30代)

## 5. 市への意見や要望など

問 市に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

(自由記載)

現在、郡山市が進めているまちづくり（取組み）についてたくさんのご意見が寄せられました。その中から、主な意見を分野ごとに抜粋し、掲載しました。

寄せられましたご意見につきましては、ここに掲載していないものも含め、今後の市政運営に活用させていただきます。

### 【分野Ⅰ】産業・仕事の未来（商業・工業・雇用・農林業分野）

#### 【商業・工業】

- ・ 中央工業団地からの企業の撤退。駅前の空洞化。駅前の道路状況を何とかして欲しい。(女性・60代)
- ・ 福島一、東北屈指の交通利便性の高い立地を活かすべきだと思います。駅前周辺の再開発、郊外の住宅用地や商業用地の開拓、大型商業施設の誘致によって、若年層から高齢者までスマートに暮らしやすく便利になっていくべきかと思います。(男性・20代)
- ・ 郡山市としてのアピールが低いように感じる。郡山市の独自の商業施設があるとアピールになると思う。今後の駅前開発に期待したい。(男性・50代)

#### 【雇用】

- ・ 障がい者雇用にもう少し力を入れてほしい。また、パート、アルバイト時給も上げてほしい。物価高騰で生活が苦しいという声がある。(男性・20代)
- ・ 雇用が滞っているため技術の継承がされず職人が減っていく。(男性・60代)

#### 【農林業】

- ・ 農業のPRはやっていると思いますが、林業のPRが弱いと思います。全く違う木材の活用の仕方。例えば医薬品（包帯、ガーゼ）の開発。(男性・40代)
- ・ スマート農業に力を入れて欲しい。(女性・50代)

### 【分野Ⅱ】交流・観光の未来（交流・文化・観光・シティプロモーション分野）

#### 【交流】

- ・ 身近に交流がある実感がないです。色々やっているのかもしれませんが、私のように知らない人が多いのでは？(女性・50代)

#### 【文化】

- ・ 音楽に関してクラシックや合唱などにジャンルが限定されすぎている。ロックやヒップホップも音楽。色々なジャンルの音楽イベントがあったら音楽の街として注目を集め他県からも人を集めることができるのではないかと思う。(男性・50代)

### 【観光】

- ・ 会津、相馬のように、観光・名物がすぐに思いつきません。ですので学問とスタートアップ企業の強化・支援を手あつものにし、その分野に強い人・海外の人を呼びよせ指導を受けるのは、どうでしょうか？(男性・40代)
- ・ 福島県の交通網の要ではあるが、観光資源が乏しいと感じる。素敵なホテルや映える公園や美術館でもあればもう少し変わるのではないかと思う。(このホテルに泊まってみたいから行こう、等)(女性・30代)

### 【シティプロモーション】

- ・ 郡山に関するSNSの内容は飲食店がほとんど。シティプロモーションに関わる職員から実際の投稿内容について反映され、その後ニーズに合った発信はされているのか知りたい。(女性・40代)
- ・ 健康志向が年々高まっているご時世ですので、スポーツ施設の開設、駅前広場や公園を活かしたスポーツプロモーションを積極的にやって欲しい。(男性・20代)

## 【分野Ⅲ】 学び育む子どもたちの未来（子育て・教育・地域学習分野）

### 【子育て】

- ・ 環境は良いのに子育てに向いていない。病院、保育園充実していない。(女性・60代)
- ・ 郡山市に住んでいて、子育てがしやすいと感じたことがなく、何をもって安心して育てられるのかが分からない。他の市町村に先がけて取り組んでほしい。(女性・20代)
- ・ こども達が遊べる場所（公園）が近所にあまりない。ボール遊びできる場所がない。幼稚園等は第一子無償化等充実していると思うが、大学や専門学校等も進学しやすいようにして欲しい。(女性・30代)

### 【教育】

- ・ 防災教育が少ないことに驚きましたが地震が多いのにヘルメットや防災ずきんがこども達の手の届く場所にあるのでしょうか？(男性・40代)
- ・ 学童やこども園を増やしてほしい。モンテッソーリを取り入れた教育機関を設置してほしい。気軽に他のママと交流できる場所を作ってほしい。(女性・30代)

### 【地域学習】

- ・ 震災から地域の交流の場がすごく少なくなり、コロナもあり、地域の行事がなくなってしまった。こども達も参加していた公園の草むしりや地域の運動会、いまだに再開していない。(女性・50代)
- ・ コロナもだんだん落ち着いて来ているため、こども達の将来の選択肢を広げるために校外学習や企業見学などの行事を増やしてほしい。(男性・20代)

## 【分野Ⅳ】誰もが地域で輝く未来（市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野）

### 【市民協働】

- ・ 共働きで毎日忙しく生活しているので、地域コミュニティは重要だとは思いますが、活動が活発だと平日夜の集まりや土日の活動参加などが負担となってしまうので、今の時代に合う町内会等のあり方を考えていく必要があると思う。（男性・30代）
- ・ 地域全体が昔のままで新しい事に取り組む姿勢がみられない。新しい人との交流もあまりみられない。女性の参加等は、全くみられない。（女性・70代以上）

### 【生涯学習】

- ・ 生涯学習を通じて得たことを活かせる機会や場についての情報が少ないと思われる。（男性・70代以上）

### 【保健福祉】

- ・ 「医療や福祉がしっかりしている」のは郡山の大きな魅力の一つだと思います！（女性・30代）

### 【男女共同参画】

- ・ 開成山公園の再開発も控えていると思います。せっかくだから月に1,2回ぐらいのペースで、老若男女、身体的にもトランス的にもバリアフリーなイベントを開催してみたいかでしょうか。（男性・20代）
- ・ 将来が安心して暮らせていける社会であれば、また、地域で活動できる場があれば、もっと、多くの人が参画できることがあるはず。トップは将来像を提示して、住民の不安を取り除き、将来のビジョンをしめし、活動の場を提供できる体制を行政だけでなく、民間を大いに利用していくべきです。住民の個性を生かせる場を提供してください。（男性・70代以上）

## 【分野Ⅴ】暮らしやすいまちの未来（環境・防災・市民安全・生活インフラ分野）

### 【環境】

- ・ 道路（歩道）の歩きにくさ、車での移動しかしていない方々はわからないと思いますが、あちこちデコボコ、雑草は生えているし、見ていてこれが美しい郡山なのか…？と暗澹たる気持ちになっているところです。環境問題にもっと真剣に取り組みたいが、ガイドがわからない。ゴミのことももっと学べる機会をたくさん作って欲しい。（女性・70代以上）
- ・ 自然環境への配慮は郡山市独自といったものは感じられない。公園や河川敷などは要所要所に整備されていて良いと感じる。（男性・40代）

### 【防災】

- ・ 防災グッズ、AED、応急手当、人工呼吸。これらのものをそろえている人、使い方を知っている人はいると思いますが実際にできる人はどれぐらいいるのでしょうか？習う・確認できる場所が必要だと思います。（男性・40代）
- ・ 水害が多い市ですので、水害防災に対しては良いと思います。（女性・50代）

### 【市民安全】

- ・ 道幅の狭い生活道路への安全対策が遅れている。空家対策等は喫緊の課題（周辺地域の環境悪化等問題が多い）。（女性・70代以上）
- ・ まだ通学路の安全に不安がある所もある。都市開発は不透明感あり、防犯は街灯不足や地域によっては行きにくさを感じる所もある。（男性・40代）

### 【生活インフラ】

- ・ 郡山市のインフラは充実していると思います。道路の整備や下水の完備をめざしてお金をかけています。郡山は公園や花や緑が豊かです。お金をかけています。（女性・70代以上）
- ・ 上下水道のライフラインの整備とあるが、考え次第では、大きな負の税金の投入先でもある。税金はどのように使用するかを再考するなど、抜本的な考察も必要。（人口の減少等）（男性・50代）

## 【分野Ⅵ】基盤的取組（行政経営、セーフコミュニティ、連携中枢都市圏、SDGs、DX推進、復興・創生の更なる推進）

### 【行政経営】

- ・ 後期高齢者の行政上の手続等の簡素化。（性別不明・70代以上）
- ・ 行政としていろいろやっているのだろうが、見えてこない。もっとPRした方がいい。（女性・60代）

### 【セーフコミュニティ】

- ・ 危険箇所の対応が後手ごてになっているので、先を見据え事前の対応が必要です。（男性・60代）

### 【SDGs】

- ・ SDGsについて市が取り組む目標の具現化の提示。（女性・70代以上）

### 【DX推進】

- ・ 高齢者にとってはオンライン、キャッシュレス化はむずかしい。（女性・70代以上）
- ・ ICT化やDX活動で、東北で1番スマートな街づくりを目指して欲しい。スマート化のハードルと、人口あたりの効果を考えれば、非常に可能性がある街だと思います。（男性・20代）

### 【復興、創生の更なる推進】

- ・ 確かに風評を意識して、安全性を第一に品質の向上に取り組まれて、涙ぐましいものがありますが、やはり他県産の物に…。（女性・70代以上）



(付) 調 査 票 様 式



# あなたの声をお聞かせください

～2023年度郡山市民意見レーダー～



## 回答方法①

スマートフォン または パソコン により、  
右のQRコード、または次の検索方法でアクセスのうえ、回答してください。

【アクセス方法】

ふくしま電子申請

検索



回答ページに  
つながります。

⇒ 「ふくしま県市町村共同電子申請システム団体選択 - 福島県ホームページ」  
をクリックし「郡山市」を選択 ⇒ 「2023年度郡山市民意見レーダー」を選択

## 回答方法②

①調査票を記入



②同封の返信用封筒  
(切手不要)に入れる



③ポストに投函



《重複を避けるため、回答方法①または②のどちらかで回答してください。》

◆◆◆ 回答に当たってのお願い ◆◆◆

令和5年6月9日(金)までに回答してください。

● 調査票は、原則として「あて名のご本人様」が記入してください。やむを得ず、ご本人様以外の方が記入される場合は、必ずご本人様の意思をご確認の上、記入してください。

○ ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。  
郡山市政策開発部広聴広報課（市役所本庁舎2階）  
電話 024-924-2051

## 1 幸福度の現状について

あなたが普段感じている気持ちについてお伺いします。

(1) あなたは普段どの程度幸福だと感じていますか？

あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- |                                  |                                    |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 幸福を感じる (とても幸せ)                | 4. どちらかという和幸福を感じない<br>(どちらかという不幸せ) |
| 2. どちらかという和幸福を感じる<br>(どちらかという幸せ) | 5. 幸福を感じない (不幸せ)                   |
| 3. どちらでもない (普通)                  |                                    |

(2) あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか？

1～17のうちあてはまるものの番号を3つまで選び、○印をつけてください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 健康状況         | 10. 治安・防災関係      |
| 2. 家族関係         | 11. 子育て環境        |
| 3. 居住環境         | 12. 就業状況         |
| 4. 自由な時間、充実した余暇 | 13. 地域コミュニティとの関係 |
| 5. 家計の状況        | 14. 教育環境         |
| 6. 友人関係         | 15. 社会貢献         |
| 7. 自然環境         | 16. 地域の歴史・文化     |
| 8. 仕事のやりがい      | 17. その他          |
| 9. 職場の人間関係      |                  |

【「その他」を選択した方は重視している項目を別途お書きください。】

## 2 郡山市の住みやすさについて

まちの住み心地や郡山市への愛着等について、どのように感じているか、あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

(1) あなたにとって、郡山市は住みやすいまちですか？

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい         | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい         |
| 3. どちらともいえない     |                  |

【「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」とお感じになる理由をご自由にお書きください。】

(2) あなたは、今後も郡山市に住みたいと思いますか？

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 現在の住所にずっと住み続けたい | 4. いずれは市外に住みたい |
| 2. 市内の別の地域に住みたい    | 5. 住みたくない      |
| 3. どちらともいえない       |                |

【「いずれは市外に住みたい」または「住みたくない」とお考えになる理由をご自由にお書きください。】

### 3 郡山市のまちづくりについて

現在、本市が進めているまちづくり（取組み）について、どのように感じているか、それぞれにあてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

【I. 産業・仕事の未来】 (商業・工業・雇用・農林業分野)	よ い	ど も か と い え	ど も か と い え	不 満	わ か ら な い
<b>1. 地域産業</b> 地域の中小企業の事業承継 ※1 やM&A ※2 をはじめ、産業の新陳代謝や持続的発展など活性化が図られているか ※1 会社等の経営を後継者に引き継ぐこと ※2 合併・買収	5	4	3	2	1
<b>2. 起業支援</b> 創業・起業がしやすい環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>3. 産業創出・企業誘致</b> 研究開発機関や大学等との連携により、再生可能エネルギー ※3 や医療機器関連産業など本市の強みを活かし、新しい分野の産業や企業の育成、誘致・集積等、産業の振興が図られているか ※3 石油・石炭などの限りがある化石燃料に対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など一度利用しても比較的短期間に再生するエネルギー源のこと	5	4	3	2	1
<b>4. 雇用・就労</b> 市内企業の安定的な雇用があり、多様な働き方ができる労働環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>5. 農林業</b> 農林業の生産性向上、担い手の確保等により活性化が図られているか	5	4	3	2	1
<b>6. 特産品ブランド化</b> 食や農を生かした特産品がブランド化され、注目されているか	5	4	3	2	1
【I. 産業・仕事の未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

<b>【Ⅱ. 交流・観光の未来】 (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)</b>	よ い	ど も ら か い え	ど も ら か い え 不 満	不 満	わ か ら な い
<b>7. 都市間交流・国際交流・関係人口 ※1</b> 様々な地域や国の人々との交流・活動を通じ、友好や相互理解を深める等、国内外に開かれたまちとなっているか ※1 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者	5	4	3	2	1
<b>8. 歴史・文化遺産</b> 日本遺産など豊かな歴史に根ざした地域資源が適切に保存されるとともに観光のまちづくりに活かされているか	5	4	3	2	1
<b>9. 音楽のまちづくり</b> 音楽に触れる機会や環境が整い、音楽がまちづくりに活かされているか	5	4	3	2	1
<b>10. 観光</b> 観光誘客や観光資源の活用及びコンベンション ※2 の誘致により国内、インバウンド ※3 の観光客等が増加しているか ※2 企業の展示会や学会等の学術会議、国内外の研究者が集う国際会議等 ※3 入ってくるものという意味から転じて、外国（区域外）から訪れる旅行を指す。 対義語：アウトバウンド	5	4	3	2	1
<b>11. シティプロモーション ※4</b> 本市の魅力が広く内外に発信され、知名度が向上し、交流人口増加や移住・定住の促進が図られているか ※4 地域のイメージを高め、知名度の向上や地域への愛着を醸成する手法	5	4	3	2	1
【Ⅱ. 交流・観光の未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

<b>【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】 (子育て・教育・地域学習分野)</b>	よ い	ど も ら か い え	ど も ら か い え 不 満	不 満	わ か ら な い
<b>12. 子育て</b> 安心して生み育てられる環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>13. 乳幼児教育・家庭教育</b> 家庭、地域、企業そして子育て・教育機関が連携して、子育てや教育を学びあう環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>14. 青少年健全育成</b> 子どもたちの安全な居場所や地域での見守りなど、健全に育つ環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>15. 学校教育</b> 子どもたちの「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力を育成するために、どの子も思う存分学べる教育環境の整備・充実が図られているか	5	4	3	2	1
<b>16. 地域学習</b> 子どもたちの地域への愛着を育む、地域活動への参加機会や地域の産業、生活、文化、歴史などを学ぶ環境が充実しているか	5	4	3	2	1
【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

【IV. 誰もが地域で輝く未来】 (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)	よ い	ど も が よ い と い え	ど も が か た い え	不 満	わ か ら な い
<b>17. 市民協働</b> ※1 市民誰もが、知識や経験、個性を生かし、様々な社会参加ができる機会や場があるか ※1 市民・市民活動団体・企業・行政等が、お互いの長所を生かし役割を分担した上で対等の立場で協力し合うこと	5	4	3	2	1
<b>18. 地域コミュニティ</b> 町内会活動など地域コミュニティの活性化が図られているか	5	4	3	2	1
<b>19. 広聴広報</b> 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加のイベントなど市政への市民参画が図られているか	5	4	3	2	1
<b>20. スポーツ・文化・芸術</b> 多様なスポーツ、文化・芸術に触れる機会や活動する場などの環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>21. 生涯学習</b> 生涯を通じて、好きなこと、得意なことを学習でき、それらを地域社会で生かせる機会や場などの環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>22. 地域福祉</b> 地域や隣近所で互いに支えあい、助け合う体制が整っているか	5	4	3	2	1
<b>23. 高齢者福祉</b> 介護予防対策や介護サービスの充実、質の確保・向上など高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせる環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>24. 障がい者福祉</b> 障がい者差別の解消や就労等社会参加の促進など障がい者の生活を支える環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>25. 健康づくり</b> 生活習慣病予防対策、健診体制や健康相談等、健康に暮らすための支援体制が充実しているか	5	4	3	2	1
<b>26. 医療</b> 必要なときに安心かつ適切な医療を受けられる体制が充実しているか	5	4	3	2	1
<b>27. 男女共同参画</b> 家庭や地域、職場において、男女が共に個性と能力を発揮できているか	5	4	3	2	1
【IV. 誰もが地域で輝く未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

【V.暮らしやすいまちの未来】 (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)	よ い	ど も か い え	ど も か い え	ど も か い え	不 満	わ か ら な い
<b>28. 環境活動</b> 温室効果ガス排出量の削減に向けた普及啓発等、環境負荷が少ないまちづくりへの取組みが進んでいるか	5	4	3	2	1	
<b>29. 3R ※1 (資源の有効利用)</b> ごみ減量、リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させる取組みが進んでいるか ※1 「Reduce (発生抑制)」「Reuse (再使用)」「Recycle (再生利用)」の頭文字をとった言葉	5	4	3	2	1	
<b>30. エネルギー</b> 省エネルギーの推進や環境にやさしい再生可能エネルギー ※2 の普及に向けた取組みが進んでいるか ※2 石油・石炭などの限りがある化石燃料に対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など一度利用しても比較的短期間に再生するエネルギー源のこと	5	4	3	2	1	
<b>31. 自然環境</b> 豊かな自然が適正に保全され、それらと身近にふれあえる環境が整っているか	5	4	3	2	1	
<b>32. 防災</b> ライフラインの確保や情報の共有化、消防、救急体制の整備、自然災害対策等、防災に対する備えができてきているか	5	4	3	2	1	
<b>33. 防犯・交通安全・消費者対策</b> 犯罪の未然防止、通学路や生活道路等の交通安全対策、消費者対策により、安心して生活することができているか	5	4	3	2	1	
<b>34. ユニバーサルデザイン ※3</b> 障がいの有無や年齢等に関わらず、誰もが快適に暮らすことができる取組みが進んでいるか ※3 障がいの有無や年齢、言語、性別などの違いに関わらず、はじめからできるだけ多くの人が使いやすい製品や建物、都市環境、サービス等の提供を目指そうという考え方のこと	5	4	3	2	1	
<b>35. 交通・道路</b> 生活に必要な拠点や施設へのアクセスが容易であるなど、利便性の高い交通体系が整っているか	5	4	3	2	1	
<b>36. 計画的な都市づくり</b> 「こおりやま広域圏」の玄関口として、中心市街地の活性化や地域特性を活かした魅力的なまちとなっているか	5	4	3	2	1	
<b>37. 住環境</b> 公園や生活道路、上下水道等が整備されているとともに、景観への配慮等、住環境が整っているか	5	4	3	2	1	
【V.暮らしやすいまちの未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。						



<b>【基盤的取組】</b> <b>(行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs・DX推進・復興、創生の更なる推進)</b>	よい	どちらかといえ	どちらかといえ	不満	わからない
<b>38. 行政経営</b> ICT ※1 の積極的な活用、官民連携による様々な手法やノウハウの柔軟な導入など先進的で効率的な行政経営の改善が図られているか <small>※1 情報通信技術</small>	5	4	3	2	1
<b>39. セーフコミュニティ ※2</b> 安全・安心なまちづくりのため、地域全体でセーフコミュニティ活動を推進しているか <small>※2 WHO（世界保健機関）が推奨する国際認証制度で「けがや事故」をデータから客観的に分析し、地域住民や団体、行政等による連携・協働により「けがや事故」の予防に取り組んでいる地域のこと</small>	5	4	3	2	1
<b>40. 連携中枢都市圏構想 ※3</b> 「連携中枢都市圏」の推進により、圏域全体の経済活性化や広域的な課題解決が図られているか <small>※3 一定要件を満たす連携中枢都市と近隣市町村との連携協約により圏域の活性化を図る構想</small>	5	4	3	2	1
<b>41. SDGs ※4</b> 2015年に国連で採択された、2016年から2030年までの国際的な「持続可能な開発目標」であるSDGsの取組みが進んでいるか <small>※4 SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の頭文字を集めた言葉で、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれています。</small>	5	4	3	2	1
<b>42. DX推進</b> 行政手続きのオンライン化、キャッシュレス化などをはじめとした行政のDXが推進されているか	5	4	3	2	1
<b>43. 復興、創生の更なる推進</b> 内部被ばく検査や自家消費野菜等の放射能検査などの健康管理が図られているか また、郡山産品の安全性のPR、販路の拡大及び観光誘客等により風評の払しょくが図られているか	5	4	3	2	1
<small>【基盤的取組】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。</small>					

## 4 郡山市のこれからの取組みについて

現在、本市が進めているまちづくり（取組み）について、特に重要と思われるものの番号を1～43から5つ選び、その番号に○印をつけてください。

<p><b>【Ⅰ. 産業・仕事の未来】</b> (商業・工業・雇用・農林業分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域産業</li> <li>2. 起業支援</li> <li>3. 産業創出・企業誘致</li> <li>4. 雇用・就労</li> <li>5. 農林業</li> <li>6. 特産品ブランド化</li> </ol> <p><b>【Ⅱ. 交流・観光の未来】</b> (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 都市間交流・国際交流・関係人口</li> <li>8. 歴史・文化遺産</li> <li>9. 音楽のまちづくり</li> <li>10. 観光</li> <li>11. シティプロモーション</li> </ol> <p><b>【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】</b> (子育て・教育・地域学習分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>12. 子育て</li> <li>13. 乳幼児教育・家庭教育</li> <li>14. 青少年健全育成</li> <li>15. 学校教育</li> <li>16. 地域学習</li> </ol> <p><b>【Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来】</b> (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>17. 市民協働</li> <li>18. 地域コミュニティ</li> <li>19. 広聴広報</li> <li>20. スポーツ・文化・芸術</li> <li>21. 生涯学習</li> <li>22. 地域福祉</li> <li>23. 高齢者福祉</li> <li>24. 障がい者福祉</li> <li>25. 健康づくり</li> <li>26. 医療</li> <li>27. 男女共同参画</li> </ol>	<p><b>【Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来】</b> (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>28. 環境活動</li> <li>29. 3R(資源の有効利用)</li> <li>30. エネルギー</li> <li>31. 自然環境</li> <li>32. 防災</li> <li>33. 防犯・交通安全・消費者対策</li> <li>34. ユニバーサルデザイン</li> <li>35. 交通・道路</li> <li>36. 計画的な都市づくり</li> <li>37. 住環境</li> </ol> <p><b>【基盤的取組】</b> (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs・DX推進・復興、創生の更なる推進)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>38. 行政経営</li> <li>39. セーフコミュニティ</li> <li>40. 連携中枢都市圏構想</li> <li>41. SDGs</li> <li>42. DX推進</li> <li>43. 復興、創生の更なる推進</li> </ol>
--	--

## 5 こども・子育て施策（ベビーファーストの推進）について

2023年4月1日に、「こどもまんなか社会」を目指す「こども家庭庁」が創設され、国では、こどもを誰一人取り残すことのない健やかな社会の実現に向けた取組みを推進することとしています。

本市においては、2022年の出生数が初めて2,000人を下回り（前年比11.4%減）、少子化が進行するなど、こどもを取り巻く環境が大きく変化する中、「こどもが安心して生まれ、育つまち こおりやま」の実現に向け、ベビーファーストの視点を踏まえた、こども・子育て施策の推進に取り組んでいます。

そこで、今後の本市の子育て施策の参考とするため、以下の質問にお答えください。

(1) あなたは今、0～18歳のお子さんの子育て中ですか？

あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 子育て中の方もそうでない方にもお聞きします。

子育て支援について、あなたは、どのようなことが重要とお考えですか？

あてはまる番号を3つ選び、○印をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 地域ぐるみでの子育てサポートの充実（子育てイベント、ボランティアによる子育て支援など） |
| 2. 経済的な支援の拡充（児童手当等の拡充など）                       |
| 3. ヤングケアラー、医療的ケア児などに対する支援                      |
| 4. 妊娠・出産・育児不安の解消（家事・育児支援、子育て相談）                |
| 5. ひとり親世帯への支援の拡充                               |
| 6. こどもの居場所の拡充（こども食堂など）                         |
| 7. 希望する保育所・幼稚園に入所・入園できること                      |
| 8. 婚活の支援                                       |
| 9. 子育て世帯への住宅支援の拡充                              |

(3) 子育てしながら働くとき、どのような条件・サポートがあると働きやすいと思いますか？

あてはまる番号を3つ選び、○印をつけてください。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 休暇がとりやすい                         |
| 2. 職場に、こどもを預ける場所がある                 |
| 3. リモートワークができる                      |
| 4. 勤務形態・勤務時間・勤務先（自宅から近い）が選べる        |
| 5. こどもの送り迎えをしてくれる人がいる               |
| 6. 食事の準備をしてくれる人がいる                  |
| 7. 急に、こどもの体調が悪くなったときに、預かってもらえる場所がある |
| 8. パートナーの育児参加が増える                   |

- (4) 子育て支援に関し、あなたができると思うことは何ですか？  
あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 子育てボランティアへの参加              |
| 2. 登下校時の見守り、お祭りの運営などの地域活動への参加 |
| 3. 寄附                         |
| 4. その他                        |



【「その他」を選択した方はご自由にお書きください。】

- (5) 少子化の進行、児童虐待の増加、こどもの貧困など、こどもを取り巻く環境が変化しています。

子育て支援について、ご意見やご提案などがありましたらご自由にお書きください。

## 6 あなたご自身について

あなたご自身のことについてお伺いします。

(1)～(8)のそれぞれについて、あてはまる番号に○印をつけてください。

(1) 性別<性自認は?> (あてはまる番号1つに○)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

(2) 年齢 (あてはまる番号1つに○)

1. 18歳～19歳	5. 50歳～59歳
2. 20歳～29歳	6. 60歳～69歳
3. 30歳～39歳	7. 70歳以上
4. 40歳～49歳	

(3) 職業 (あてはまる番号1つに○)

1. 農業	5. 主婦・主夫
2. 給与所得者	6. 学生
3. 自営業者	7. 無職
4. パート・アルバイトなど	8. その他

(4) 郡山市での居住年数 (あてはまる番号1つに○)

1. 1年未満	4. 10～19年
2. 3年未満	5. 20～29年
3. 3～9年	6. 30年以上

(5) 居住形態 (あてはまる番号1つに○)

1. 持ち家	4. 社宅、公舎など
2. 民間の借家・アパート	5. 間借、同居、寮など
3. 公営住宅	

(6) 現住所の直前に住んでいたところ (あてはまる番号1つに○)

1. 生まれてからずっと現住所に住んでいる	4. 東京圏 ※1
2. 郡山市内の別の地域	5. その他 ※2 ( )
3. 郡山市外で福島県内	
※1 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県	※2 福島県、東京圏以外の居住地

(7) 上の質問(6)で、「2.～5.」に○を付けた方にお聞きします。

移転先として現住所を選んだ理由は何ですか? (あてはまる番号全てに○)

1. 生まれ育った場所だから	11. 病院・医院が近くにあるから
2. 自分や家族の持ち家だから	12. 住まいの周辺が静かだから
3. 寮や社宅に住むから	13. 自然環境が身近にあるから
4. 親や子、親族、友人などがいるから	14. まちなみや景観がよいから
5. 家賃や住宅の価格が手ごろだから	15. 賑わいや活気があるから
6. 交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから	16. 犯罪が少ないと感じているから
7. 日ごろの買い物などが便利だから	17. 街のイメージがよいから
8. 保育所・公園等の子育て環境がよいから	18. 郡山が好きだから
9. 学校などの教育環境がよいから	19. 市民の気質や感性が自分と合うから
10. 文化・スポーツ施設などが近くにあるから	20. その他 ( )

(8) お住まいの地域 (あてはまる番号1つに○)

1. 旧郡山東部 (芳賀・小原田・緑ヶ丘・東部地区など)
2. 旧郡山西部 (駅前・大島・久留米・葉根・開成・小山田地区など上記地区以外)
3. 富田
4. 大槻
5. 安積
6. 三穂田
7. 逢瀬
8. 片平
9. 喜久田
10. 日和田
11. 富久山
12. 湖南
13. 熱海
14. 田村
15. 西田
16. 中田

◆市に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。◆

.....

.....

.....

.....

.....

.....

以上で、質問は終わりです。皆さま方からいただきました貴重なご回答・ご意見等は、郡山市の今後の市政運営に反映させていきたいと考えております。

**お忙しいところご協力をいただきありがとうございました。**

※ お手数ですが、ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒 (切手不要) をお使いのうえ、切手を貼らずに**6月9日(金)**までに、郵便ポストに投函してください。

調査票や返信用封筒へは、お名前、具体的な住所の記入は不要です。



2023 年度 市民意見リーダー  
調査結果報告書

令和 5 年 9 月 発行

郡山市政策開発部広聴広報課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23 番 7 号

電話番号 024(924)2061

E-Mail:kocho@city.koriyama.lg.jp